

北九州市子ども・子育て支援に関する 市民アンケート調査

報 告 書

北九州市子ども家庭局

目次

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収結果	1
6. 調査実施機関	1
7. 集計・分析上の注意	2
[就学前児童の保護者(調査票A)]	3
1. 子どもと家族の状況等	3
(1) 子どもからみた続柄(問 1)	3
(2) 居住区(問 2)	3
(3) 世帯全体の年収(問 11-1)	3
(4) 子どもの年齢(問 3)	4
(5) 子どもの人数(問 4)	4
(6) 調査票の回答者の配偶者の有無(問 5)	5
(7) 子育て(教育を含む)を主に行っている人(問 6)	5
2. 子どもの育ちをめぐる環境	6
(8) 子育て(教育を含む)に日常的に関わっている人や施設(問 7)【複数回答】	6
(9) 子育てに影響すると思われる環境(問 8)【複数回答】	6
(10) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無(問 9)【複数回答】	7
3. 保護者の就労状況	8
(11) 現在の就労状況(問 10(1)、問 10(2))	8
(12) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること(問 10(1)-1、問 10(2)-1)【複数回答】	9
(13) 1週あたりの就労日数、1日あたりの就労時間(問 10(1)-2、問 10(2)-2)	10
① 1週あたりの就労日数	10
② 1日あたりの就労時間	10
(14) 家を出る時刻と帰宅時刻(問 11(1)-3、問 11(2)-3)	11
① 母親	11
② 父親	12
(15) フルタイムへの転換希望(問 11)	13
(16) 今後の就労予定(問 12)	14
① 予定している就労時の子どもの年齢(母親)	14
② 1週当たりの希望就労日数(母親)	15
③ 1日当たりの希望就労時間(母親)	15
(17) 家事・子育てをする時間(問 13)	16
① 母親	16
② 父親	17
4. 平日の定期的な教育・保育施設の利用状況	18
(18) 定期的な教育・保育施設の利用状況(問 14)	18
(19) 平日に定期的に利用している教育・保育施設(問 15)【複数回答】	19
(20) 平日に定期的に利用している教育・保育施設の利用時間と利用希望時間(問 15-1)	20

① 1週当たりの利用日数	20
② 1日当たりの利用時間	20
③ 利用開始時間	21
④ 利用終了時間	21
(21) 平日に定期的に教育・保育施設を利用している理由(問 15-2)	22
(22) 平日に定期的に利用している教育・保育施設の場所(問 15-3)	22
(23) 定期的に利用する教育・保育施設を選ぶ際の重視点(問 15-4)	23
(24) 定期的に利用している教育・保育施設の満足度(問 15-5)	23
(25) 施設利用者が今後、平日に定期的に利用したい施設(問 16)【複数回答】	24
(26) 平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由(問 17)【複数回答】	25
(27) 平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える施設(問 17-1)【複数回答】	26
(28) 「こども誰でも通園制度(仮称)」の利用意向(問 18)	27
(29) 「こども誰でも通園制度(仮称)」の1週あたり利用頻度(問 18-1)	27
(30) 「こども誰でも通園制度(仮称)」の利用時間帯(問 18-1)	28
5. 地域の子育て支援事業の利用状況	29
(31) 地域の子育て支援事業の利用状況(問 19)【複数回答】	29
(32) 地域の子育て支援事業の今後の利用意向(問 20)	31
(33) 各種事業の認知度(問 21)【複数回答】	32
(34) 各種事業の利用経験(問 21)【複数回答】	33
(35) 各種事業の今後の利用意向(問 20)【複数回答】	34
6. 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望	35
(36) 土曜日と日曜日・祝日の「定期的な」教育・保育施設の利用希望(問 22)	35
① 土曜日の定期的な教育・保育施設の利用希望	35
② 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向	36
(37) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由(問 22-1)【複数回答】	37
(38) 幼稚園を利用している人の長期休暇期間中の定期的な教育・保育施設の利用意向(問 23)	38
(39) 長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由(問 23-1)【複数回答】	39
7. 子どもが病気の際の対応(平日の教育・保育を利用する人のみ)	40
(40) 子どもが病気やケガが原因で施設を利用できなかった経験の有無(問 24)	40
(41) 子どもの病気やケガで平日の定期的な教育・保育事業の利用できなかった場合の対処方法(問 24-1)	40
① 父親が休んだ日数	41
② 母親が休んだ日数	41
③ 就労をしていない父母が見た日数	42
④ 親族や知人に看てもらった日数	42
⑤ 病児保育施設を利用した日数	43
⑥ 子どもだけで留守番させた日数	43
⑦ その他の日数	44
(42) 病児保育施設の利用希望と利用希望日数(問 24-2)	45
(43) 病児保育施設を利用する際に支障となること(問 24-3)【複数回答】	46
8. 不定期な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	47
(44) 不定期に利用している、利用したい子育て支援事業(問 25)【複数回答】	47
① 一時預かりの利用日数と利用希望日数	47

② 幼稚園の預かり保育の利用日数と利用希望日数	48
③ ベビーシッター	48
④ 認可外保育施設	49
⑤ その他	49
(45) 不定期の教育・保育等を利用していない理由(問 25-1)【複数回答】	50
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方	51
(46) 子どもが小学校低学年(1～3年生)のうちで、放課後の時間を過ごさせたい場所(問 26)【複数回答】	51
① 自宅	51
② 祖父母宅や友人・知人宅	52
③ 習い事など	52
④ 児童館	53
⑤ 放課後児童クラブ	53
⑥ ほっと子育てふれあいセンター	54
⑦ その他	55
(47) 子どもが小学校高学年(4～6年生)になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所(問 27)【複数回答】	56
① 自宅	56
② 祖父母宅や友人・知人宅	57
③ 習い事など	57
④ 児童館	58
⑤ 放課後児童クラブ	58
⑥ ほっと子育てふれあいセンター	59
⑦ その他	60
(48) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向(問 28)	61
① 土曜日	61
② 日曜日・祝日	62
(49) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向(問 28)	63
10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	64
(50) 育児休業の取得状況(問 29)	64
(51) 育児休業の取得期間(問 29)	64
(52) 育児休業を取得していない理由(問 29)【複数回答】	65
(53) 育児休業後の職場への復帰状況(問 30)	66
(54) 育児休業後に職場への復帰したタイミング(問 30)	66
(55) 育児休業後に職場復帰した時期(子どもの年齢)(問 31)	67
① 母親の職場復帰時期(子どもの年齢)	67
② 父親の職場復帰時期(子どもの年齢)	67
(56) 北九州市の子育ての環境や支援への満足度(問 32)	68
[就学前児童の保護者(調査票B)]	69
1. 子どもと家族の状況等	69
(1) 子どもと回答者の続柄(問 1)	69
(2) 居住区(問 2)	69
(3) 世帯全体の年収(問 6-1)	70
(4) 子どもの年齢(問 3)	70

(5) 子どもの人数(問 4)	71
(6) 同居(近居)の状況(問 5)【複数回答】	71
(7) 同居している家族の人数(問 5)	71
(8) 父母が1日あたりに家事・育児をしている時間(問 6)	72
2. 子どもの生活状況	74
(9) 子どもの起床時刻(問 7)	74
(10) 子どもの就寝時刻(問 7)	74
(11) 子どもの平均睡眠時間(問 7)	75
(12) 一週間の朝食を食べる頻度(問 8)	75
(13) 一週間の歯磨きの頻度(問 9)	76
(14) 絵本の読み聞かせの頻度(問 10)	76
(15) 携帯電話・スマートフォン、タブレット等を使用する時間(問 11)	77
(16) 子どもが屋外で遊ぶ時間(問 12)	77
3. 子育てに関する状況	78
(17) 子育てに関する悩みや不安の有無(問 13)	78
(18) 子育てに関して、日常悩んでいることや気になること(問 14)【複数回答】	79
(19) 子育てをする上で気軽に相談できる人(家族を含む)(問 15)	80
(20) 子育てに関する悩みや不安を相談する先(問 15-1)【複数回答】	81
(21) 子育てを楽しんでいると感じるか(問 16)	82
(22) 子育てに関する情報の入手先(問 17)【複数回答】	83
(23) より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信手段(場所)(問 18)【複数回答】	84
(24) 行政の子育て情報を発信する媒体(SNSや冊子等)(問 18-1)	85
① 情報媒体(SNSや冊子等)	85
② 改善点【複数回答】	85
③ 知りたい情報【複数回答】	86
(25) 希望する子どもの人数と実際に予定している子どもの人数(問 19)	87
(26) 希望する子どもの人数より実際に予定している子どもの人数が少ない理由(問 19-1)【複数回答】	87
4. 今後の北九州市の子育て支援	88
(27) より力を入れてほしい子育て支援策(問 20)【複数回答】	88
(28) 子どもが健全に成長するために必要なこと(問 20-1)【複数回答】	89
(29) 産後半年くらいの間利用できる育児・家事サービスで欲しいと思うもの(問 21)【複数回答】	89
(30) 子育てが地域に支えられていると感じるか(問 22)	90
(31) ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)の認知度(問 23)	90
(32) ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)の利用意向(問 23-1)	91
(33) この1年間に子どもを泊りがけで預けた状況(問 24)	92
(34) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)の認知度(問 24-1)	94
(35) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)を利用しない理由(問 24-2)	94
(36) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)の利用希望(問 24-3)	95
(37) 子どもの遊び場(特に近所)について日ごろ感じること(問 25)	96
(38) 子どもと外出する際の困りごと(問 26)	97
(39) 「共育て」の推進に必要なこと(問 27)【複数回答】	98
[小学生の保護者]	99
1. 子どもと家族の状況等	99

(1) 子どもと回答者の続柄(問 1).....	99
(2) 居住区(問 2).....	99
(3) 子どもの学年(問 3).....	100
(4) 子どもの人数(問 4).....	100
(5) 同居(近居)の状況(問 5)【複数回答】.....	101
(6) 同居している家族の人数(問 5).....	101
(7) 子育て(教育を含む)を主にしている人(問 6).....	102
(8) 仕事がある日と仕事がない日の家事・育児時間(問 7).....	103
① 母親.....	103
② 父親.....	104
2. 子どもの生活状況.....	105
(9) 子どもの起床時刻(問 8).....	105
(10) 子どもの就寝時刻(問 8).....	105
(11) 子どもの平均睡眠時間(問 8).....	106
(12) 一週間の歯磨きの頻度(問 9).....	106
(13) 家族との会話(問 10).....	107
(14) 子どもの話をよく聞いているか(問 11).....	107
(15) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器の所有状況(問 12).....	108
(16) 通信機器の使用目的(問 12-1).....	108
(17) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等を一日に使用する時間(問 12-2).....	109
(18) 家庭内でのインターネットや SNS の使い方のルール(問 12-2).....	109
(19) 子どもと近隣の大人とのコミュニケーションの状況(問 13).....	110
(20) 子どもが近隣の大人とコミュニケーションをとる機会(問 13-1)【複数回答】.....	110
(21) 子どもが放課後等で過ごすことが多い場所(問 14)【複数回答】.....	111
(22) 子どもが屋外で遊ぶ時間(問 15).....	112
(23) 「プレーパーク」の認知度(問 15-1).....	112
(24) 学校外の地域活動団体での活動状況(問 16).....	113
(25) 学校外の地域活動団体で活動してよかったこと(問 16-1)【複数回答】.....	113
(26) 学校外の地域活動団体で活動していない(途中で辞めた)理由(問 16-2)【複数回答】.....	114
(27) 子どもが健全に成長するために必要な体験(問 16-3)【複数回答】.....	115
3. 放課後児童クラブの利用.....	116
(28) 放課後児童クラブの利用状況(問 17).....	116
(29) 放課後児童クラブの利用日数(問 17-1).....	116
(30) 放課後児童クラブを利用している理由(問 17-1).....	117
(31) 現在利用している放課後児童クラブの満足度(問 17-2).....	117
(32) 放課後児童クラブを利用していない理由(問 17-3)【複数回答】.....	118
(33) 放課後児童クラブの利用希望(問 17-4).....	119
① 利用希望.....	119
② 利用希望時間帯(平日).....	119
③ 利用希望時間帯(土曜日).....	120
④ 利用希望時間帯(日曜・祝日).....	120
⑤ 利用希望時間帯(長期休暇中).....	121
4. 一時的な保育が必要な対応について.....	122

(34) 子どもが病気やケガで学校を休んだ日の有無(問 18)	122
(35) 子どもが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法(問 18-1)【複数回答】	122
(36) 病児保育施設の利用希望と利用希望日数(問 18-2)	125
(37) ファミリーサポートセンター事業の認知度(問 19)	126
(38) ファミリーサポートセンター事業の利用意向と希望日数(問 19-1)	126
(39) この1年間に子どもを泊りがけで預けた状況(問 20)	127
(40) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)の認知度(問 20-1)	129
(41) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)を利用しない理由(問 20-2)	129
(42) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)の利用希望(問 20-3)	130
(43) この1年間に子どもを親族や知り合い、施設等に預けた状況(問 21)	131
(44) 児童夜間養育事業(トワイライトステイ事業)の認知度(問 21-1)	133
(45) 児童夜間養育事業(トワイライトステイ事業)を利用しない理由(問 21-2)	133
(46) 児童夜間養育事業(トワイライトステイ事業)の利用希望(問 21-3)	134
5. 子育てに関する状況	135
(47) 子育てに関する悩みや不安の有無(問 22)	135
(48) 子育てに関して、日常悩んでいることや気になること(問 23)【複数回答】	136
(49) 子育て(教育を含む)をする上で気軽に相談できる人(問 24)	137
(50) 子育てに関する悩みや不安を相談する先(問 24-1)【複数回答】	138
(51) 子育てを楽しんでいると感じるか(問 25)	139
(52) 子育てに関する情報の入手先(問 26)【複数回答】	140
(53) より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信手段(場所)(問 27)【複数回答】	141
(54) 行政の子育て情報を発信する媒体(SNSや冊子等)(問 27-1)	142
① 情報媒体(SNSや冊子等)	142
② 改善点【複数回答】	142
③ 知りたい情報【複数回答】	143
(55) 希望する子どもの人数と実際に予定している子どもの人数(問 28)	144
(56) 希望する子どもの人数より実際に予定している子どもの人数が少ない理由(問 28-1)【複数回答】	144
6. 今後の北九州市の子育て支援	145
(57) より力を入れてほしい子育て支援策(問 29)【複数回答】	145
(58) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか(問 30)	146
(59) 子どもの遊び場について(小学校高学年のみ)(問 31)	146
(60) 普段の生活や将来のことを考えて、より力を入れてほしい支援策(問 32)【複数回答】	147
7. 子どもの保護者の就労状況	148
(61) 現在の就労状況(問 33(1)、問 33(2))	148
(62) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること(問 33(1)-1、問 33(2)-1)【複数回答】	149
(63) 家を出る時間及び帰宅時間(問 33(1)-2、問 33(2)-2)	150
① 母親	150
② 父親	151
(64) 世帯全体の年収(問 33-1)	152
(65) 「共育て」の推進に必要なこと(問 34)【複数回答】	152
[中学・高校生の保護者]	153
1. 子どもと家族の状況等	153
(1) 子どもと回答者の続柄(問 1)	153

(2) 居住区(問 2)	153
(3) 子どもの性別(問 3)	154
(4) 子どもの状況(問 4)	154
(5) 子どもの人数(問 5)	154
(6) 同居の状況(問 6)【複数回答】.....	155
(7) 同居している家族の人数(問 6)	155
2. 子どもの生活状況.....	156
(8) 子どもの起床時刻(問 7)	156
(9) 子どもの就寝時刻(問 7)	156
(10) 子どもの平均睡眠時間(問 7)	157
(11) 一週間の歯磨きの頻度(問 8).....	157
(12) 家族との会話(問 9)	158
(13) 子どもの話をよく聞いているか(問 9-1).....	158
(14) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器の所有状況(問 10)	159
(15) 通信機器の使用目的(問 10-1)【複数回答】.....	159
(16) 携帯電話・スマートフォン、タブレット等を使用する時間(問 11).....	160
(17) 家庭でのインターネットやSNSの使い方についてのルール(問 12)【複数回答】	160
(18) 子どもが放課後等で過ごすことが多い場所(問 13)【複数回答】.....	161
(19) 子どもが放課後(平日)過ごす場所として望ましい場所(問 13-1)【複数回答】.....	162
(20) 子どもの勉強や習い事以外の活動内容(問 14)【複数回答】	163
① 放課後(平日)	163
② 休日	164
(21) 子どもが健全に成長するために必要な体験(問 14-1)【複数回答】.....	165
3. 子育てに関する状況	166
(22) 高校卒業後の子どもの進路(問 15)	166
(23) 子育てや子どもの教育に関する悩みや不安の有無(問 16)	166
(24) 子育てに関して、日常悩んでいることや気になること(問 16-1)【複数回答】.....	167
(25) 子育てに関する悩みや不安の相談相手や相談場所の有無(問 17)	168
(26) 子育てに関する悩みや不安の相談相手(問 17-1)【複数回答】.....	168
(27) 子育てを楽しんでいるか(問 18).....	169
(28) 子育てに関する情報の入手先(問 19)【複数回答】.....	169
(29) より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信手段(場所)(問 20)【複数回答】.....	170
(30) 行政の子育て情報を発信する媒体(SNSや冊子等)(問 20-1)	171
① 情報媒体(SNSや冊子等)	171
② 改善点【複数回答】.....	171
③ 知りたい情報【複数回答】	172
(31) 希望する子どもの人数と実際に予定している子どもの人数(問 21)	173
(32) 希望する子どもの人数より実際に予定する子どもの人数が少ない理由(問 21-1)【複数回答】	173
4. 保護者の就労状況	174
(33) 保護者の就労状況(問 22)	174
(34) 世帯全体の年収(問 23)	175
(35) 「共育て」の推進に必要なこと(問 24)	175
5. 今後の北九州市の子育て支援	176

(36) より力を入れてほしい子育て支援策(問 24)【複数回答】	176
(37) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか(問 25)	177
[中学・高校生等本人]	179
1. 回答者の属性	179
(1) 本人の状況(問 1)	179
(2) 居住区(問 2)	179
2. 回答者の生活状況	180
(3) 現在想定する進路(問 3)	180
(4) 生活満足度(問 4)	180
(5) 自分が居心地よく安心する居場所(問 5)【複数回答】	181
(6) あると良いと思う居場所(問 6)【複数回答】	182
(7) 学校(仕事)が休みの日の過ごし方(問 7)【複数回答】	183
(8) 日ごろの悩み(問 8)【複数回答】	184
(9) 悩みや不安の相談相手(問 9)【複数回答】	185
(10) 自分の意見に対する大人の態度(問 10)	185
(11) 周りに自分の意見を伝えられているか(問 11)	186
(12) 結婚に対する考え(問 12)	186
(13) 自分の将来に対する希望(問 13)	187
[18歳～39歳の男女]	189
1. 回答者の属性	189
(1) 性別(問 1)	189
(2) 年齢(問 2)	189
(3) 居住区(問 3)	190
(4) 最終学歴(問 4)	190
2. 回答者の生活状況	191
(5) 同居の状況(問 5)【複数回答】	191
(6) 生活費の担い手(問 6)	191
(7) 近所づきあいの状況(問 7)	192
(8) 外出の頻度(問 8)	192
(9) 外出の頻度が減ってからの期間(問 8-1)	193
(10) あまり外出しなくなったきっかけ(問 8-2)【複数回答】	193
(11) 自分が居心地よく安心する居場所(問 9)【複数回答】	194
(12) 日ごろの悩み(問 10)【複数回答】	195
(13) 悩みや不安の相談相手【(問 10-1)【複数回答】	196
3. 就労状況について	197
(14) 現在の就労状況(問 11)	197
(15) 就労形態(問 10-1)	197
(16) 就労先での職種(問 11-2)	198
(17) 1週間あたりの就労日数(問 11-3)	199
(18) 1日当たりの就労時間(問 11-4)	199
(19) 家を出る時間と帰宅時間(問 11-4)	200
(20) 年収(問 12)	201
① 男性	201

② 女性	202
(21) 就労に対する考え(問 13)	203
4. 結婚や家庭のことについて	204
(22) 結婚の状況(問 14)	204
(23) 出会いのきっかけ(問 14-1)【複数回答】	205
(24) 結婚観(問 14-2)	206
(25) 結婚をしていない理由(問 14-3)【複数回答】	207
(26) 結婚したい人が結婚するために必要なこと(問 15)	208
5. 出産や子育てについて	209
(27) 出産に対する考え(問 16)【複数回答】	209
(28) 不妊治療のための医療機関受診について(問 17)	210
(29) 子どもの人数(問 18)	210
(30) 希望する子どもの人数と予定している子どもの数(問 19)	211
(31) 希望する子どもの人数より実際に予定している子どもの人数が少ない理由(問 19-1)【複数回答】	211
(32) 「共育て」の推進に必要なこと(問 20)	212
6. 生活への満足度	213
(33) 生活満足度(問 21)	213

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度に策定する「(仮称)次期子どもプラン」の基礎資料とするとともに、今後の子ども家庭施策の参考とするために、家庭の状況や子育ての実態、保護者の意識などを把握し、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算定することを目的として実施した。

2. 調査対象

- ①就学前児童の保護者(調査票Aを配布) 5,000人
- ②就学前児童の保護者(調査票Bを配布) 3,000人
- ③小学生の保護者 3,000人
- ④中学・高校生の保護者 3,000人
- ⑤中学・高校生本人 3,000人
- ⑥18歳から39歳の男女 3,000人

※対象者は、住民基本台帳より無作為抽出。

3. 調査方法

郵送・WEB 調査併用

4. 調査期間

令和6年1月10日～令和6年1月31日

5. 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者(調査票Aを配布)	5,000	2,314	46.3%
就学前児童の保護者(調査票Bを配布)	3,000	1,515	50.5%
小学生の保護者	3,000	1,391	46.4%
中学・高校生の保護者	3,000	1,181	39.4%
中学・高校生本人	3,000	1,117	37.2%
18歳から39歳の男女	3,000	914	30.5%
計	20,000	8,432	42.2%

6. 調査実施機関

調査企画:北九州市 子ども家庭局子ども家庭部総務企画課

集計分析:株式会社日本統計センター

7. 集計・分析上の注意

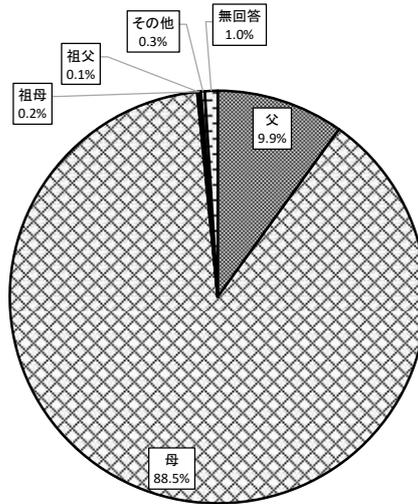
- ・図表においては、サンプル数を「N」で表記した。
- ・比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の質問については、合計が100%を超えることがある。

Ⅱ. 調査結果

〔就学前児童の保護者(調査票A)〕

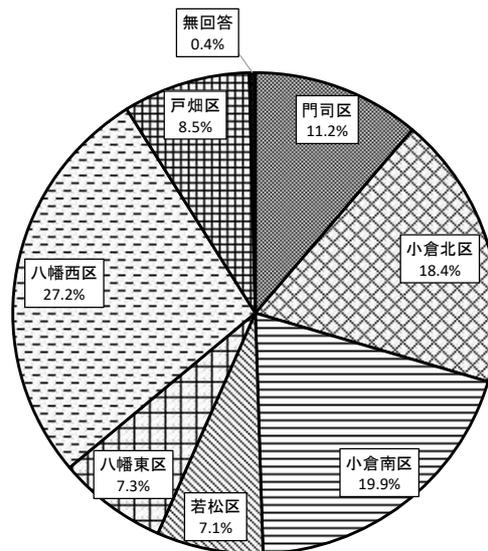
1. 子どもと家族の状況等

(1) 子どもからみた続柄(問 1)



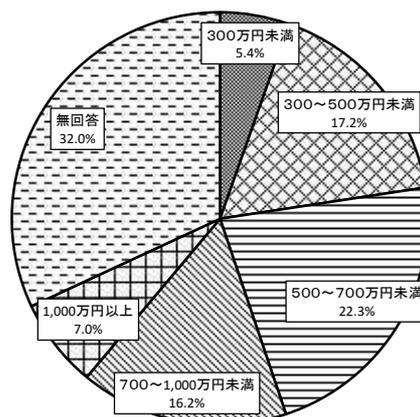
(N=2314)

(2) 居住区(問 2)



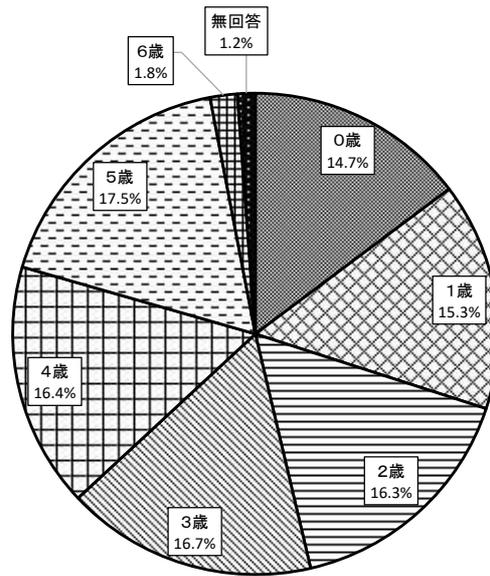
(N=2314)

(3) 世帯全体の年収(問 11-1)



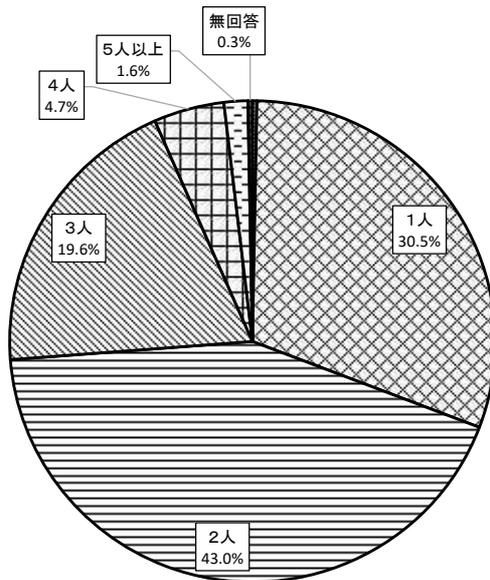
(N=2314)

(4) 子どもの年齢(問 3)



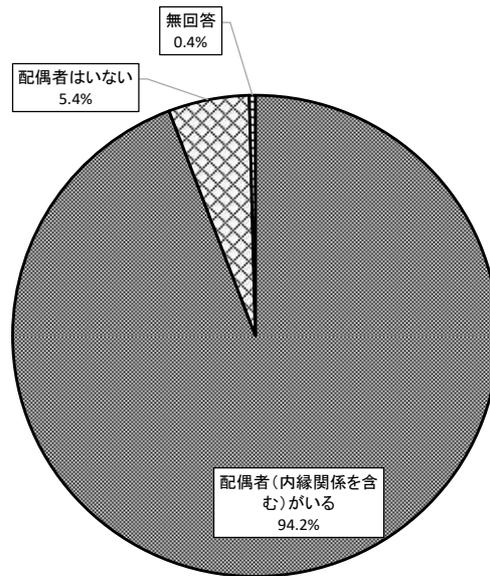
(N=2314)

(5) 子どもの人数(問 4)



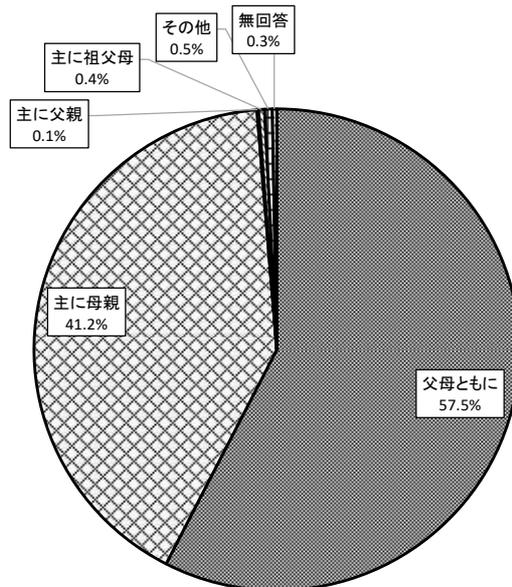
(N=2314)

(6) 調査票の回答者の配偶者の有無(問 5)



(N=2314)

(7) 子育て(教育を含む)を主に行っている人(問 6)

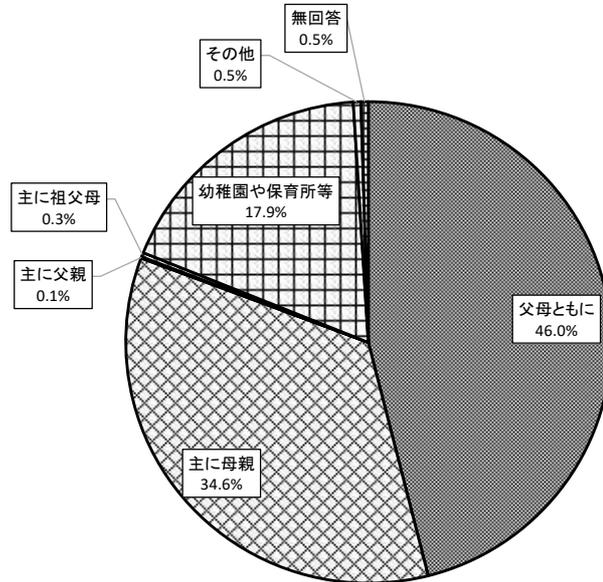


(N=2314)

2. 子どもの育ちをめぐる環境

(8) 子育て(教育を含む)に日常的に関わっている人や施設(問 7)【複数回答】

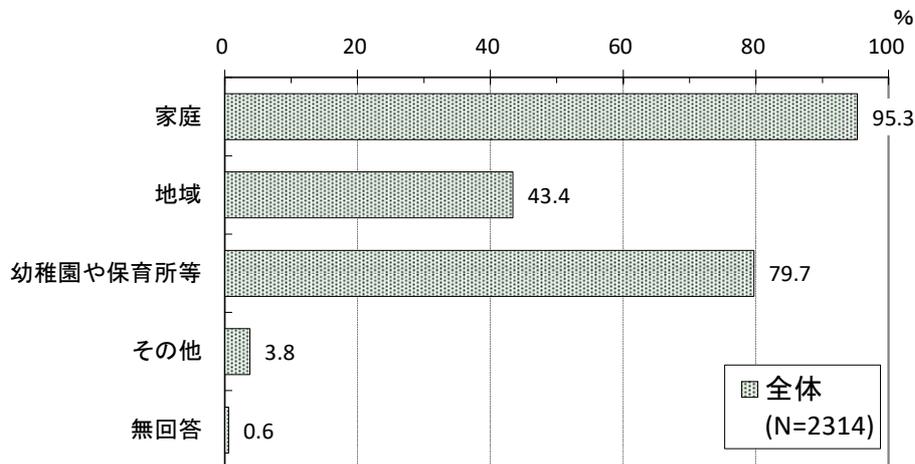
子育て(教育を含む)に日常的に関わっている人や施設は、「父母ともに」が 46.0%で最も高く、次いで「主に母親」34.6%「幼稚園・保育所等」17.9%となっている。



(N=2314)

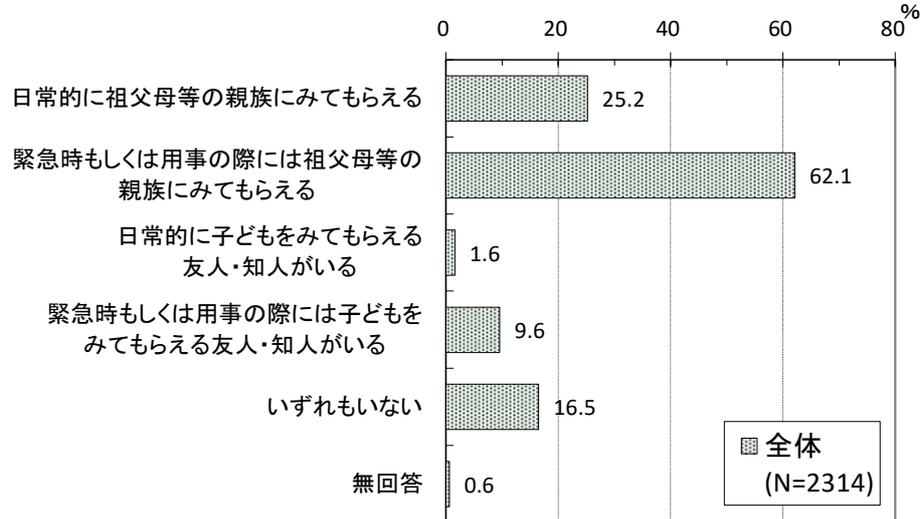
(9) 子育てに影響すると思われる環境(問 8)【複数回答】

子育てに影響すると思われる環境は、「家族」が 95.3%で最も高く、次いで「幼稚園・保育所等の施設」79.7%、「地域」43.4%となっている。



(10) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無(問9)【複数回答】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 62.1%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」25.2%、「いずれもない」16.5%となっている。

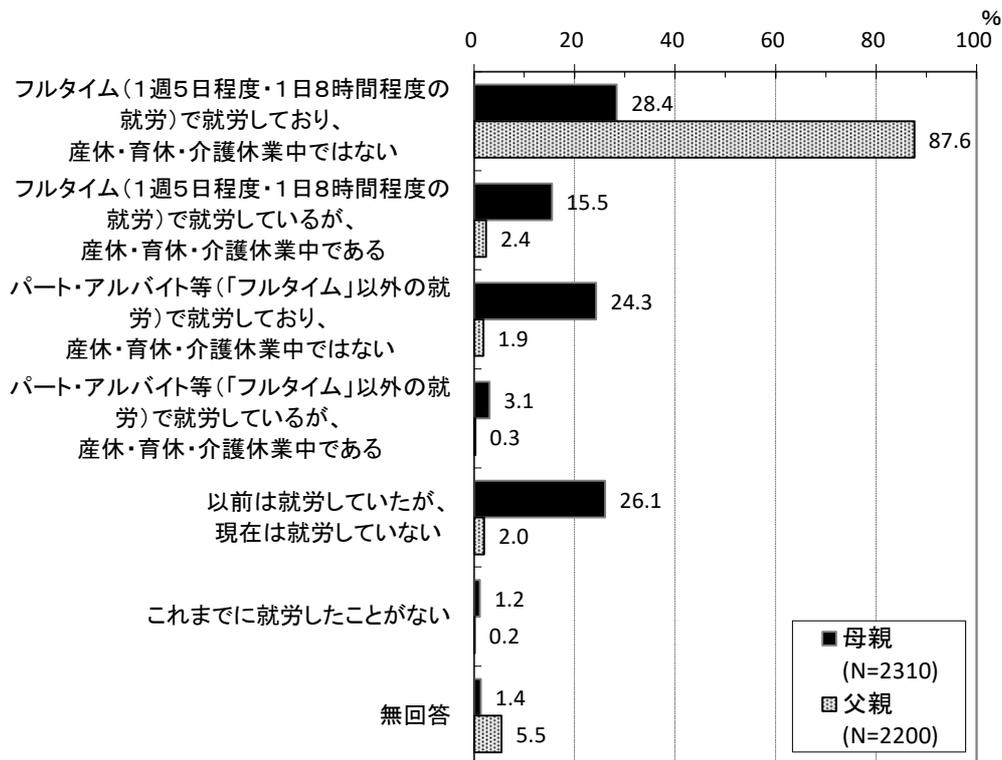


3. 保護者の就労状況

(11) 現在の就労状況(問 10(1)、問 10(2))

母親の就労状況は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 28.4%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」24.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」26.1%となっている。

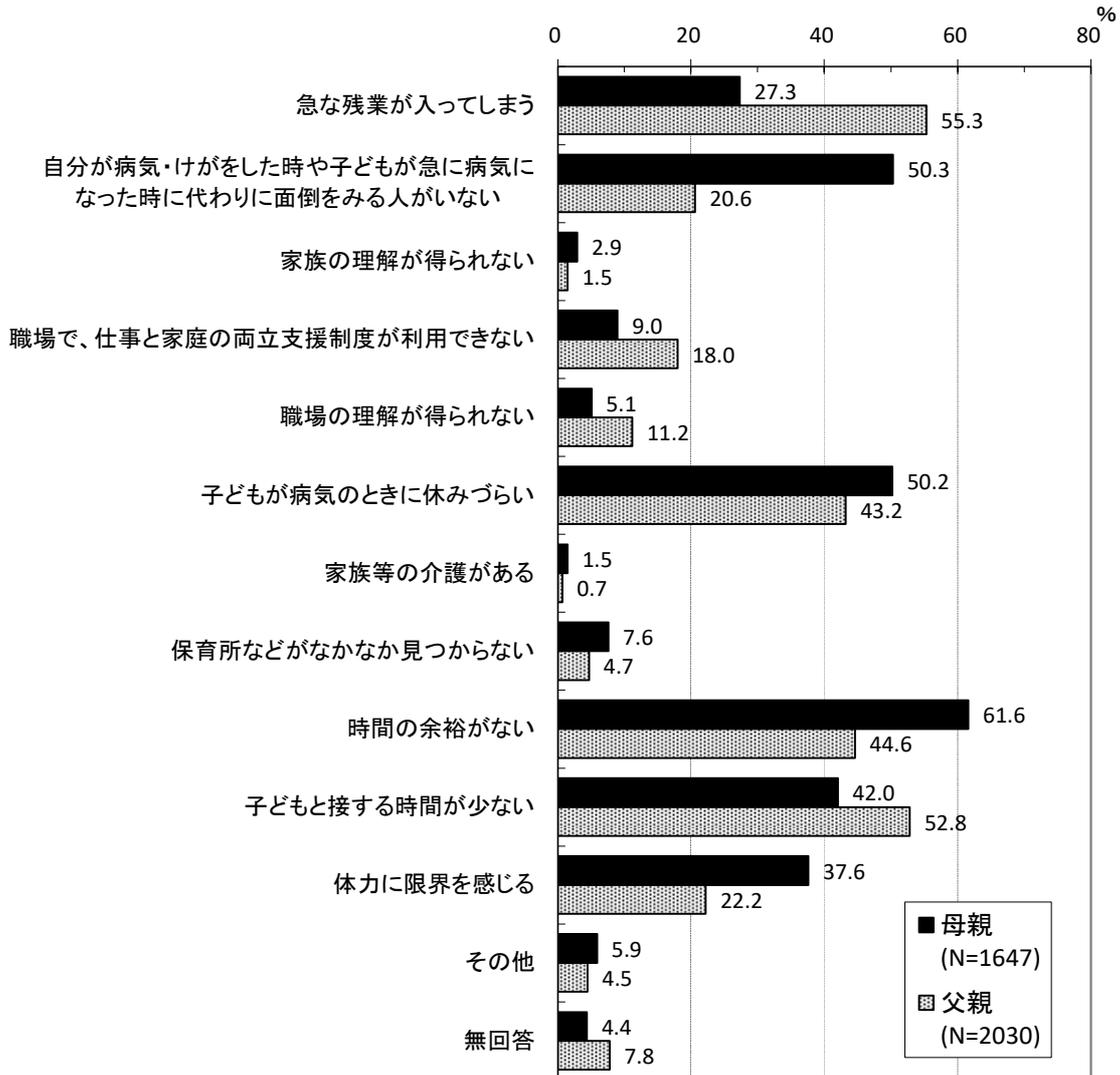
父親は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」87.6%が大多数である。



(12) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること(問 10(1)-1、問 10(2)-1)【複数回答】

現在就労している人が、仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは、母親は「時間の余裕がない」が 61.6%で最も高く、次いで「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」50.3%、「子どもが病気のときに休みづらい」50.2%、「子どもと接する時間が少ない」42.0%となっている。

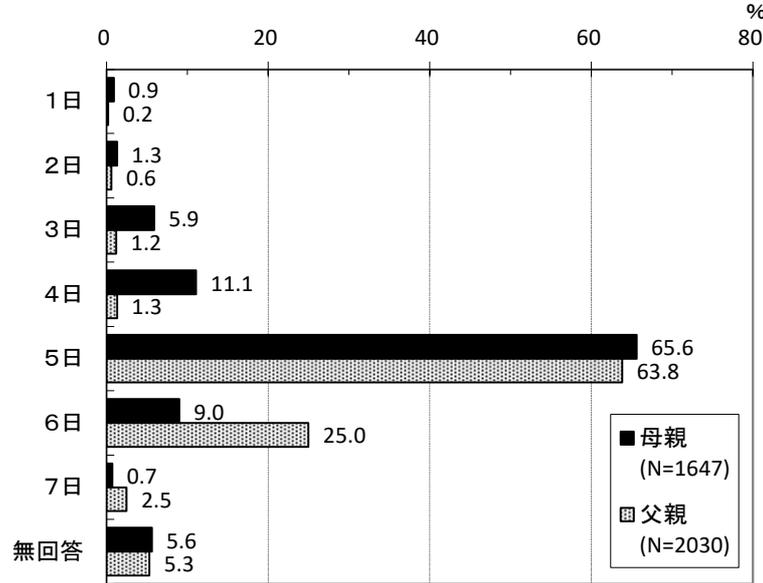
父親は「急な残業が入ってしまう」が 55.3%で最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が 52.8%、「時間の余裕がない」44.6%、「子どもが病気のときに休みづらい」43.2%となっている。



(13) 1週あたりの就労日数、1日あたりの就労時間(問 10(1)-2、問 10(2)-2)

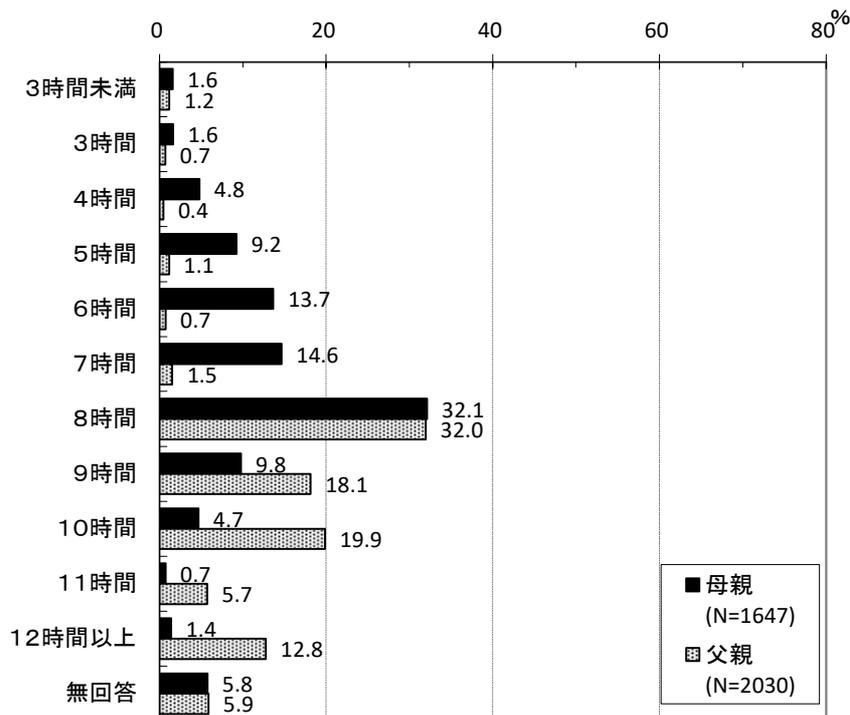
① 1週あたりの就労日数

母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が 65.6%で最も高く、次いで「4日」11.1%、「6日」9.0%となっている。父親は、「5日」が 63.8%で最も高く、次いで「6日」25.0%「7日」2.5%となっている。



② 1日あたりの就労時間

母親の1日当たりの就労時間(残業時間を含む)は、「8時間」が 32.1%で最も高く、次いで「7時間」14.6%、「6時間」13.7%となっている。父親は、「8時間」が 32.0%で最も高く、次いで「10時間」19.9%、「9時間」18.1%となっている。

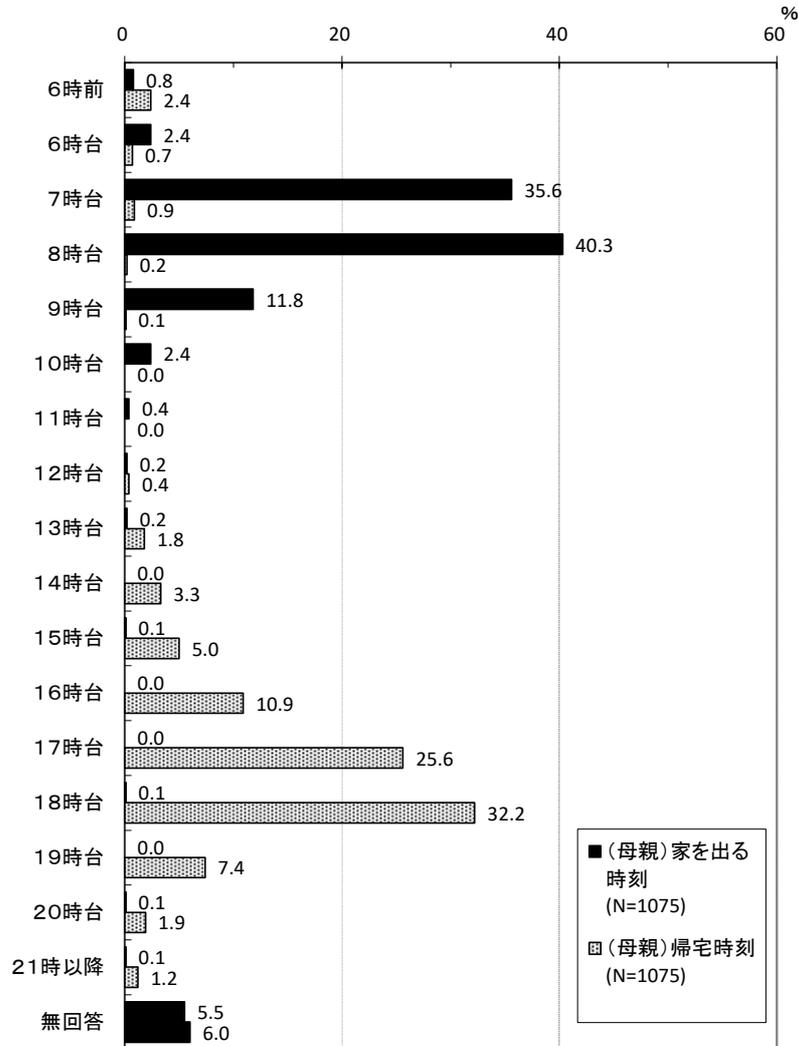


(14) 家を出る時刻と帰宅時刻(問 11(1)-3、問 11(2)-3)

① 母親

母親が家を出る時刻は、「8時台」40.3%で最も高く、次いで「7時台」35.6%、「9時台」11.8%となっている。

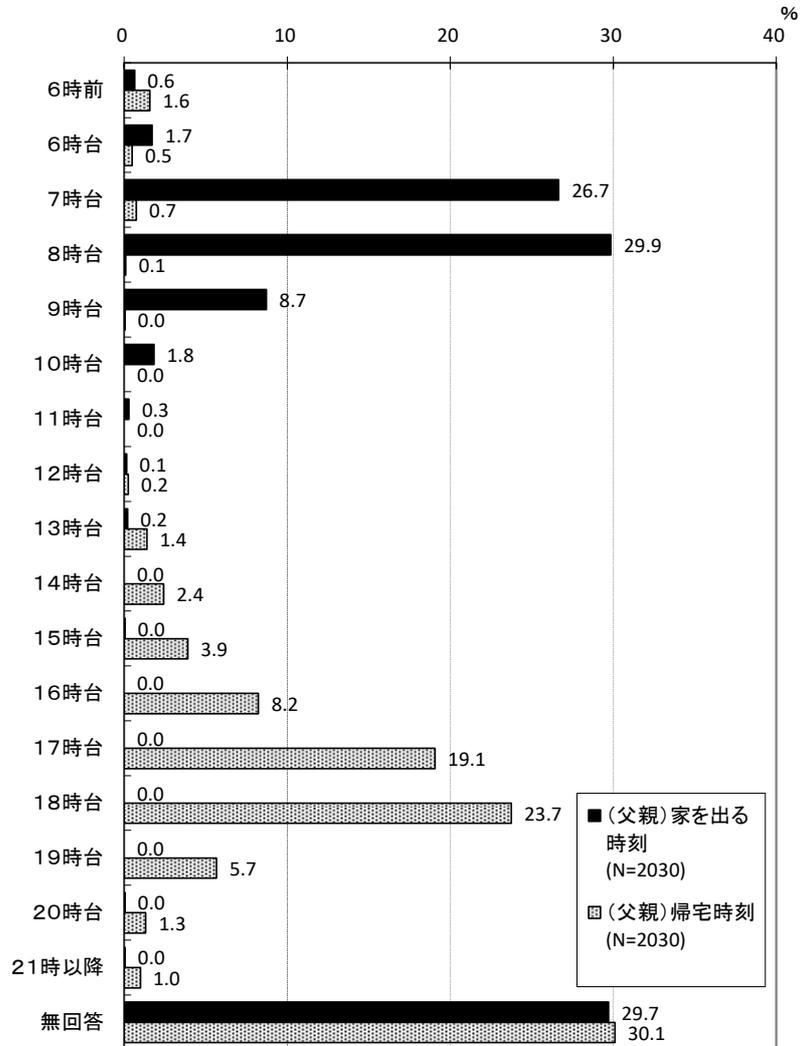
帰宅時刻は、「18時台」が 32.2%で最も高く、次いで「17時台」25.6%、「16時台」10.9%となっている。



② 父親

父親が家を出る時刻は、「8時台」が 29.9%で最も高く、次いで「7時台」26.7%、「9時台」8.7%となっている。

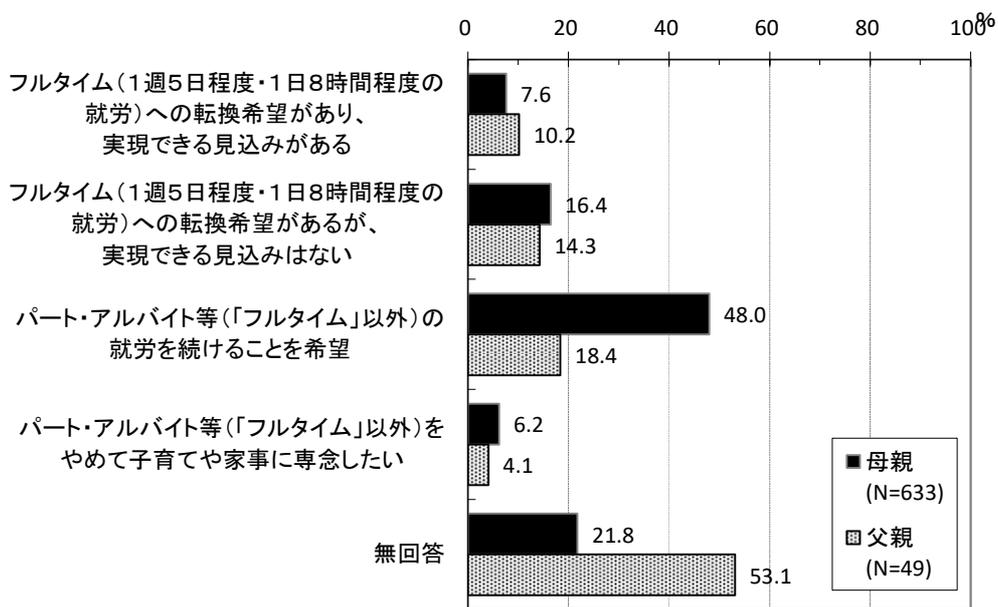
帰宅時刻は、「18時台」が 23.7%で最も高く、次いで「17時台」19.1%、「16時台」8.2%となっている。



(15) フルタイムへの転換希望(問 11)

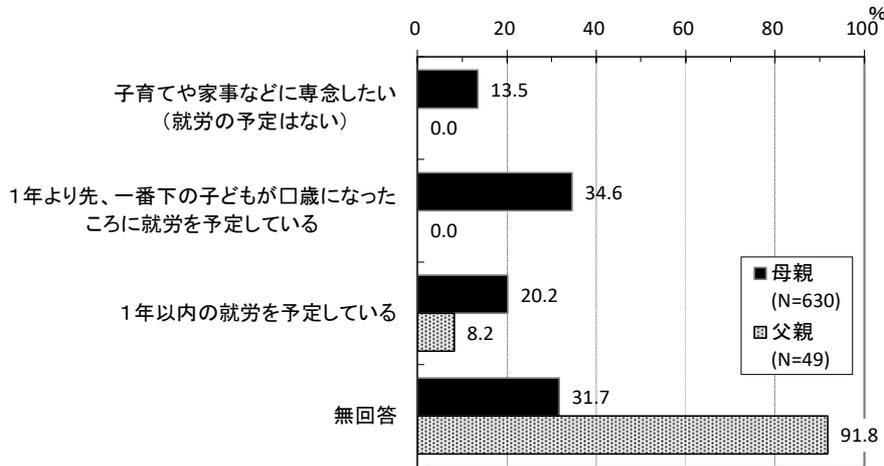
「(11)現在の就労状況」で、パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労していると回答した人に、フルタイムへの転換希望を尋ねたところ、母親は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が 48.0%で最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」16.4%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」7.6%となっている。

父親は無回答が過半数を占めているが、回答の中では「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が 18.4%で最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みがない」14.3%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあり、実現できる見込みがある」が 10.2%となっている。



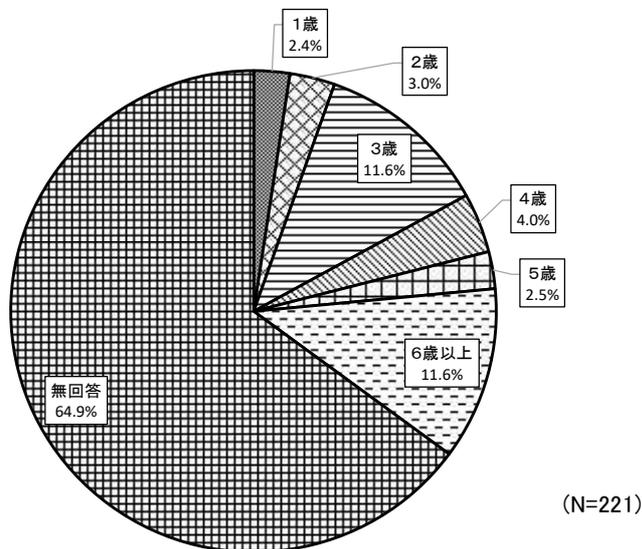
(16) 今後の就労予定(問 12)

「(11)現在の就労状況」で、現在は就労していない、就労したことがないと回答した人に今後の就労予定を尋ねたところ、母親は「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労を予定している」が34.6%で、次いで「1年以内の就労を予定している」20.2%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」13.5%となっている。父親はほぼ全員が無回答である。



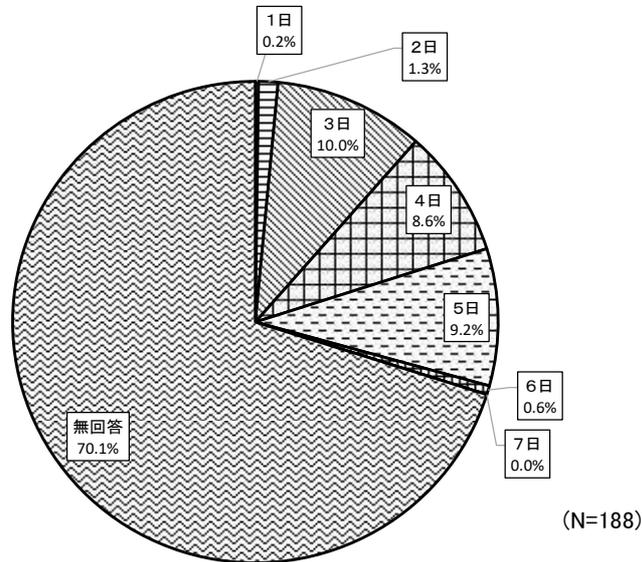
① 予定している就労時の子どもの年齢(母親)

「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労を予定している」と回答した母親に具体的な子どもの年齢を尋ねたところ、無回答が6割を占めたが、回答の中では「3歳」、「6歳以上」が11.6%となっている。



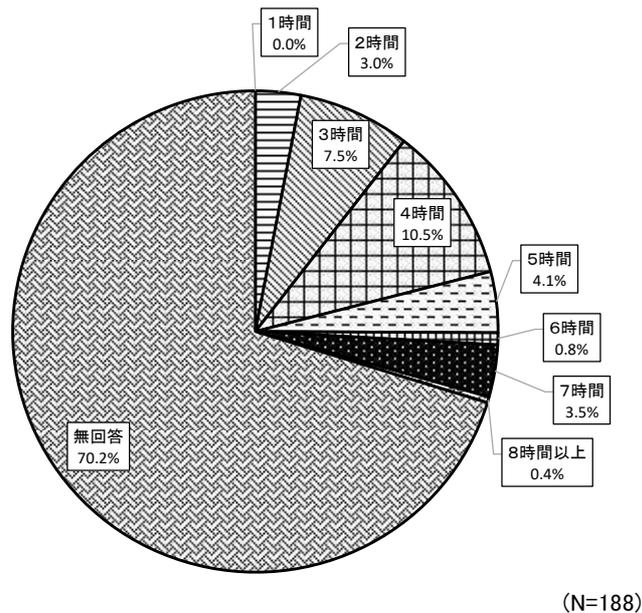
② 1週当たりの希望就労日数(母親)

1年以内に就労する予定と回答し、希望する就労形態を「パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外)」と回答した母親に希望する1週当たりの就労日数を尋ねたところ、無回答が7割を占めたが、回答の中では「3日」が10.0%で最も高く、次いで「5日」が9.2%、「4日」8.6%となっている。



③ 1日当たりの希望就労時間(母親)

1年以内に就労する予定と回答し、希望する就労形態を「パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外)」と回答した母親に希望する1日当たりの就労時間を尋ねたところ、無回答が7割を占めたが、回答の中では「4時間」が10.5%で最も高く、次いで「3時間」7.5%、「5時間」4.1%となっている。

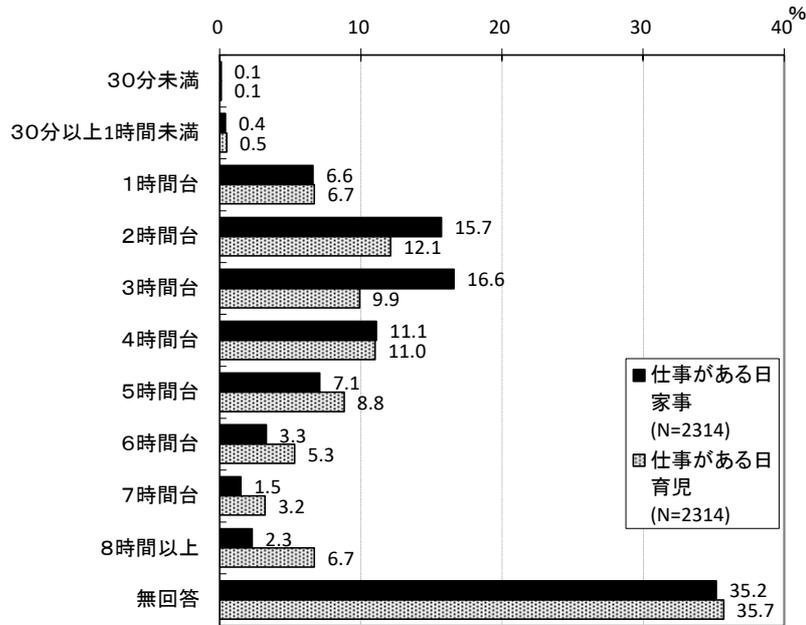


(17) 家事・子育てをする時間(問 13)

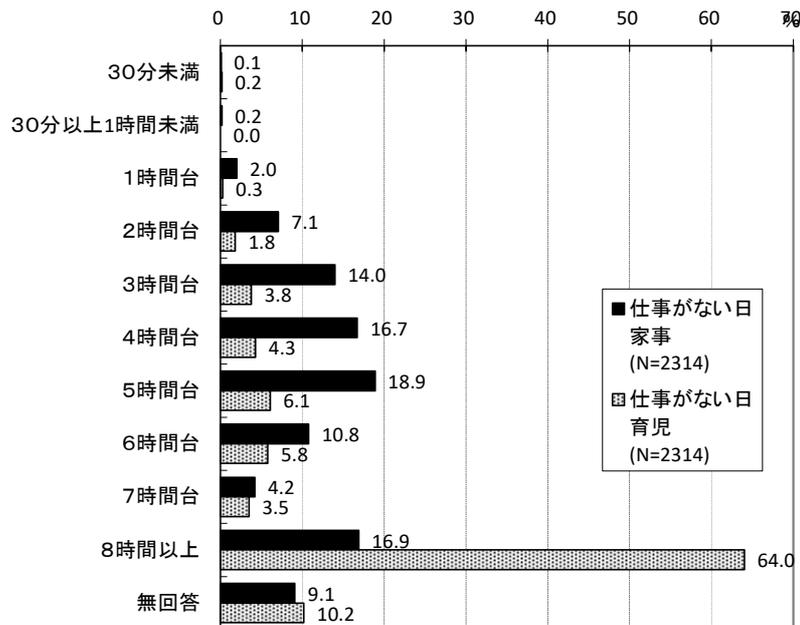
① 母親

母親の仕事がある日の家事(料理、洗濯、買物など)時間は、「3時間台」が 16.6%で最も高く、次いで、「2時間台」15.7%、「4時間台」11.1%となっている。

育児時間は、「2時間台」が 12.1%で最も高く、次いで「4時間台」11.0%、「3時間台」9.9%となっている。



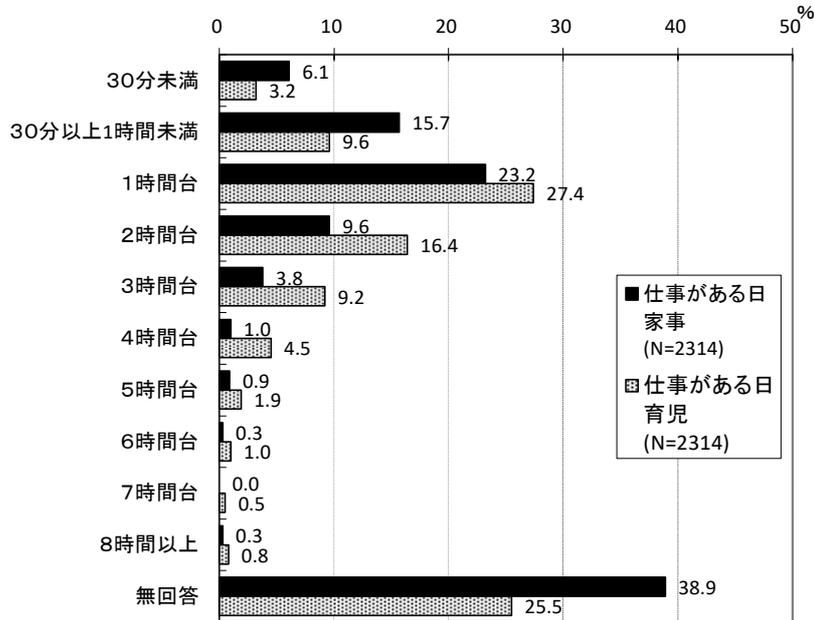
母親の仕事がない日の家事(料理、洗濯、買物など)時間は「5時間台」が 18.9%で最も高く、次いで「8時間以上」16.9%、「4時間台」16.7%となっている。育児時間は「8時間以上」が 64.0%を占めている。



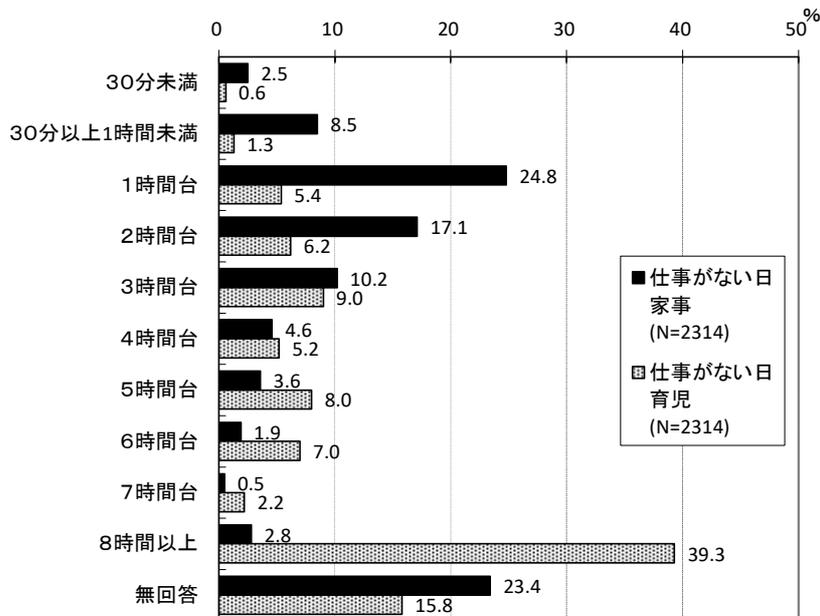
② 父親

父親の仕事がある日の家事(料理、洗濯、買物など)時間は、「1時間台」が 23.2%で最も高く、次いで、「30分以上1時間未満」15.7%、「2時間台」9.6%となっている。

育児時間は、「1時間台」が 27.4%で最も高く、次いで「2時間台」16.4%、「30分以上1時間未満」9.6%となっている。



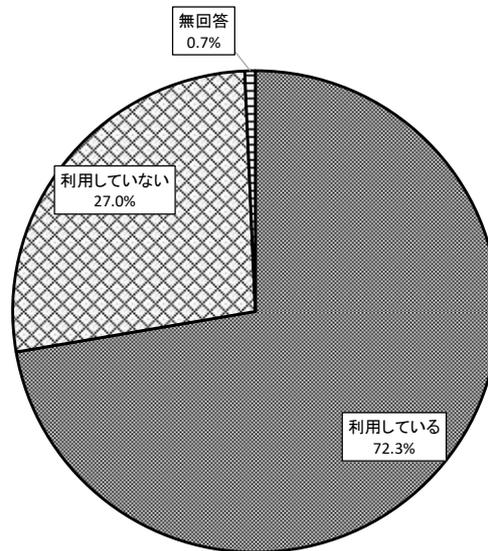
父親の仕事がない日の家事(料理、洗濯、買物など)時間は「1時間台」が 24.8%で最も高く、次いで「2時間台」17.1%、「3時間台」10.2%となっている。育児時間は「8時間以上」が 39.3%で最も高く、次いで「3時間台」9.0%、「5時間台」8.0%となっている。



4. 平日の定期的な教育・保育施設の利用状況

(18) 定期的な教育・保育施設の利用状況(問 14)

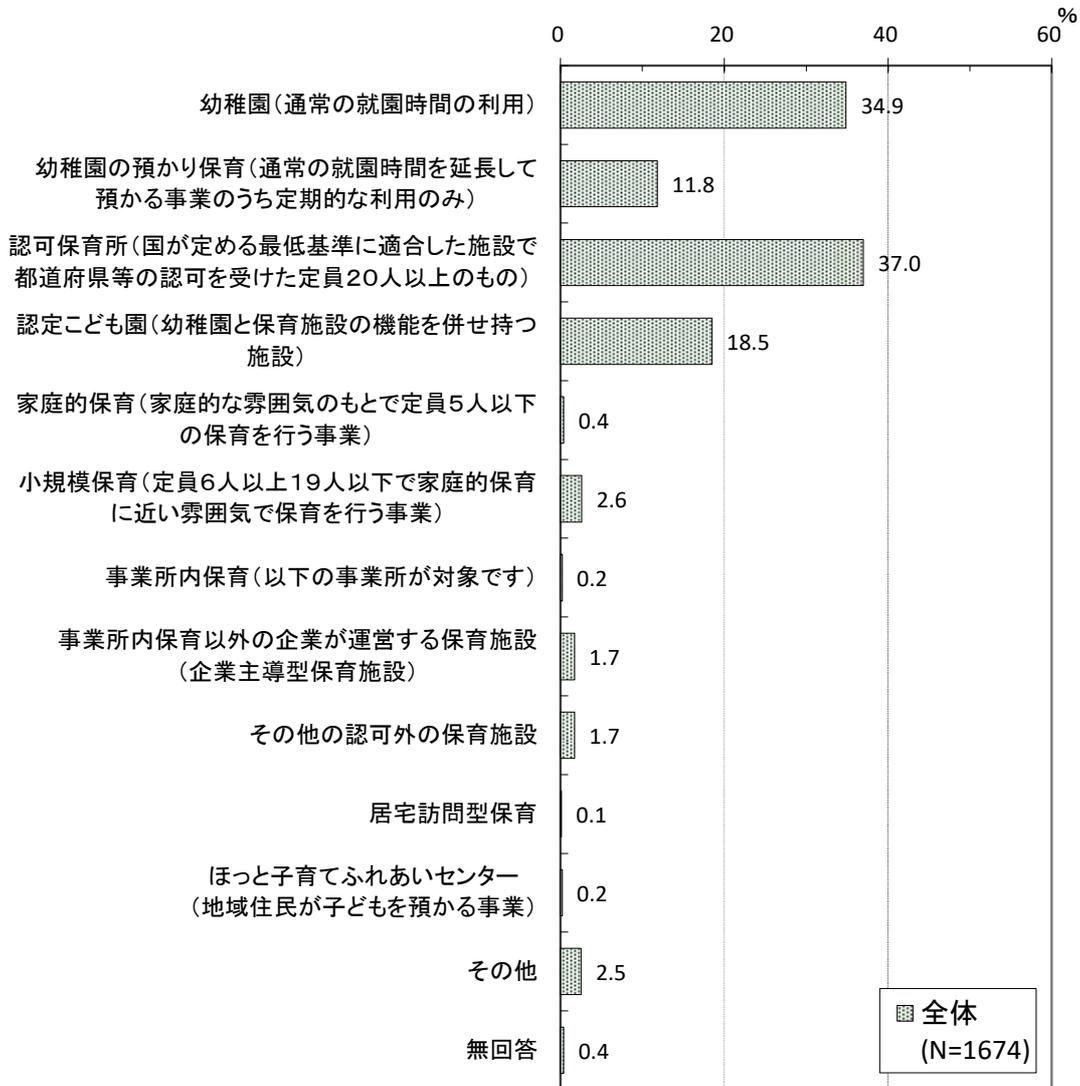
平日に定期的な教育・保育施設を「利用している」が 72.3%、「利用していない」が 27.0%となっている。



(N=2314)

(19) 平日に定期的に利用している教育・保育施設(問 15)【複数回答】

平日に定期的に利用している教育・保育施設は、「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)」が 37.0%で最も高く、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」34.9%、「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」18.5%、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」11.8%となっている。



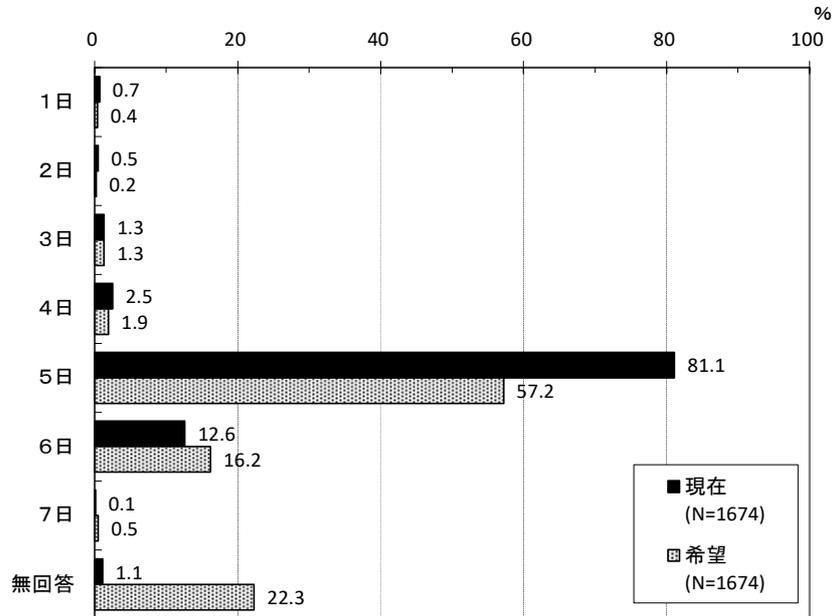
※事業所内保育施設に該当する施設

- ・キッズルーム・スマイル:小倉北区赤坂一丁目
- ・宇佐町さわやか保育園:小倉北区宇佐町二丁目
- ・うえっち保育園:小倉南区葛原本町一丁目
- ・なないろ保育園:小倉南区曾根北町
- ・キッズルーム・ハグ:小倉南区中曾根東二丁目
- ・ひかりと大地の保育園:若松区大字安屋
- ・さわやかくきのうみ保育園:若松区くきのうみ中央

(20) 平日に定期的に利用している教育・保育施設の利用時間と利用希望時間(問 15-1)

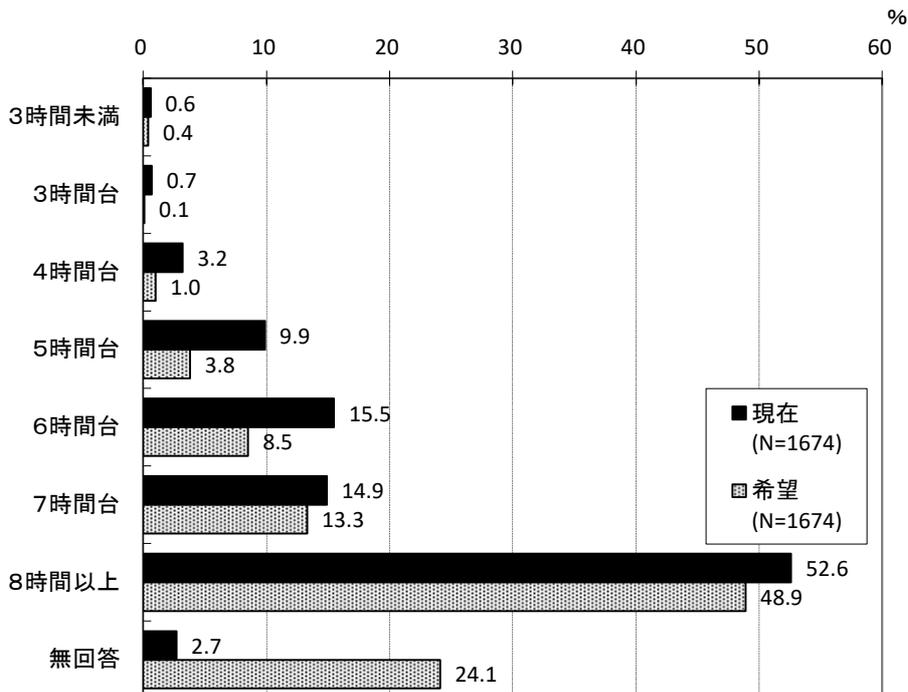
1週当たりの利用日数は、現在は「5日」が 81.1%、「6日」12.6%となっている。希望は「5日」が 57.2%、「6日」16.2%となっている。

① 1週当たりの利用日数



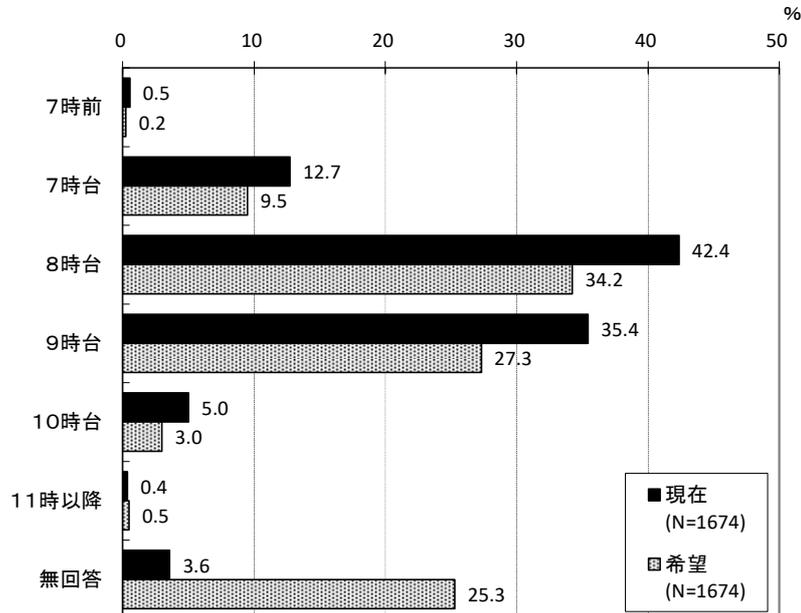
② 1日当たりの利用時間

1日当たりの利用時間は、現在は「8時間以上」が 52.6%で最も高く、次いで「6時間台」15.5%、「7時間台」14.9%、「5時間台」9.9%となっている。希望は「8時間以上」が 48.9%で最も高く、次いで「7時間台」13.3%、「6時間台」8.5%となっている。



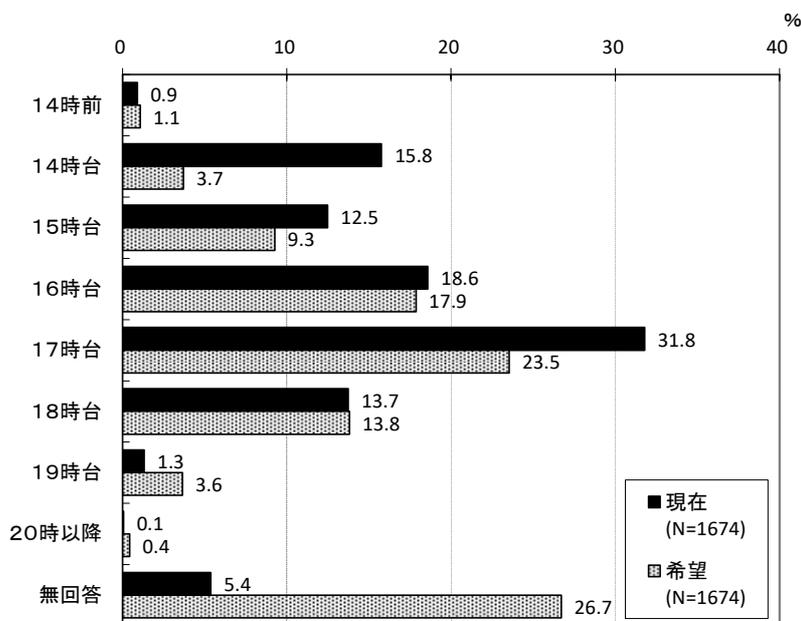
③ 利用開始時間

利用開始時間は、現在は「8時台」が 42.4%で最も高く、次いで「9時台」35.4%、「7時台」12.7%となっている。希望は「8時台」が 34.2%で最も高く、次いで「9時台」27.3%、「7時台」9.5%となっている。



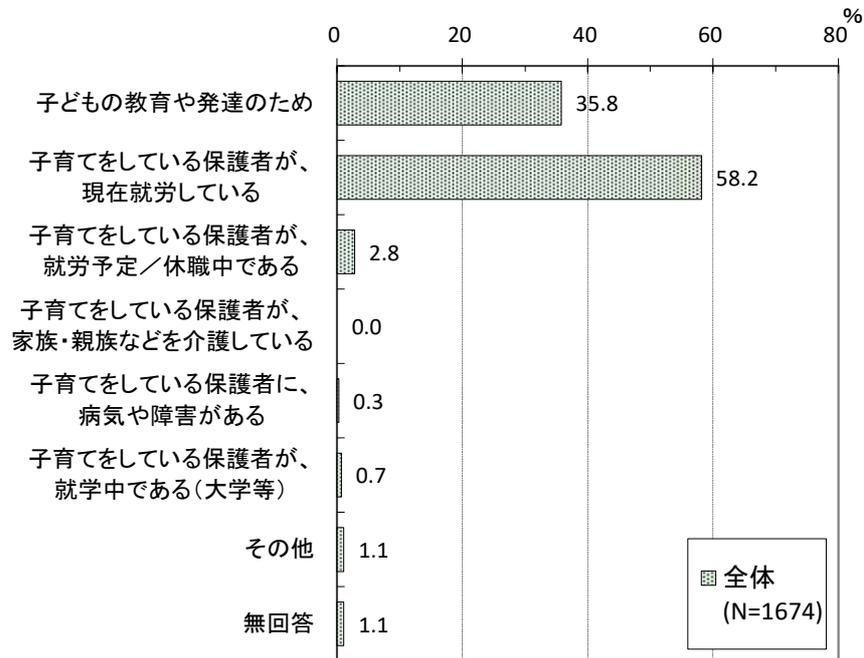
④ 利用終了時間

利用終了時間は、現在は「17時台」が 31.8%で最も高く、次いで「16時台」18.6%、「14時台」15.8%となっている。希望は「17時台」が 23.5%で最も高く、次いで「16時台」17.9%、「18時台」13.8%となっている。



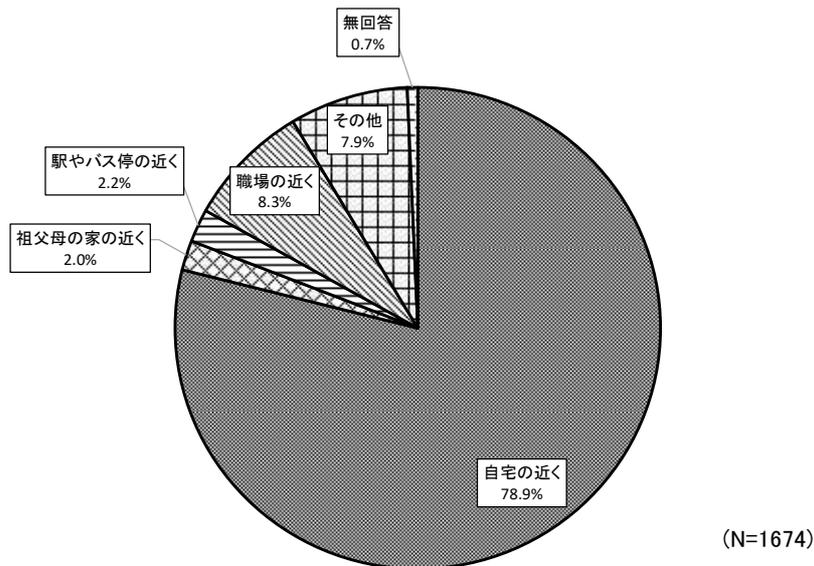
(21) 平日に定期的に教育・保育施設を利用している理由(問 15-2)

定期的に教育・保育施設を利用している理由は、「子育てをしている保護者が、現在就労している」が 58.2%で最も高く、「子どもの教育や発達のため」が 35.8%となっている。



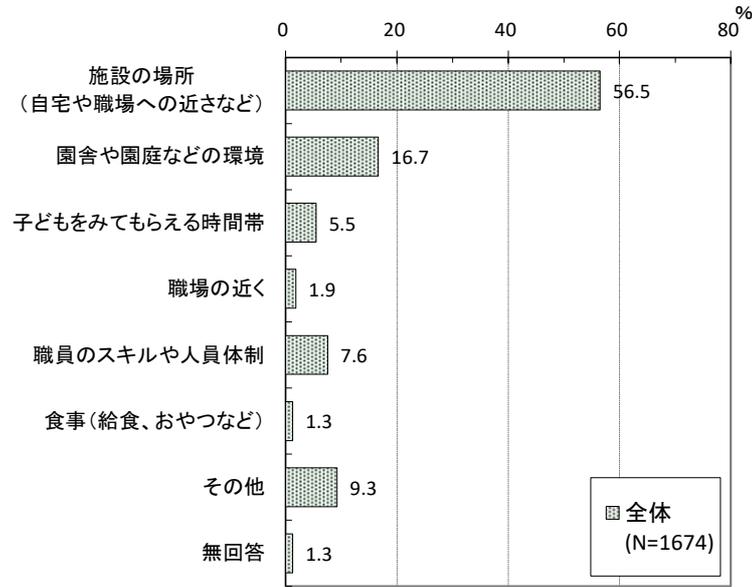
(22) 平日に定期的に利用している教育・保育施設の場所(問 15-3)

定期的に利用している教育・保育施設の場所は、「自宅の近く」が 78.9%で最も高く、「職場の近く」が 8.3%となっている。



(23) 定期的にご利用する教育・保育施設を選ぶ際の重視点(問 15-4)

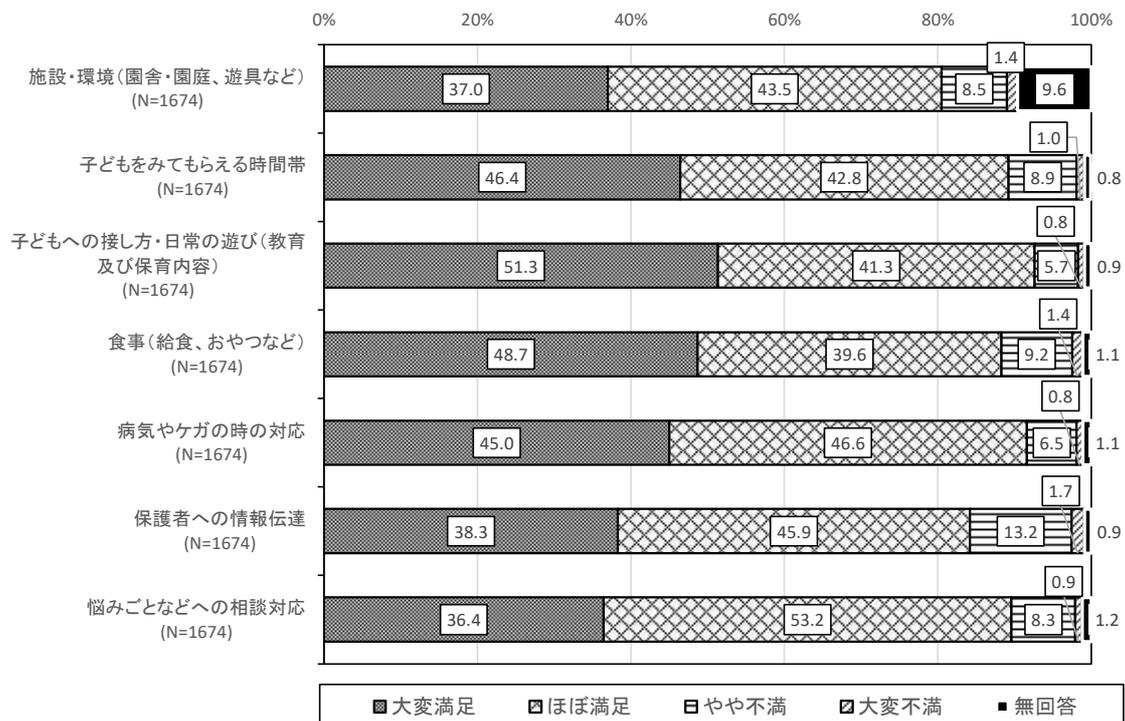
定期的にご利用する教育・保育施設を選ぶ際の重視点は、「施設の場所(自宅や職場への近くなど)」が 56.5%で最も高く、「園舎や園庭などの環境」が 16.7%となっている。



(24) 定期的にご利用している教育・保育施設の満足度(問 15-5)

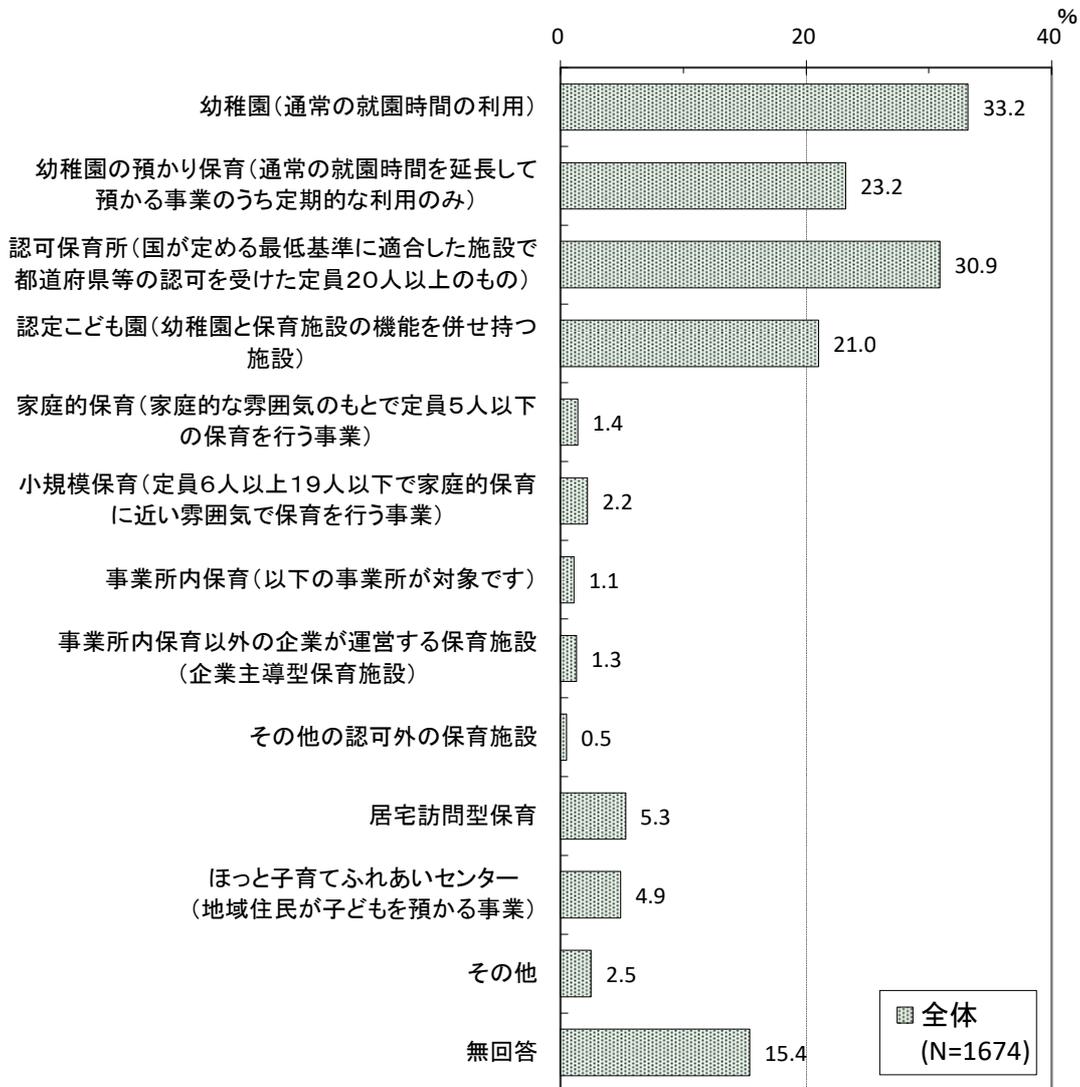
定期的にご利用している教育・保育施設の「大変満足」と「満足」を合わせた『満足』の割合はいずれの施設も8割を超えている。

『満足』の割合が最も高いのは「子どもへの接し方・日常の遊び(教育及び保育内容)」92.6%で、次いで「病気やケガの時の対応」91.6%、「悩みごとなどへの相談対応」89.6%、「子どもをみてもらえる時間帯」89.2%となっている。



(25) 施設利用者が今後、平日に定期的に利用したい施設(問 16)【複数回答】

施設利用者が今後、平日に定期的に利用したい教育・保育施設は、「幼稚園(通常就園時間の利用)」が 33.2%で最も高く、次いで「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)」30.9%、「幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」23.2%、「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」21.0%となっている。

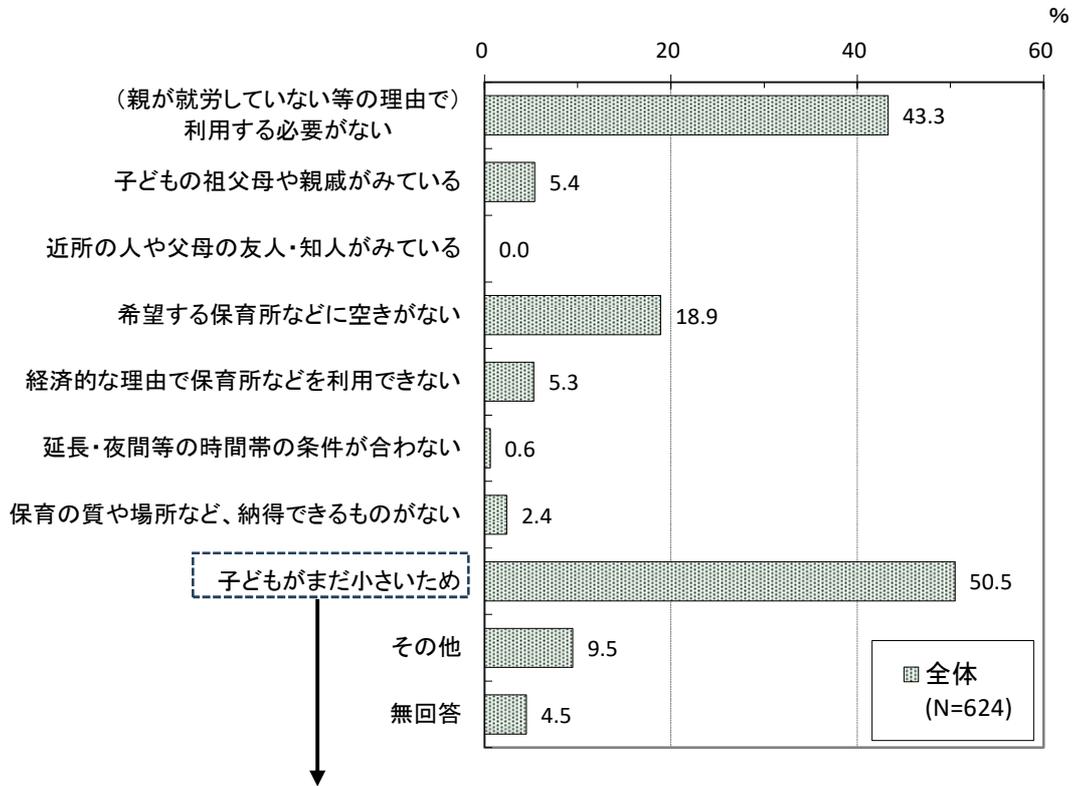


※事業所内保育施設に該当する施設

- ・キッズルーム・スマイル:小倉北区赤坂一丁目
- ・宇佐町さわやか保育園:小倉北区宇佐町二丁目
- ・うえっち保育園:小倉南区葛原本町一丁目
- ・なないろ保育園:小倉南区曾根北町
- ・キッズルーム・ハグ:小倉南区中曾根東二丁目
- ・ひかりと大地の保育園:若松区大字安屋
- ・さわやかくきのうみ保育園:若松区くきのうみ中央

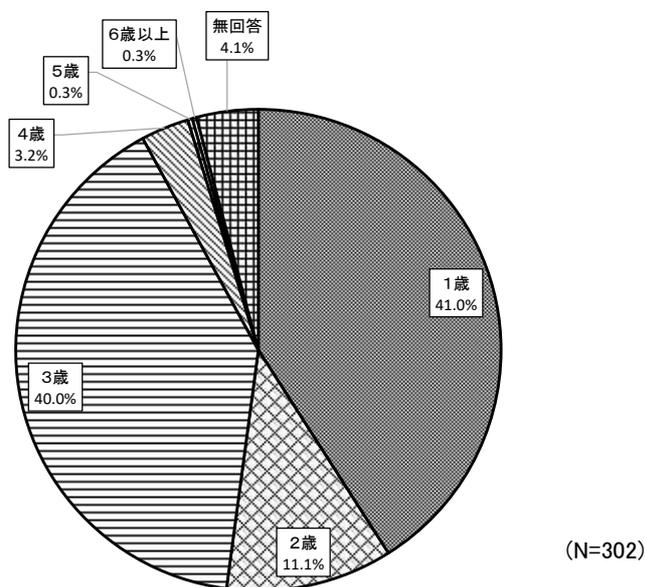
(26) 平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由(問 17)【複数回答】

(18)で平日に定期的に教育・保育事業を「利用していない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 50.5%で最も高く、次いで「(親が就労していない等の理由で)利用する必要がない」43.3%、「希望する保育所などに空きがない」18.9%となっている。



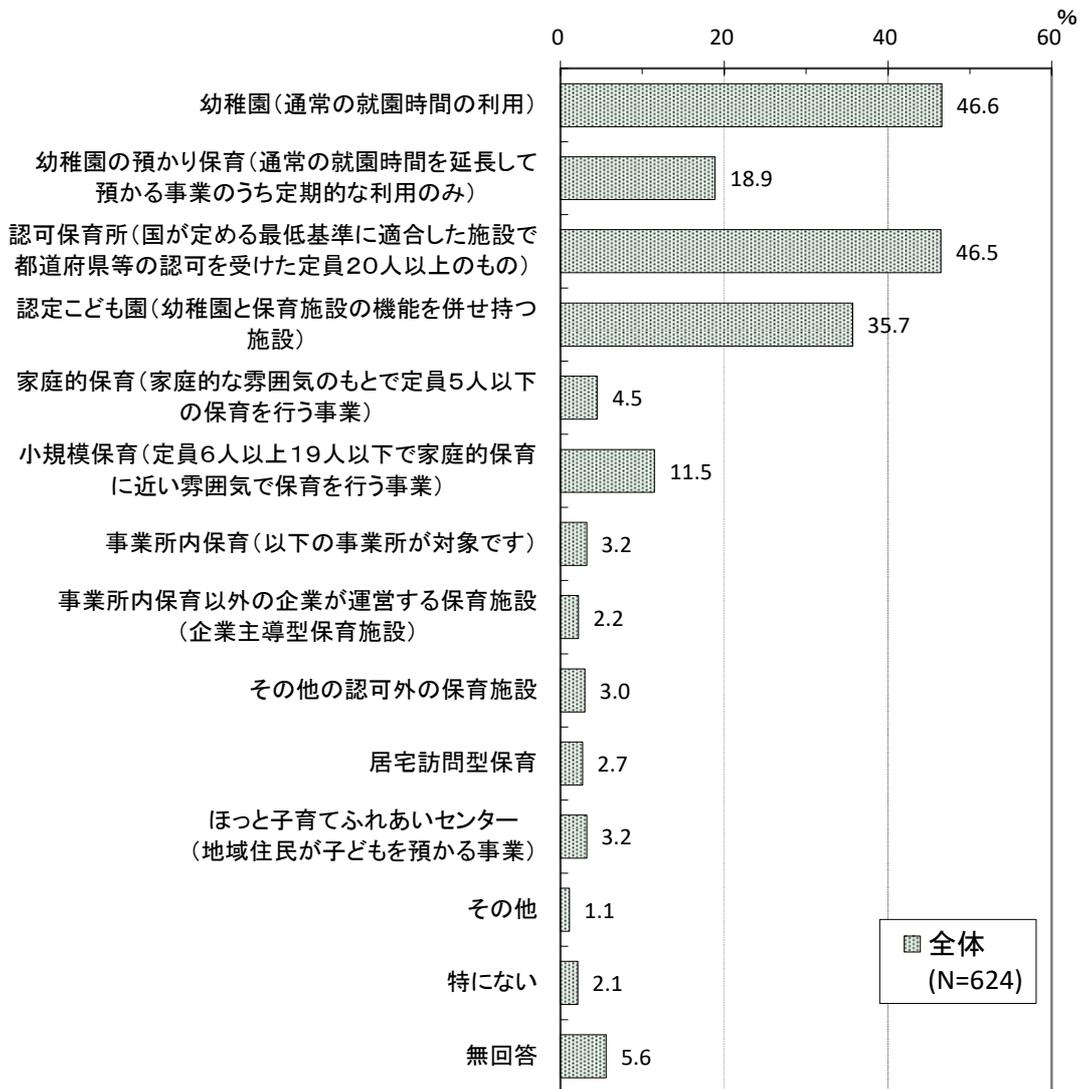
【利用しようと考えている子どもの年齢】

「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した人に、利用しようと考えている子どもの年齢を尋ねたところ、「1歳」が 41.0%で最も高く、次いで「3歳」40.0%、「2歳」11.1%となっている。



(27) 平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える施設(問 17-1)【複数回答】

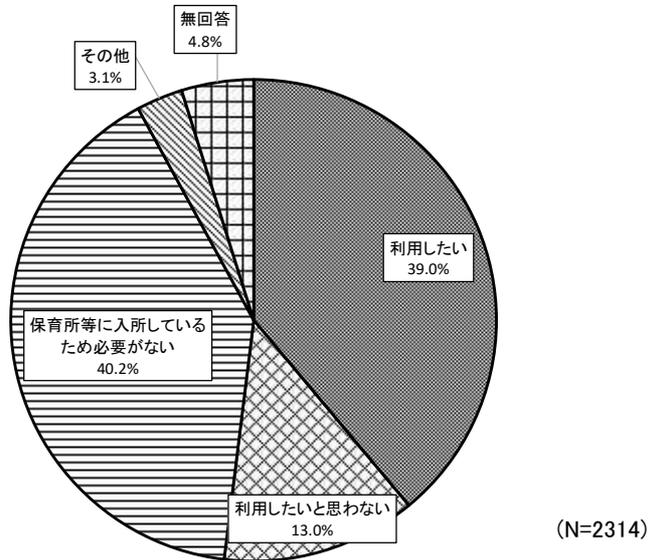
(18)で平日に定期的に教育・保育事業を「利用していない」と回答した人に、今後利用したい施設を尋ねたところ、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が46.6%、「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)」が 46.5%でほぼ同率となっている。次いで「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」35.7%、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」18.9%となっている。



- ※事業所内保育施設に該当する施設
- ・キッズルーム・スマイル:小倉北区赤坂一丁目
 - ・宇佐町さわやか保育園:小倉北区宇佐町二丁目
 - ・うえっち保育園:小倉南区葛原本町一丁目
 - ・なないろ保育園:小倉南区曾根北町
 - ・キッズルーム・ハグ:小倉南区中曾根東二丁目
 - ・ひかりと大地の保育園:若松区大字安屋
 - ・さわやかくきのうみ保育園:若松区くきのうみ中央

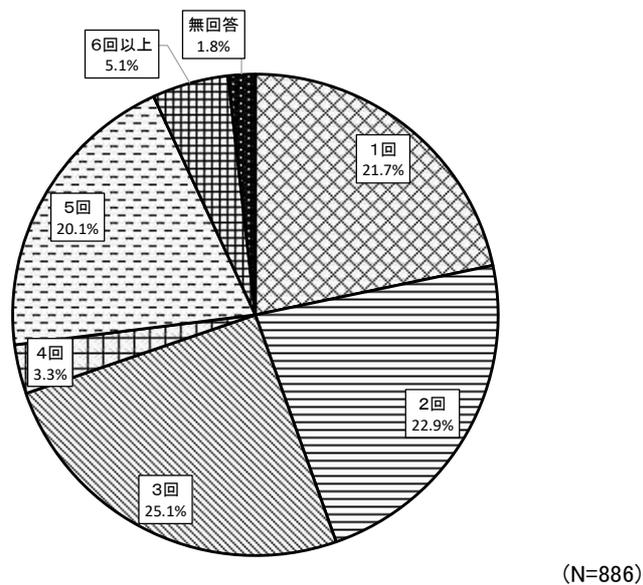
(28) 「こども誰でも通園制度(仮称)」の利用意向(問 18)

国が検討を進めている「こども誰でも通園制度(仮称)」の利用意向は、「利用したい」が 39.0%、「利用したいと思わない」、「保育所等に入所しているため必要がない」が合わせて 53.2%となっている。



(29) 「こども誰でも通園制度(仮称)」の1週あたり利用頻度(問 18-1)

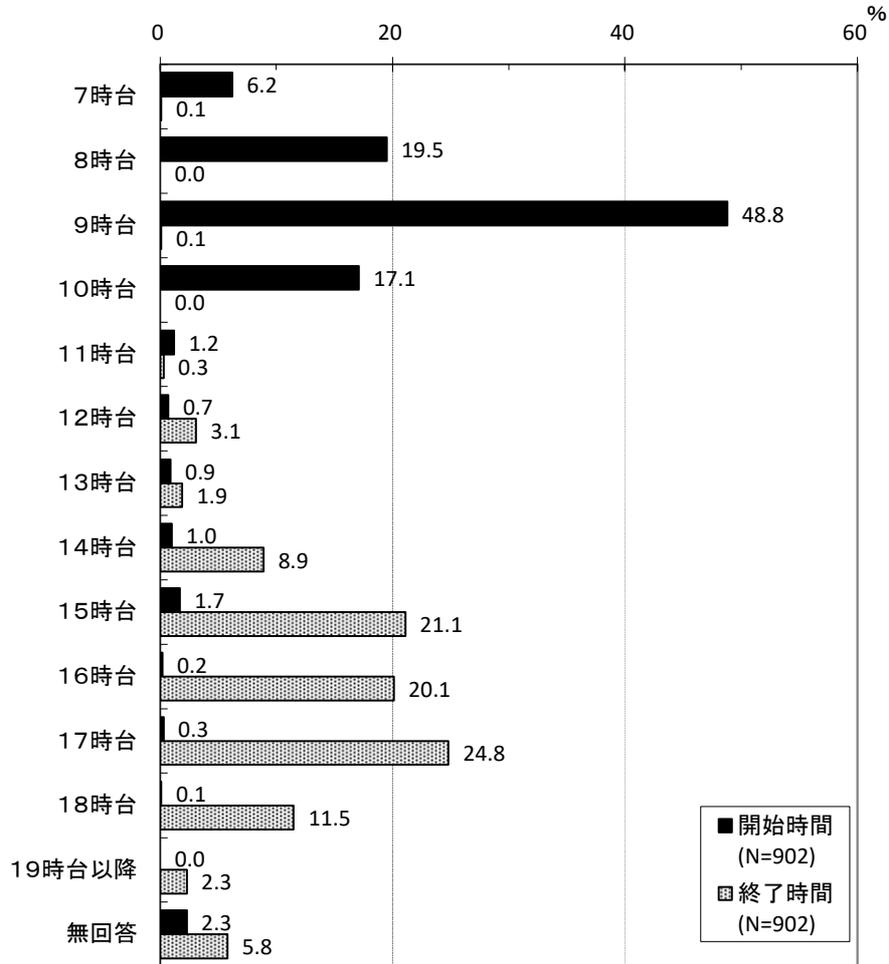
(28)で「こども誰でも通園制度(仮称)」を利用したいと回答した人の1週あたり利用頻度は、「3回」が 25.1%で最も高く、次いで「2回」22.9%、「1回」21.7%、「5回」20.1%となっている。



(30) 「こども誰でも通園制度(仮称)」の利用時間帯(問 18-1)

(28)で「こども誰でも通園制度(仮称)」を利用したいと回答した人の希望開始時間は、「9時台」が48.8%で最も高く、次いで「8時台」19.5%、「10時台」17.1%、「7時台」6.2%となっている。

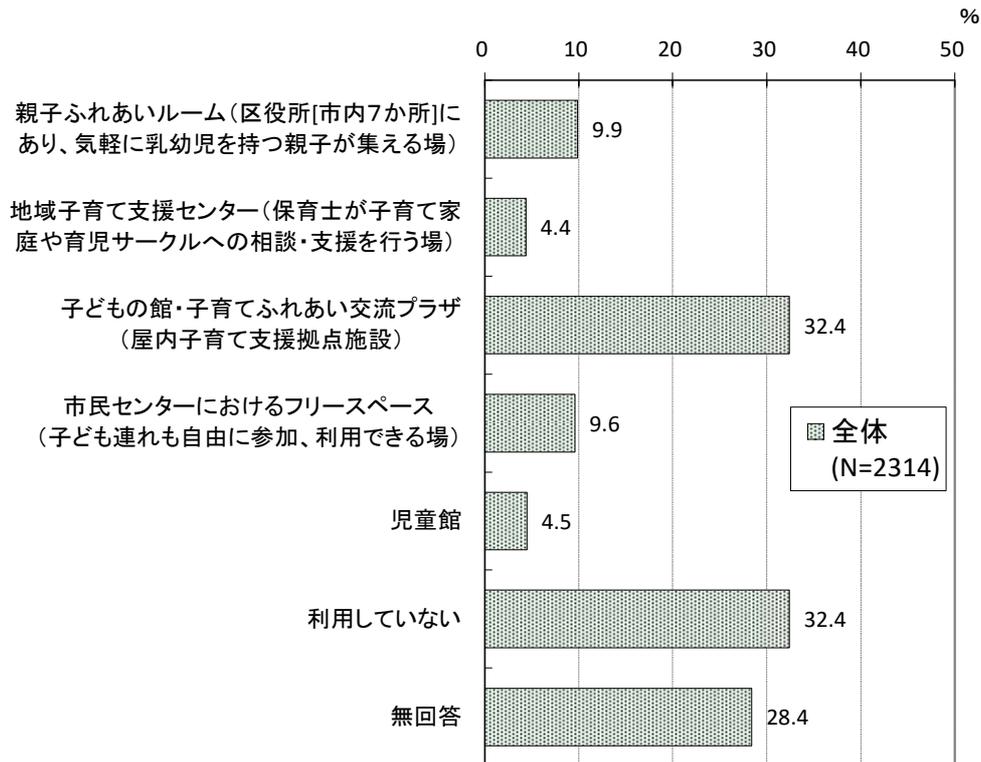
希望終了時間は、「17時台」が 24.8%で最も高く、次いで「15時台」21.1%、「16時台」20.1%、「18時台」11.5%となっている。



5. 地域の子育て支援事業の利用状況

(31) 地域の子育て支援事業の利用状況(問 19)【複数回答】

地域で行われる子育て支援事業の利用は、「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ(屋内子育て支援拠点施設)」が 32.4%で最も高く、次いで「親子ふれあいルーム(区役所[市内7か所]にあり、気軽に乳幼児を持つ親子が集える場)」9.9%、「市民センターにおけるフリースペース(子ども連れも自由に参加、利用できる場)」9.6%となっている。



【就学前児童の保護者（調査票 A）】

利用している子育て支援事業のおおよその利用回数(頻度)について、『週あたり』『月あたり』『年あたり』で尋ねた。

「親子ふれあいルーム」は「月あたり1回」が 60 件で最も多く、次いで「年あたり1回」が 40 件、「月あたり2回」30 件となっている。

「地域子育て支援センター」は「月あたり1回」が 35 件で最も多く、次いで「年あたり1回」が 19 件、「年あたり2回」14 件となっている。

「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ」は、「年あたり2回」が 149 件で最も多く、次いで「月あたり1回」138 件、「年あたり3回」が 119 件となっている。

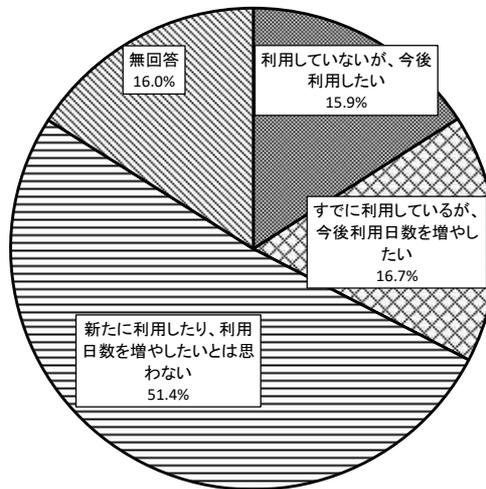
「市民センターにおけるフリースペース」は「月あたり1回」が 74 件で最も多く、次いで「月あたり2回」が 32 件、「年あたり1回」27 件となっている。

「児童館」は「月あたり1回」が 31 件で最も多く、次いで「年あたり1回」が 19 件、「月あたり2回」12 件となっている。

		(回答数)	計	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上
親子ふれあいルーム	週あたり		14	7	2	4	1	0	0	0
	月あたり		123	60	30	17	6	2	1	7
	年あたり		100	40	23	16	2	13	3	3
地域子育て支援センター	週あたり		6	5	1	0	0	0	0	0
	月あたり		52	35	13	2	0	0	0	2
	年あたり		47	19	14	6	0	5	3	0
子どもの館・子育てふれあい交流プラザ	週あたり		8	6	1	1	0	0	0	0
	月あたり		215	138	51	9	12	1	1	3
	年あたり		508	93	149	119	41	59	38	9
市民センターにおけるフリースペース	週あたり		12	8	3	1	0	0	0	0
	月あたり		127	74	32	13	4	1	0	3
	年あたり		78	27	17	14	10	4	6	0
児童館	週あたり		7	4	1	0	0	2	0	0
	月あたり		50	31	12	1	4	1	1	0
	年あたり		48	19	7	8	2	7	3	2

(32) 地域の子育て支援事業の今後の利用意向(問 20)

地域の子育て支援事業の今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が51.4%で最も高く、次いで「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」16.7%、「利用していないが、今後利用したい」15.9%、となっている。



(N=2314)

子育て支援事業の今後の利用回数(頻度)について、『週あたり』『月あたり』『年あたり』で尋ねた。

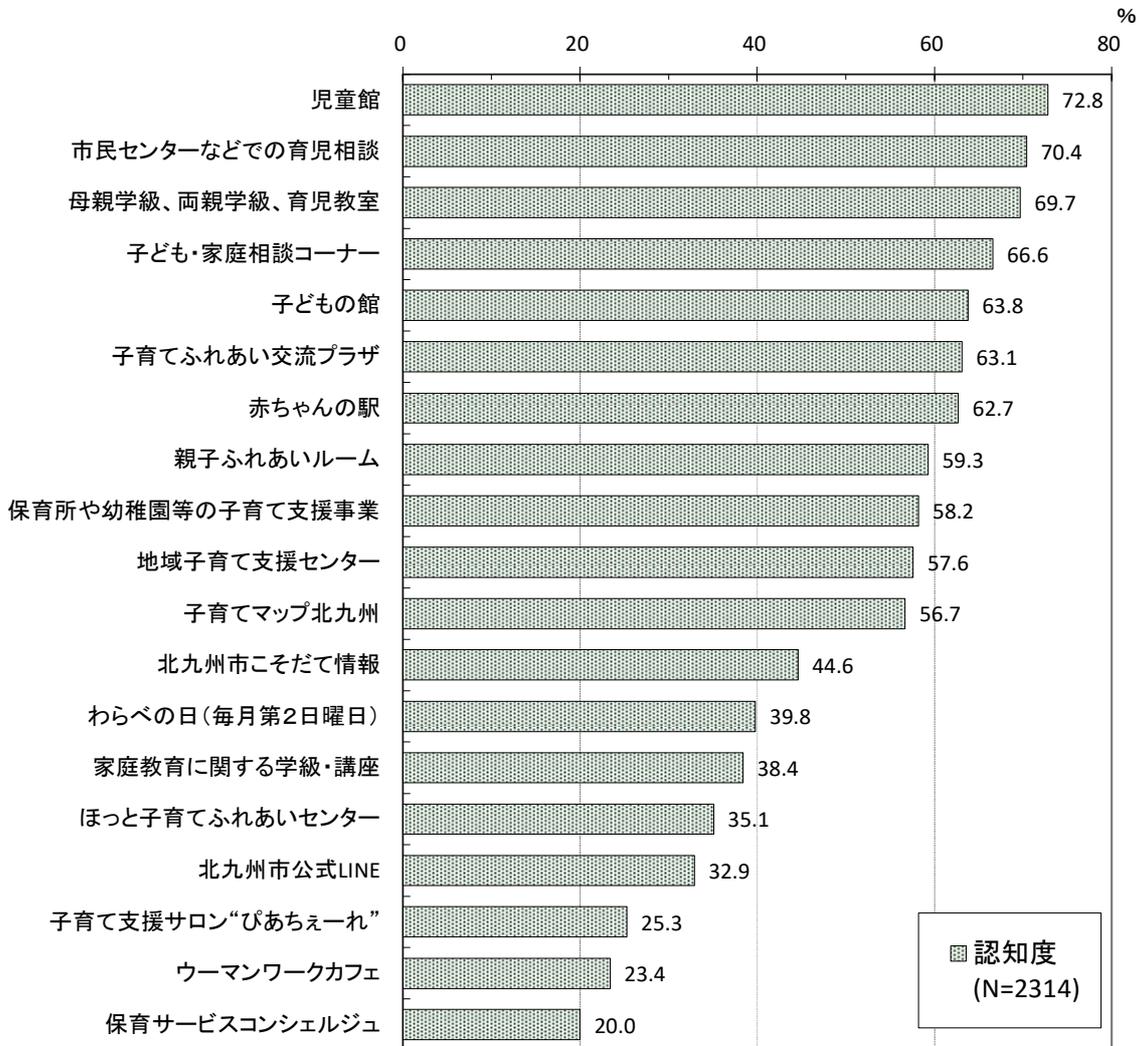
「利用していないが、今後利用したい人」の利用頻度は「月あたり1回」が75件で最も多く、次いで「月あたり3回」が27件、「月あたり6回」25件となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人」の利用頻度は「月あたり2回」が58件で最も多く、次いで「月あたり3回」が26件、「年あたり6回」19件となっている。

		(回答数)	計	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上
利用していないが、 今後利用したい	週あたり		35	24	5	3	1	2	0	0
	月あたり		280	75	17	27	5	4	25	127
	年あたり		56	9	16	14	6	3	7	1
すでに利用しているが、 今後利用日数を増やしたい	週あたり		69	38	17	8	3	3	0	0
	月あたり		216	108	58	26	17	5	0	2
	年あたり		79	9	10	9	7	15	19	10

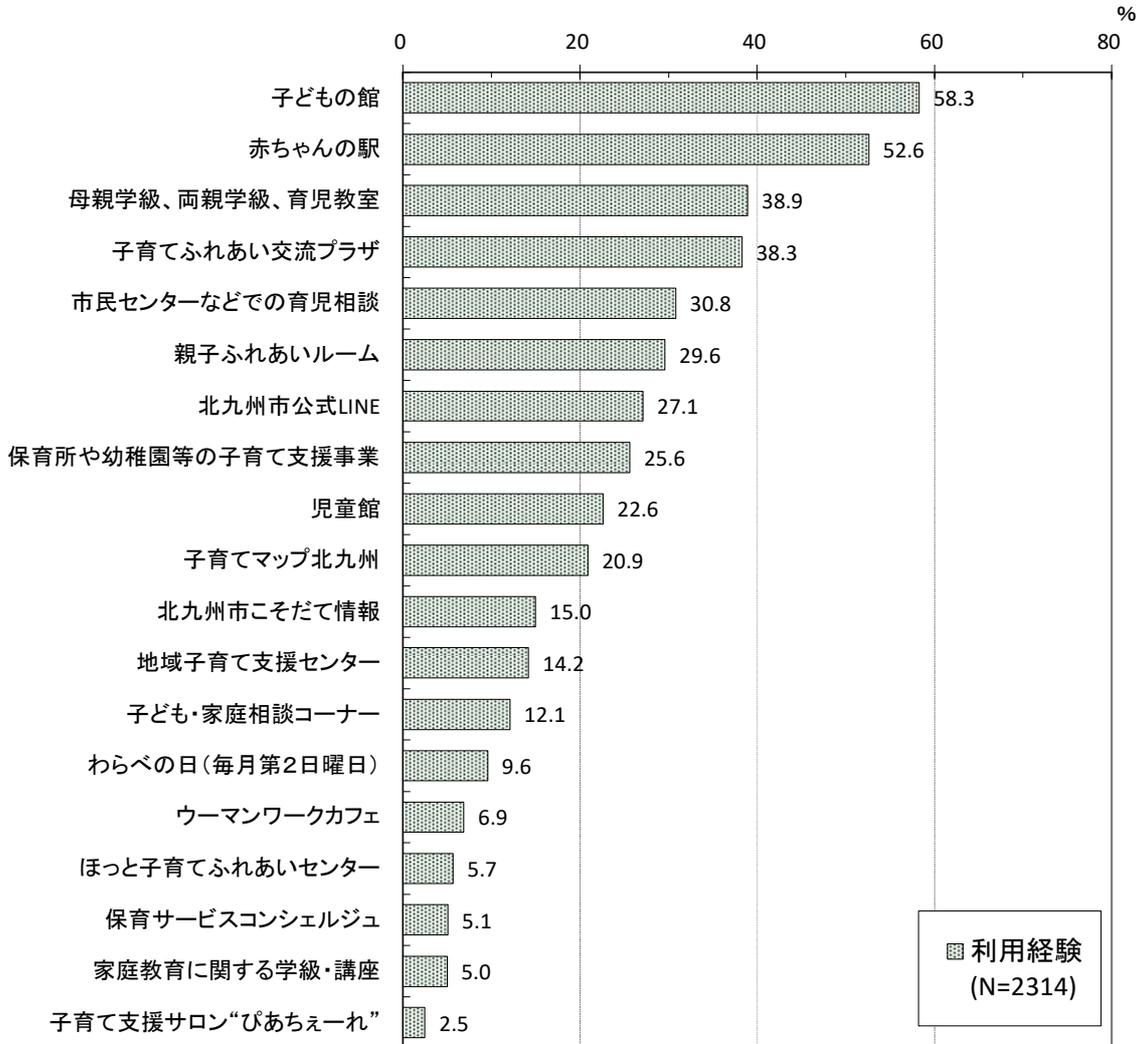
(33) 各種事業の認知度(問 21)【複数回答】

各種事業の認知度は、「児童館」が 72.8%で最も高く、次いで「市民センターなどでの育児相談」70.4%、「母親学級、両親学級、育児教室」69.7%、「子ども・家庭相談コーナー」66.6%、「子どもの館」63.8%、「子育てふれあい交流プラザ」63.1%、「赤ちゃんの駅」62.7%などとなっている。



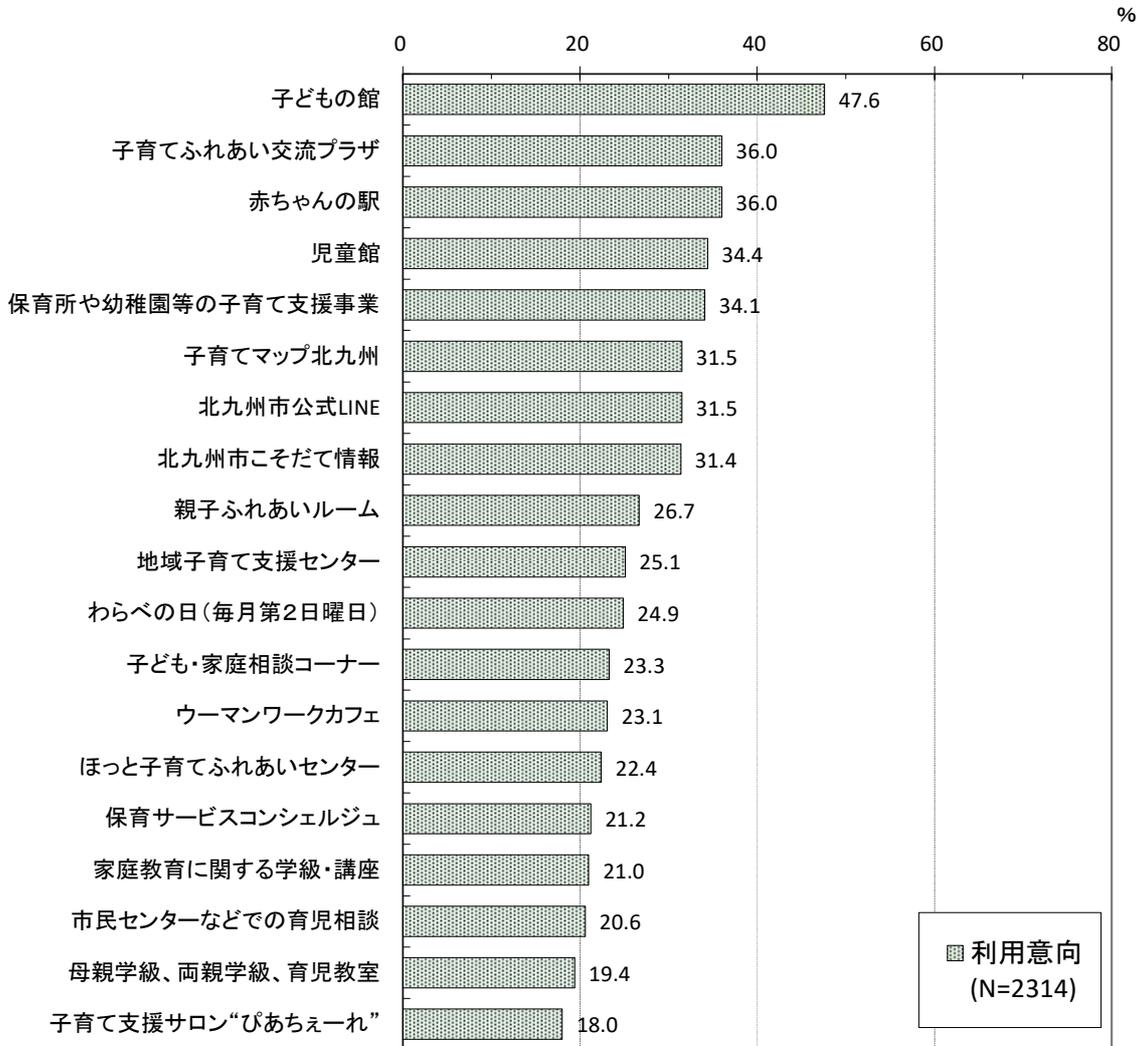
(34) 各種事業の利用経験(問 21)【複数回答】

各種事業の利用経験は、「子どもの館」が 58.3%で最も高く、次いで「赤ちゃんの駅」52.6%、「母親学級、両親学級、育児教室」38.9%、「子育てふれあい交流プラザ」38.3%、「市民センターなどでの育児相談」30.8%などとなっている。



(35) 各種事業の今後の利用意向(問 20)【複数回答】

各種事業の今後の利用意向は、「子どもの館」が 47.6%で最も高く、次いで「子育てふれあい交流プラザ」「赤ちゃんの駅」いずれも 36.0%、「児童館」34.4%、「保育所や幼稚園等の子育て支援事業」34.1%、「子育てマップ北九州」「北九州市公式 LINE」いずれも 31.5%、「北九州市こそだて情報」31.4%などとなっている。



6. 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望

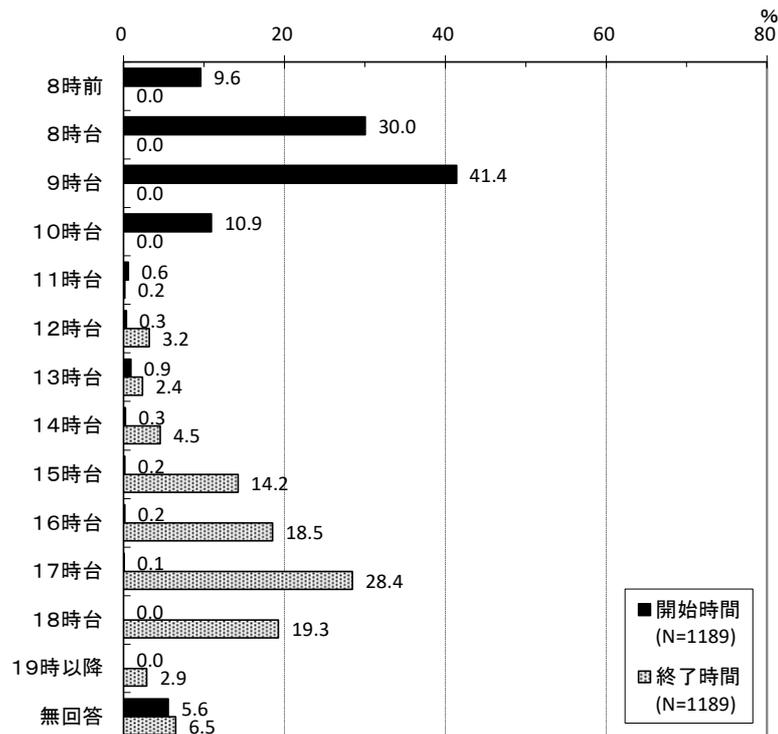
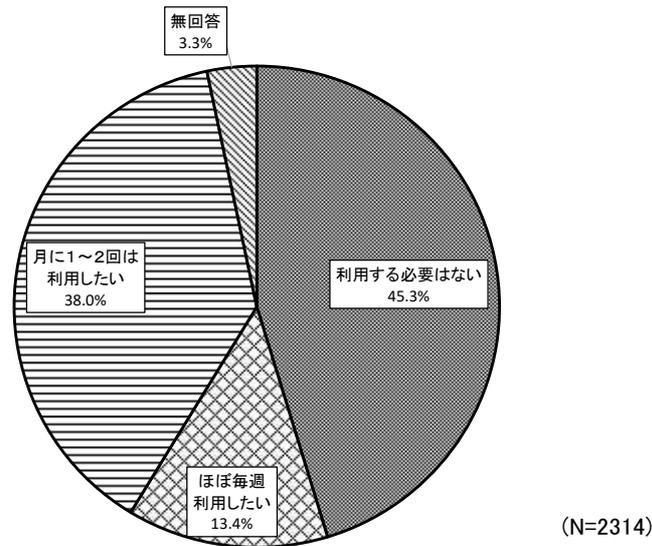
(36) 土曜日と日曜日・祝日の「定期的な」教育・保育施設の利用希望(問 22)

① 土曜日の定期的な教育・保育施設の利用希望

土曜日の定期的な教育・保育施設の利用希望では、「利用する必要はない」が 45.3%、「月に1～2回は利用したい」38.0%、「ほぼ毎週利用したい」13.4%となっている。

希望する利用開始時間は、「9時台」が 41.4%、「8時台」30.0%に回答が集中している。

希望する利用終了時間は、「17時台」が 28.4%で最も高く、次いで「18時台」19.3%、「16時台」18.5%となっている。

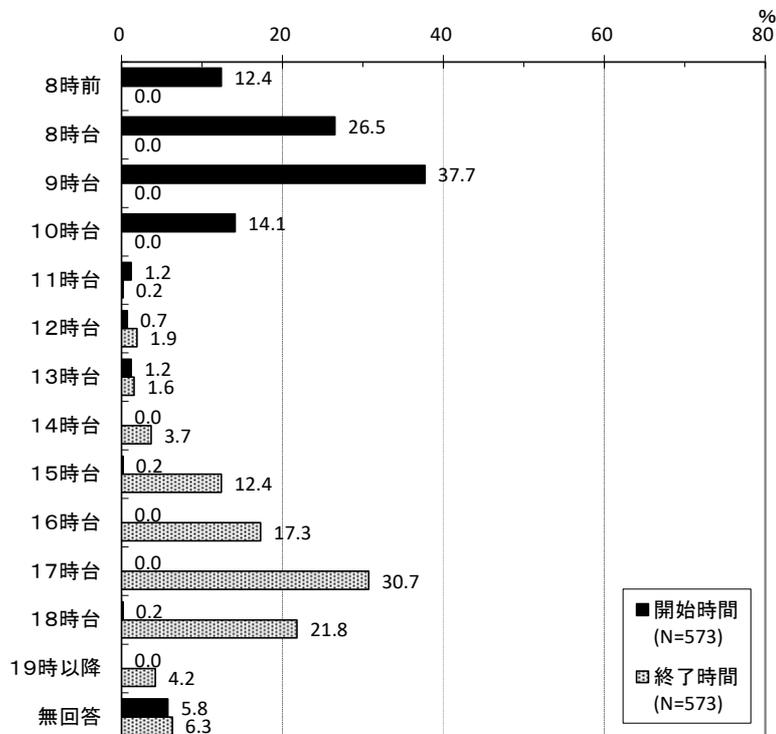
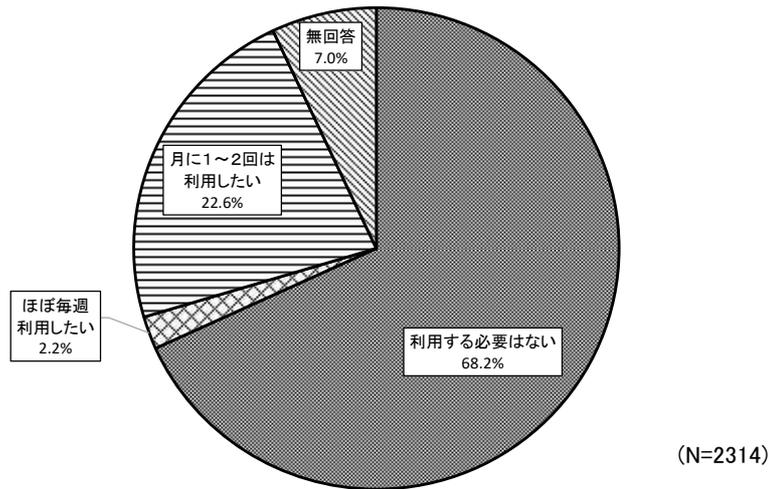


② 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

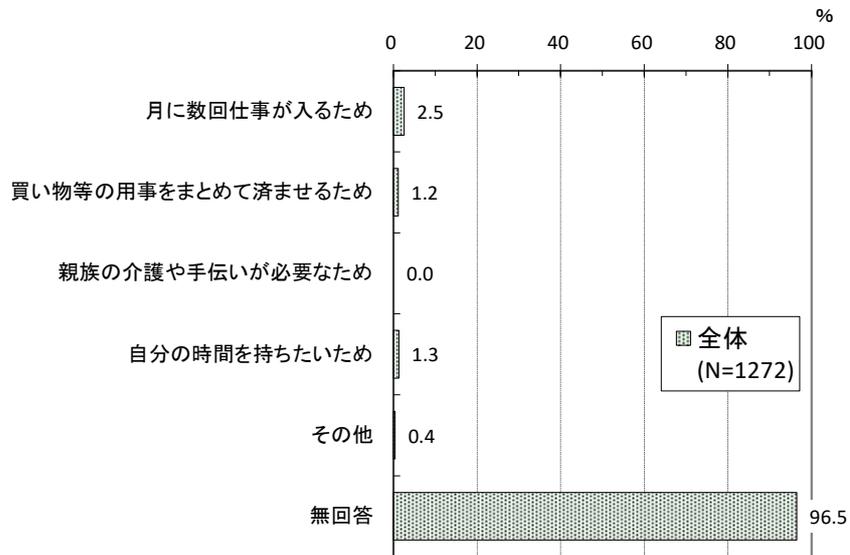
日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が 68.2%、「月に1～2回は利用したい」22.6%、「ほぼ毎週利用したい」2.2%となっている。

希望する利用開始時間は、「9時台」が 37.7%、「8時台」が 26.5%と、土曜日同様、この時間帯に回答が集中している。

希望する利用終了時間は「17時台」が 30.7%で最も高く、次いで「18時台」21.8%、「16時台」17.3%となっている。



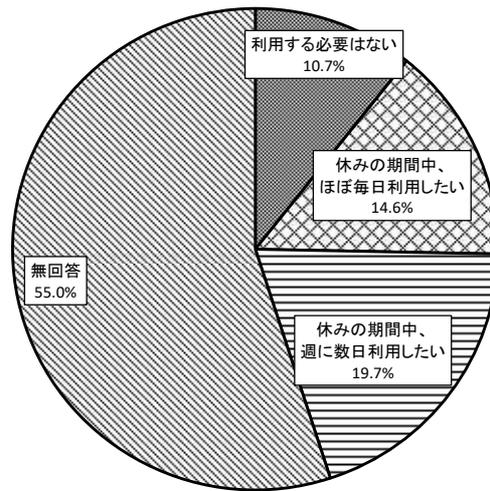
- (37) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由(問 22-1)【複数回答】
 (36)で「月に1～2回は利用したい」と回答した人に、毎週ではなく、たまに利用したい理由を尋ねたが、回答はほとんど得られなかった。



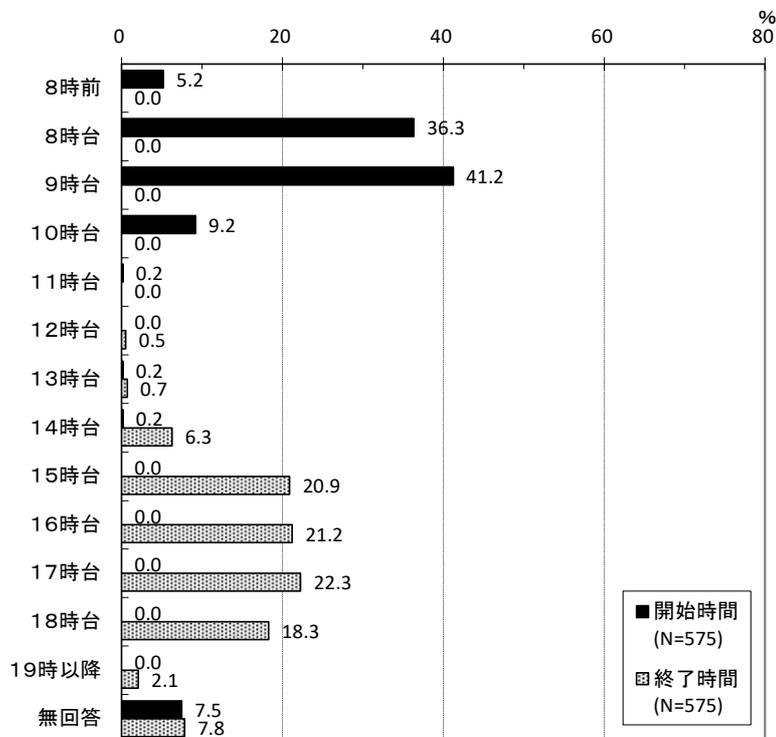
(38) 幼稚園を利用している人の長期休暇期間中の定期的な教育・保育施設の利用意向(問 23)

(19)で「幼稚園」を利用している人に、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中に教育・保育施設の利用を希望するか尋ねたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 19.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 14.6%、「利用する必要はない」が 10.7%である。

希望する利用開始時間は、「9時台」が 41.2%、「8時台」が 36.3%で、この時間帯に回答が集中している。希望する利用終了時間は「17時台」が 22.3%で最も高く、次いで「16時台」21.2%、「15時台」20.9%、「18時台」18.3%となっている。

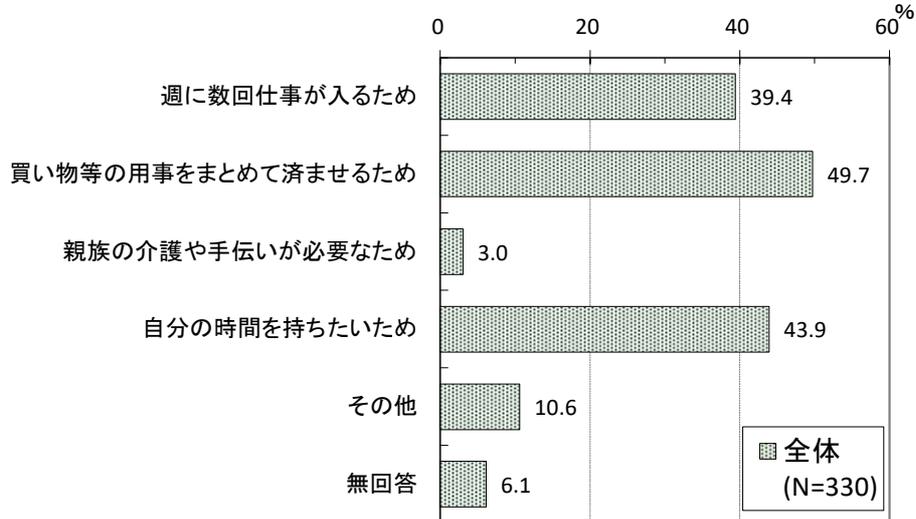


(N=2314)



(39) 長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由(問 23-1)【複数回答】

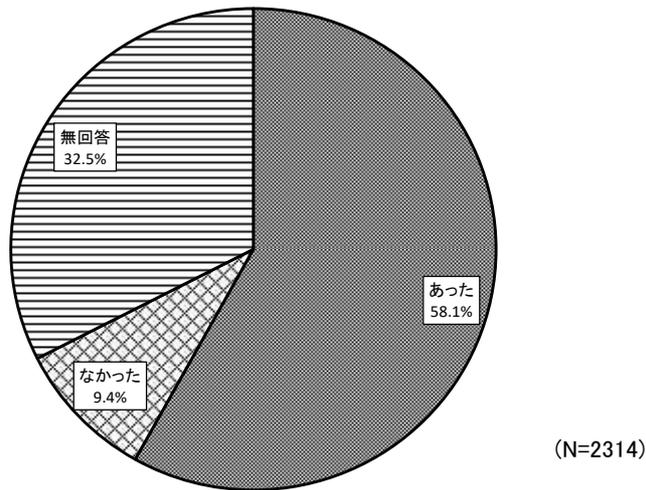
(38)で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人に、毎日ではなく、たまに利用したい理由を尋ねたところ、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 49.7%で最も高く、次いで「自分の時間を持ちたいため」43.9%、「週に数回仕事が入るため」が 39.4%となっている。



7. 子どもが病気の際の対応(平日の教育・保育を利用する人のみ)

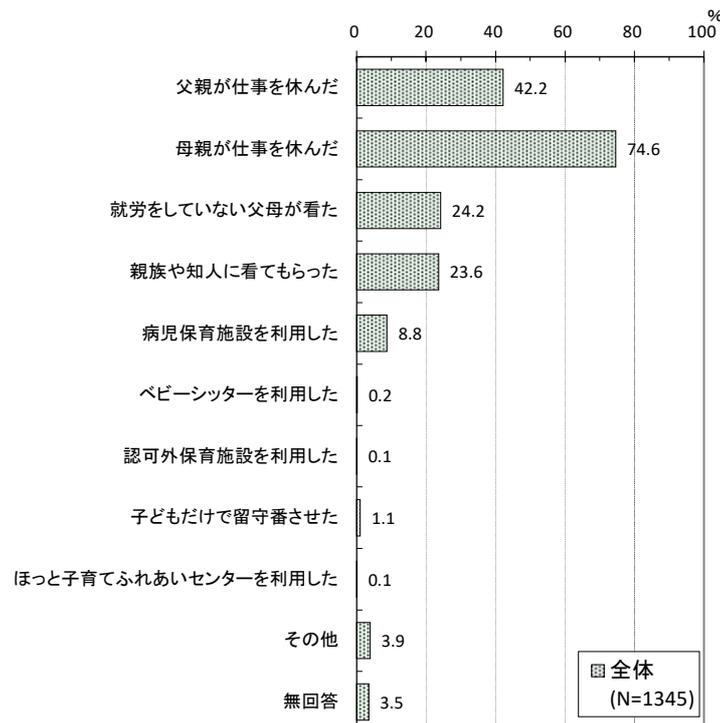
(40) 子どもが病気やケガが原因で施設を利用できなかった経験の有無(問 24)

(18)で平日の定期的な教育・保育施設を「利用している」人で、この1年間に子どもが病気やケガのため利用できなかったことが「あった」が 58.1%、「なかった」が 9.4%である。



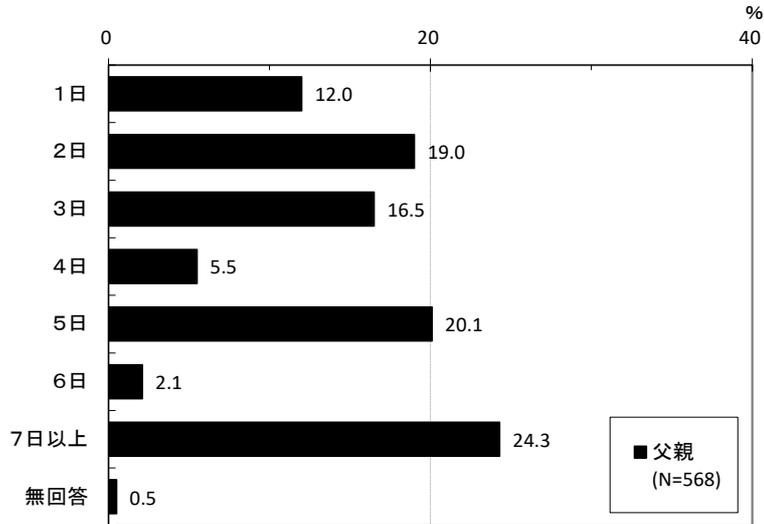
(41) 子どもの病気やケガで平日の定期的な教育・保育事業の利用できなかった場合の対処方法(問 24-1)

子どもの病気やケガで教育・保育施設が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が(仕事を)休んだ」が 74.6%で最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」42.2%、「就労していない父母が見た」24.2%となっている。



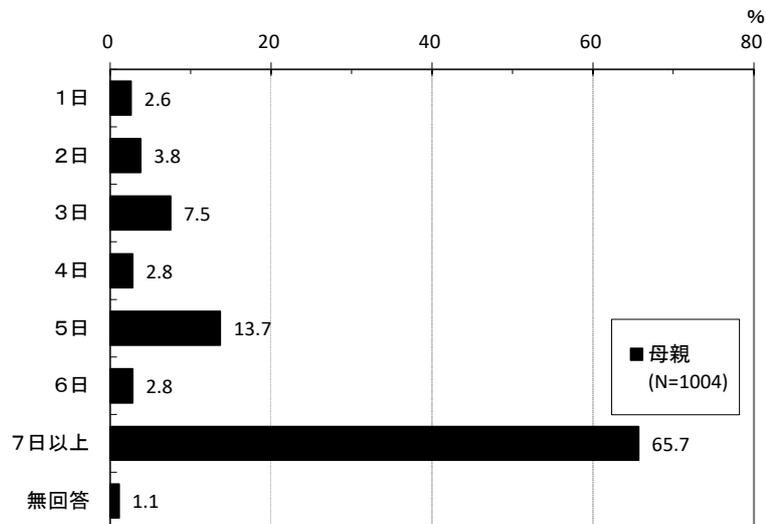
① 父親が休んだ日数

「父親が(仕事を)休んだ」日数は、「7日以上」が 24.3%で最も高く、次いで「5日」20.1%、「2日」19.0%となっている。



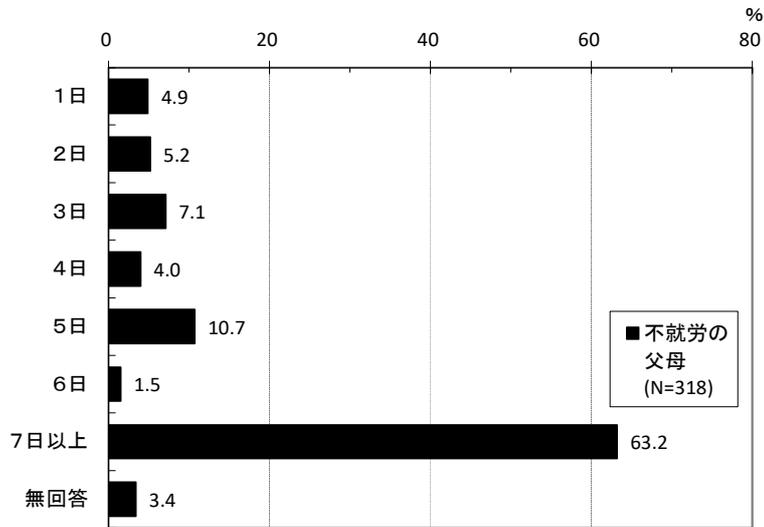
② 母親が休んだ日数

「母親が(仕事を)休んだ」日数は、「7日以上」が 65.7%で最も高く、次いで「5日」13.7%となっている。



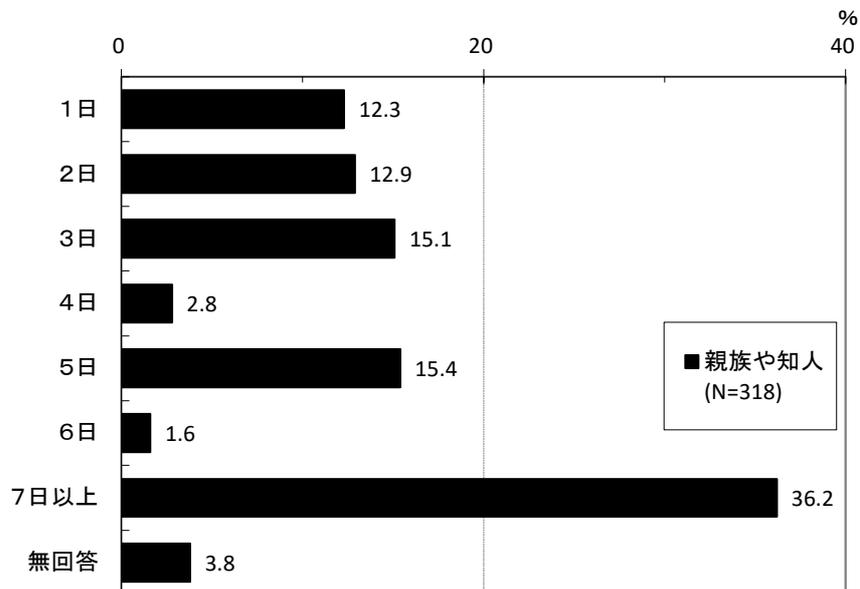
③ 就労をしていない父母が見た日数

「就労をしていない父母が見た」日数は、「7日以上」63.2%、「5日」10.7%となっている。



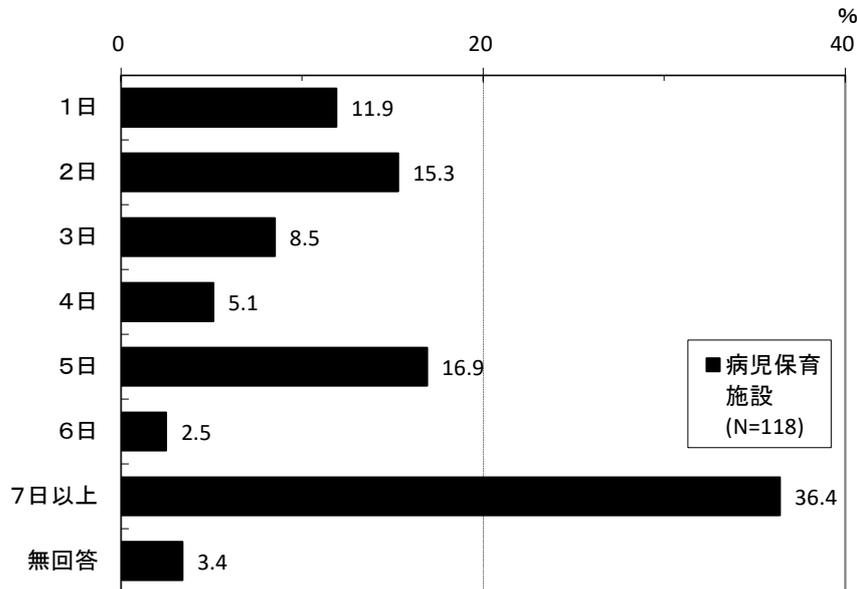
④ 親族や知人に看てもらった日数

「親族や知人に看てもらった」日数は、「7日以上」36.2%、「5日」15.4%、「3日」15.1%となっている。



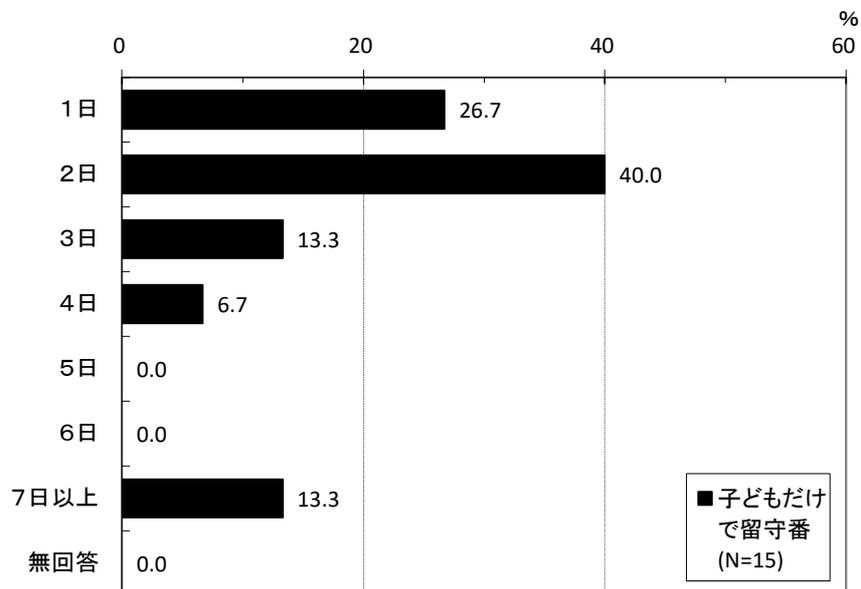
⑤ 病児保育施設を利用した日数

「病児保育施設を利用した」日数は、「7日以上」36.4%、「5日」16.9%、「2日」15.3%となっている。



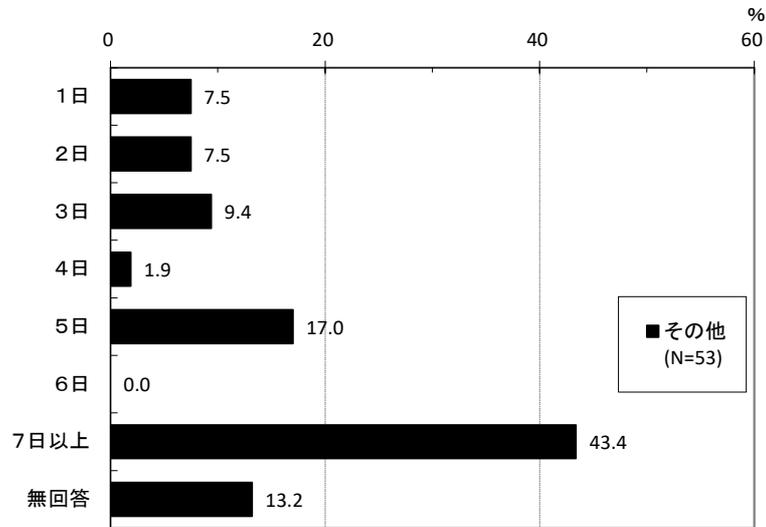
⑥ 子どもだけで留守番させた日数

「子どもだけで留守番させた」の日数は、「2日」40.0%、「1日」26.7%、「3日」「7日以上」が同率13.3%となっている。



⑦ その他の日数

「その他」の日数は、「7日以上」43.4%、「5日」17.0%となっている。

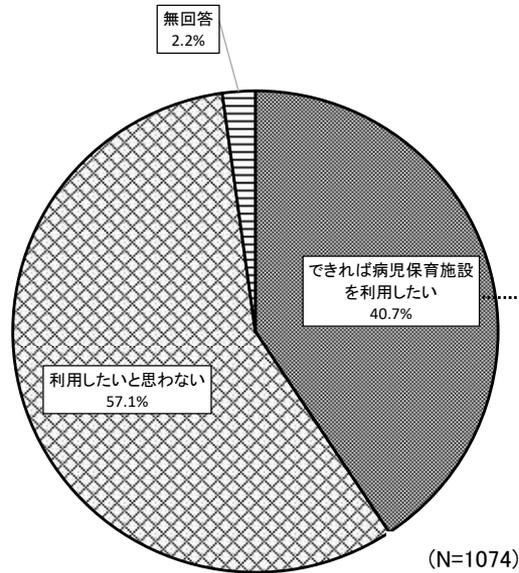


(注)「ベビーシッターを利用した」「認可外保育施設を利用した」「ほっと子育てふれあいセンターを利用した」は、回答数が3件以下のため表記していない。

(42) 病児保育施設の利用希望と利用希望日数(問 24-2)

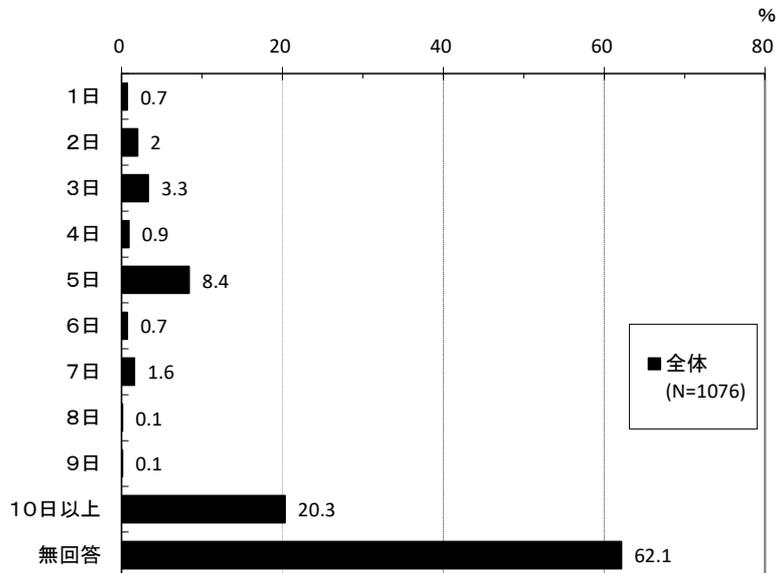
【利用希望】

(41)で「父親が(仕事を)休んだ」、「母親が(仕事を)休んだ」と回答した人に、病児保育施設を利用したいと思うか尋ねたところ、「できれば病児保育施設を利用したい」が 40.7%、「利用したいとは思わない」が 57.1%である。



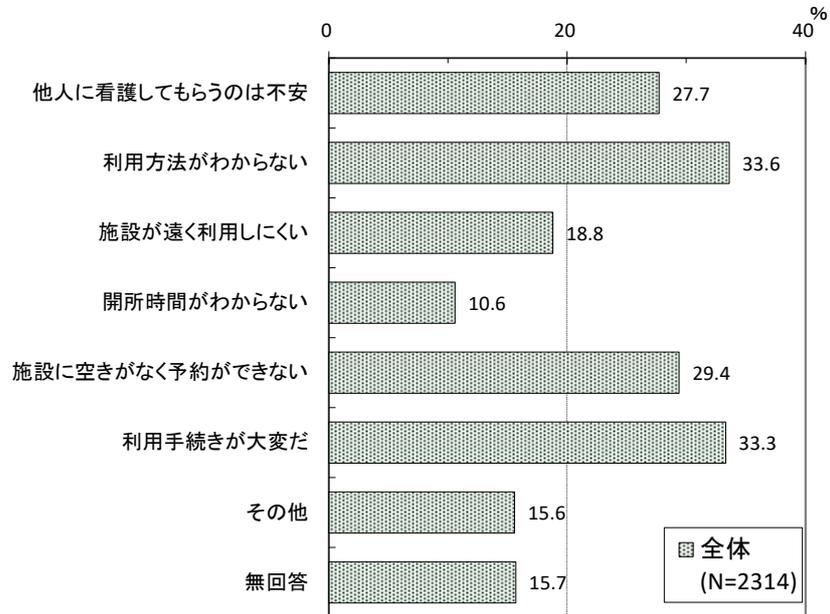
【利用希望日数】

病児保育施設を 1 年あたりで利用したい日数は、「10日以上」が 20.3%で最も高く、次いで「5日」8.4%となっている。



(43) 病児保育施設を利用する際に支障となること(問 24-3)【複数回答】

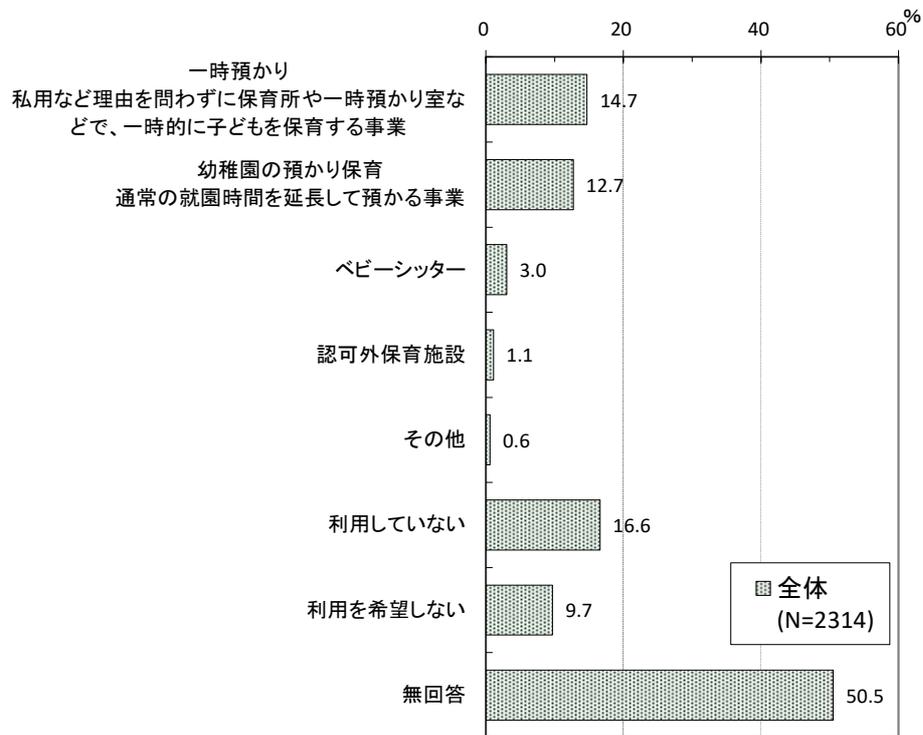
病児保育施設を利用する際に支障となることは、「利用方法がわからない」33.6%、「利用手続きが大変だ」33.3%、「施設に空きがなく予約ができない」29.4%、「他人に看護してもらうのは不安」27.7%となっている。



8. 不規則な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

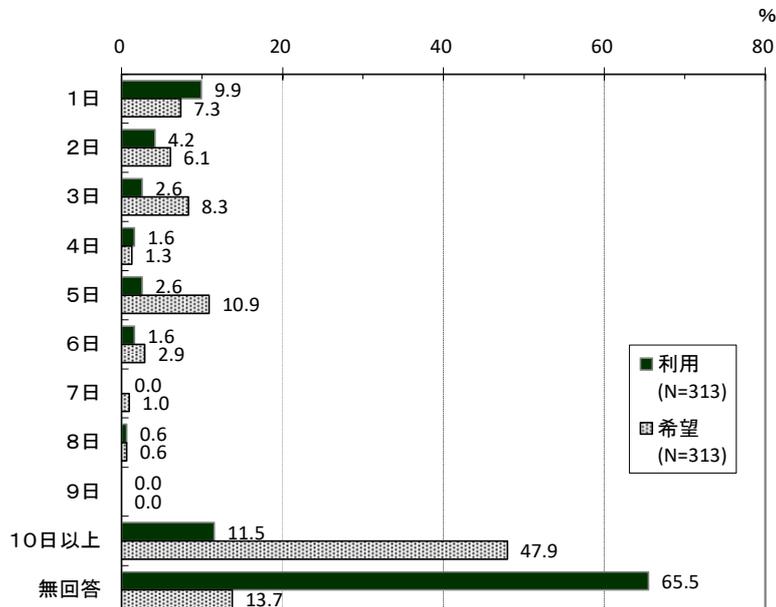
(44) 不規則に利用している、利用したい子育て支援事業(問 25)【複数回答】

私用、親の通院、不規則の就労等の際に利用している、利用したい事業は「一時預かり(私用など理由を問わずに保育所や一時預かり室などで一時的に子どもを保育する事業)」が 14.7%、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不規則に利用する場合のみ)」が 12.7%となっている。



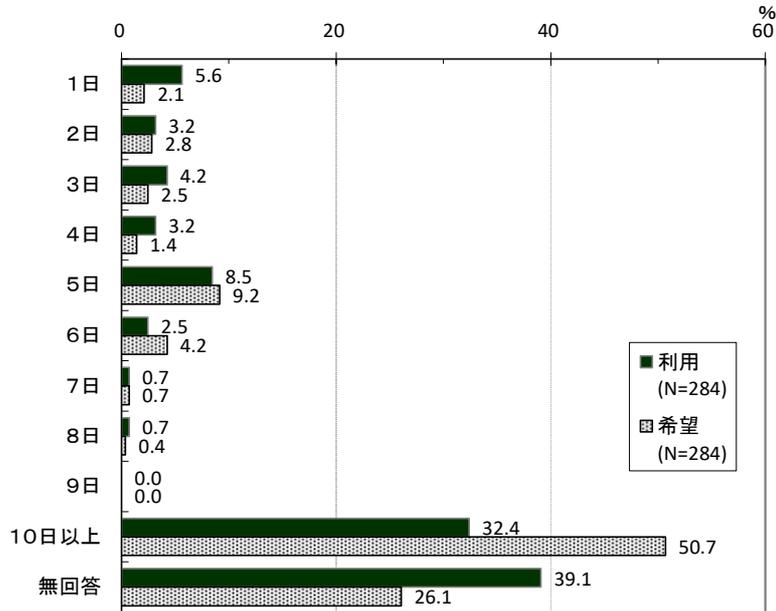
① 一時預かりの利用日数と利用希望日数

1年間の利用日数は、「10日以上」が 11.5%、次いで「1日」9.9%、「2日」4.2%となっている。利用希望日数は、「10日以上」が 47.9%、次いで「5日」10.9%、「3日」8.3%となっている。



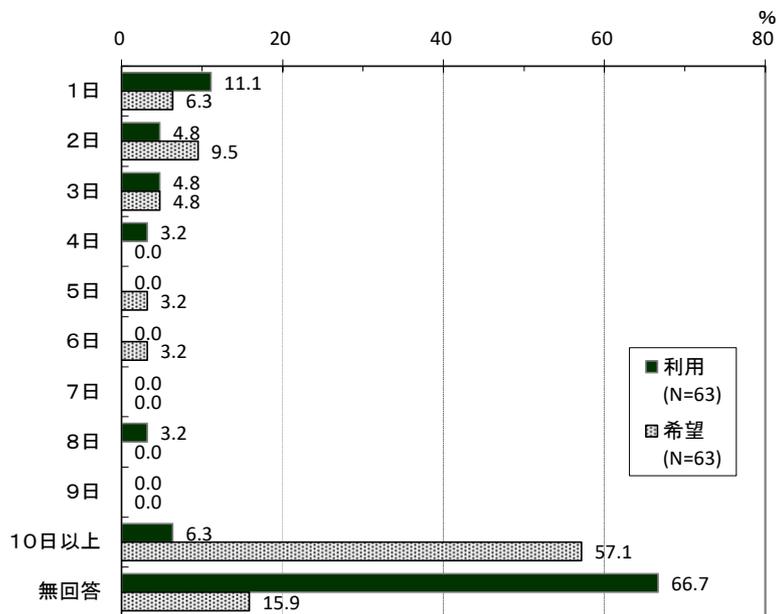
② 幼稚園の預かり保育の利用日数と利用希望日数

1年間の利用日数は、「10日以上」が 32.4%、次いで「5日」8.5%、「1日」5.6%となっている。
 利用希望日数は、「10日以上」が 50.7%、次いで「5日」9.2%、「6日」4.2%となっている。



③ ベビーシッター

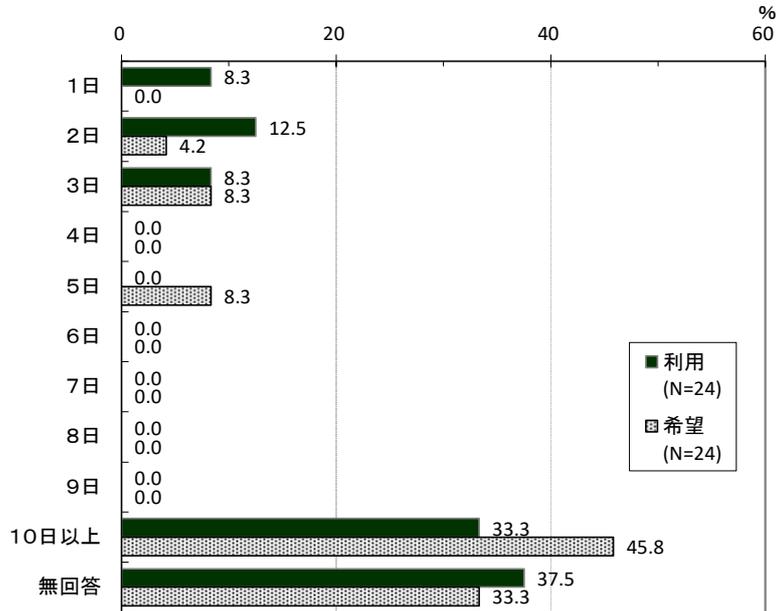
1年間の利用日数は、「1日以上」が 11.1%、次いで「10日以上」6.3%となっている。
 利用希望日数は、「10日以上」が 57.1%、次いで「2日」9.5%、「1日」6.3%となっている。



④ 認可外保育施設

1年間の利用日数は、「10日以上」が 33.3%、次いで「2日」12.5%となっている。

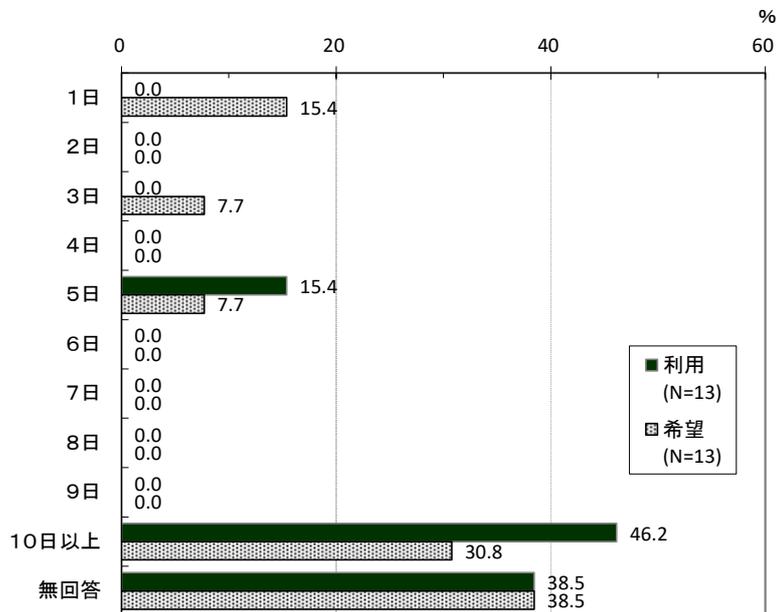
利用希望日数は、「10日以上」が 45.8%、次いで「5日」「3日」が 8.3%となっている。



⑤ その他

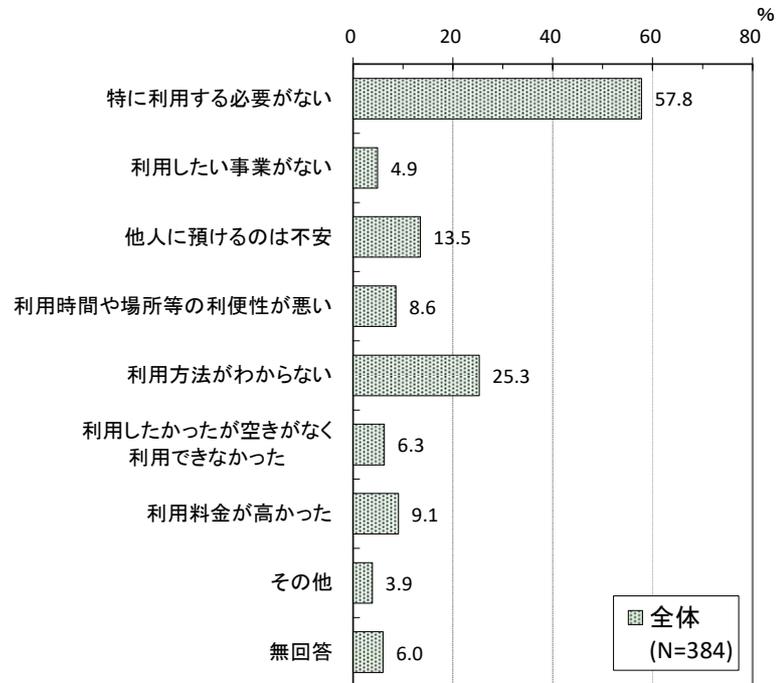
1年間の利用日数は、「10日以上」が 46.2%、次いで「5日」15.4%となっている。

利用希望日数は、「10日以上」が 30.8%、次いで「1日」15.4%となっている。



(45) 不特定の教育・保育等を利用していない理由(問 25-1)【複数回答】

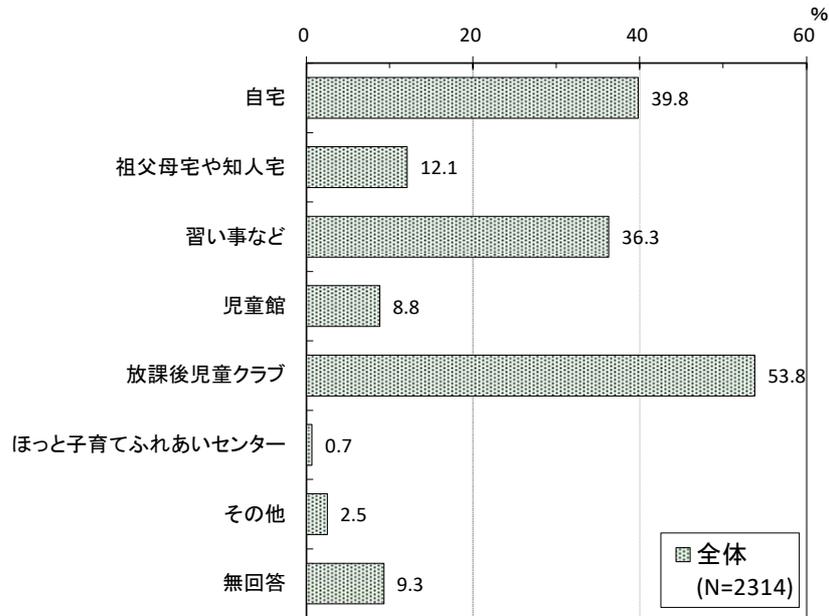
(44)で「利用していない」と回答した人に利用していない理由を尋ねたところ、「特に利用する必要がない」が 57.8%で最も高く、次いで「利用方法がわからない」25.3%、「他人に預けるのは不安」13.5%となっている。



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方

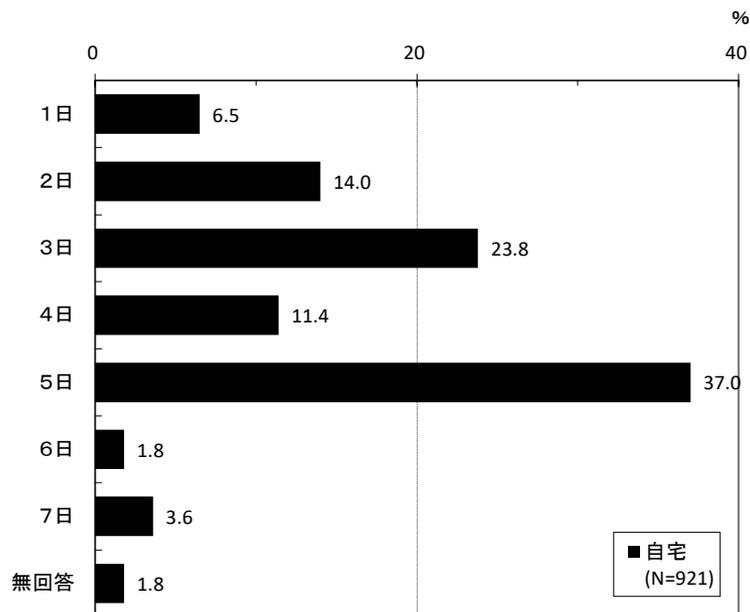
(46) 子どもが小学校低学年(1～3年生)のうちで、放課後の時間を過ごさせたい場所(問 26)【複数回答】

子どもが小学校低学年(1～3年生)のうちで、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所は、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 53.8%で最も高く、次いで「自宅」39.8%、「習い事など」36.3%となっている。



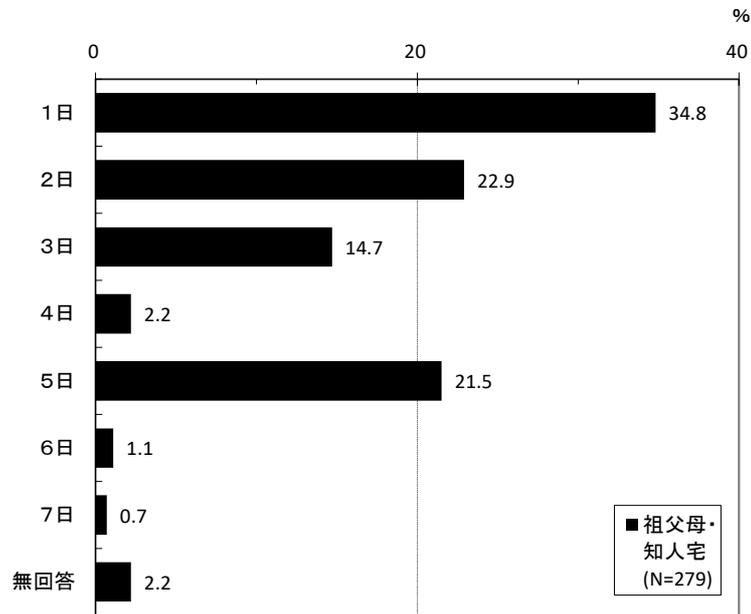
① 自宅

自宅で過ごさせたい日数は、「週5日」が 37.0%で最も高く、次いで「週3日」23.8%、「週2日」14.0%となっている。



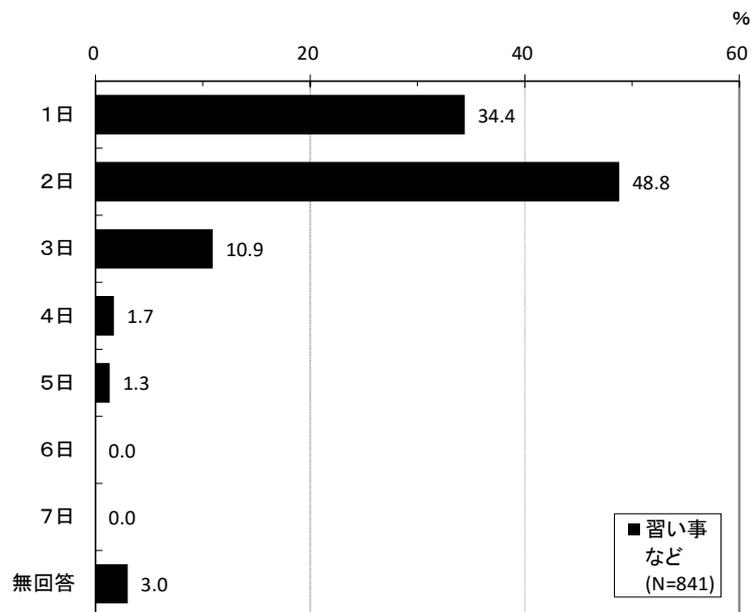
② 祖父母宅や友人・知人宅

祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数は、「週1日」が 34.8%で最も高く、次いで「週2日」22.9%、「週5日」21.5%となっている。



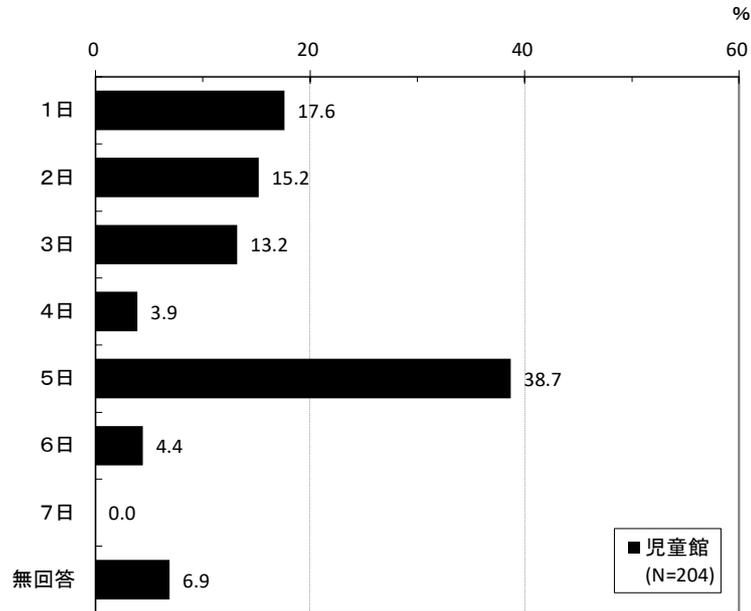
③ 習い事など

習い事などで過ごさせたい日数は、「週2日」が 48.8%で最も高く、次いで「週1日」34.4%、「週3日」10.9%となっている。



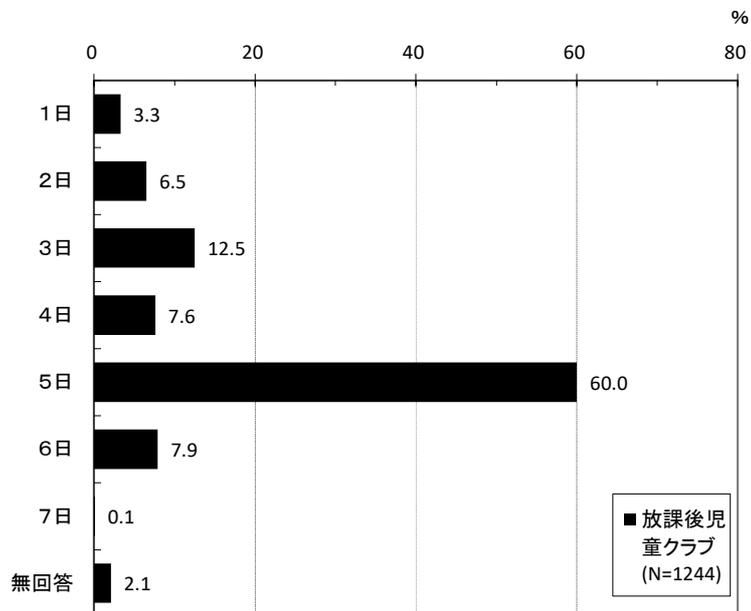
④ 児童館

児童館で過ごさせたい日数は、「週5日」が 38.7%で最も高く、次いで「週1日」17.6%、「週2日」15.2%となっている。



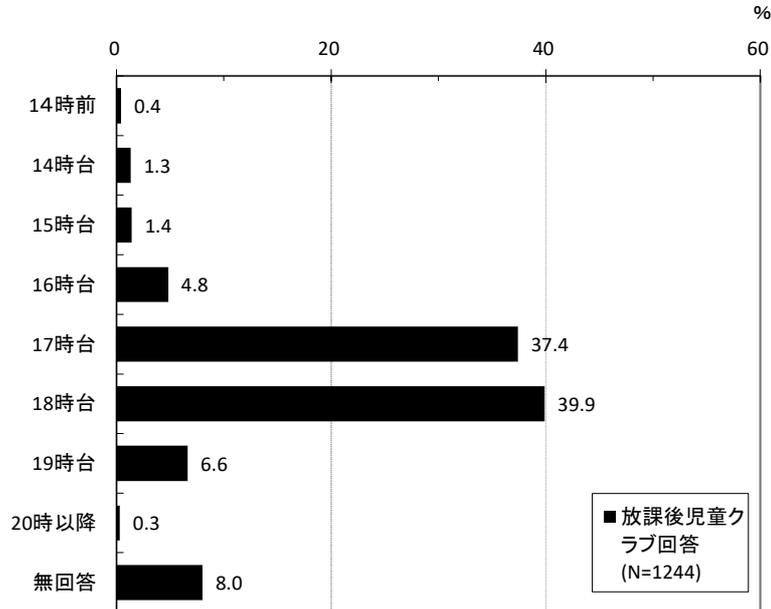
⑤ 放課後児童クラブ

放課後児童クラブで過ごさせたい日数は、「週5日」が 60.0%で最も高く、次いで「週3日」12.5%となっている。



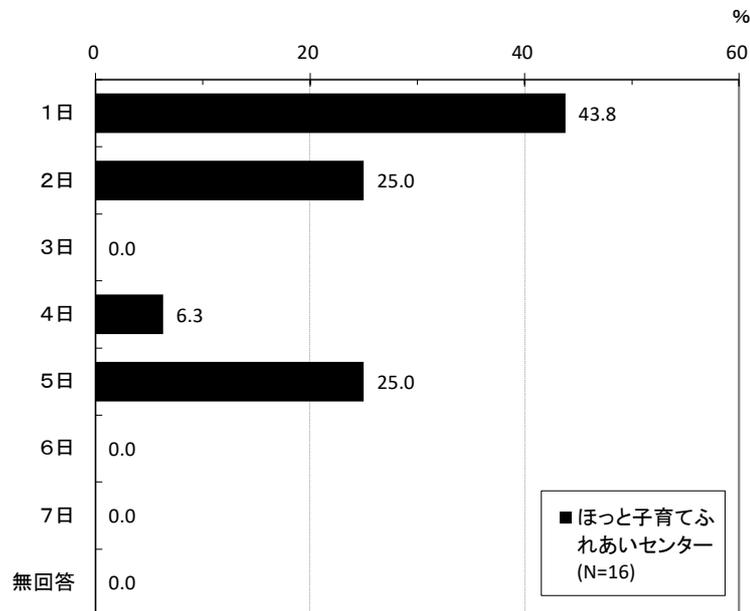
【希望利用時間】

放課後児童クラブで過ごさせたいと回答した人が希望する利用時間帯は、下校時から「18時台」が39.9%で最も高く、次いで「17時台」が37.4%、「19時台」6.6%となっている。



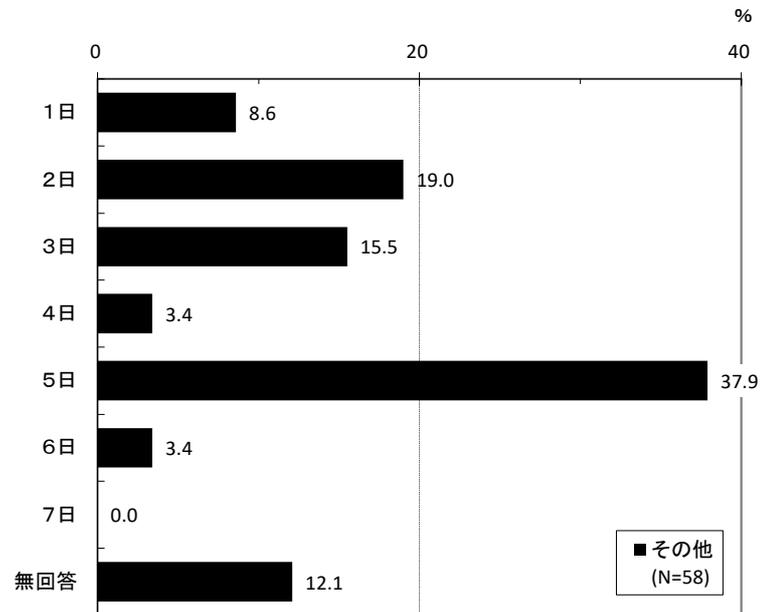
⑥ ほっと子育てふれあいセンター

ほっと子育てふれあいセンターで過ごさせたい日数は、「週1日」が43.8%で最も高く、次いで「2日」「週5日」が同率25.0%となっている。



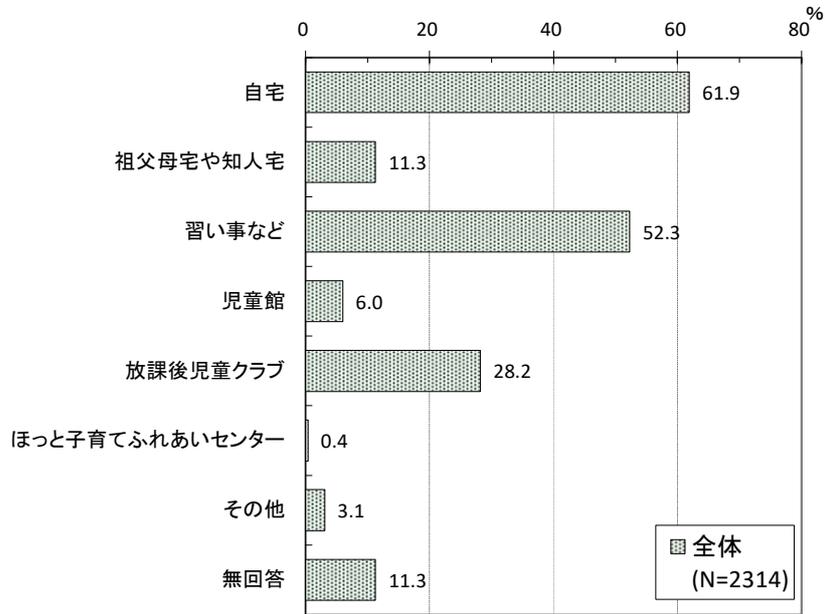
⑦ その他

その他で過ごさせたい日数は、「週5日」が 37.9%で最も高く、次いで「週2日」19.0%、「週3日」15.5%となっている。



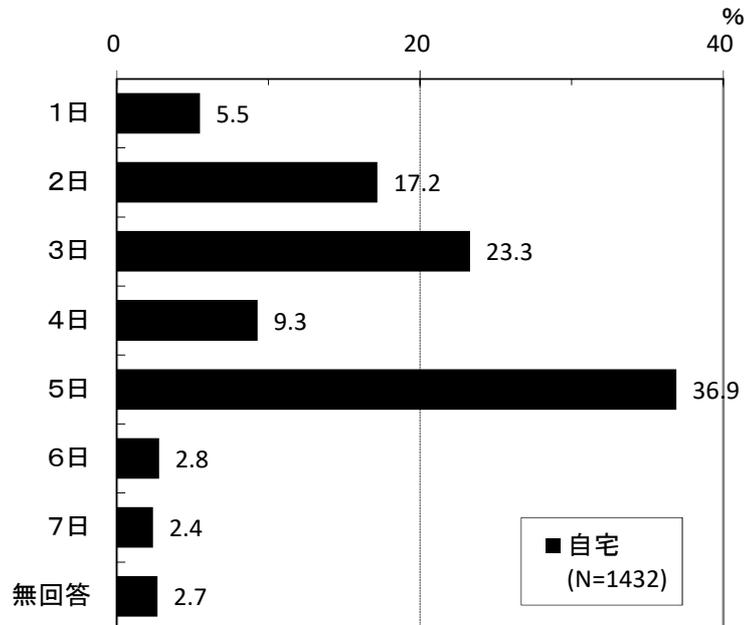
(47) 子どもが小学校高学年(4～6年生)になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所(問 27)【複数回答】

子どもが小学校高学年(4～6年生)になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所を尋ねたところ、「自宅」が 61.9%で最も高く、次いで「習い事など」52.3%、「放課後児童クラブ」28.2%となっている。



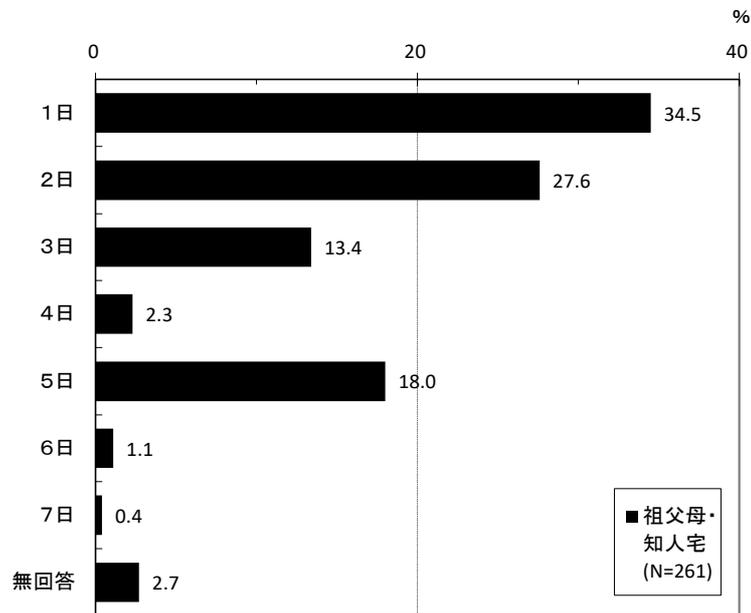
① 自宅

自宅で過ごさせたい日数は、「週5日」が 36.9%で最も高く、次いで「週3日」23.3%、「週2日」17.2%となっている。



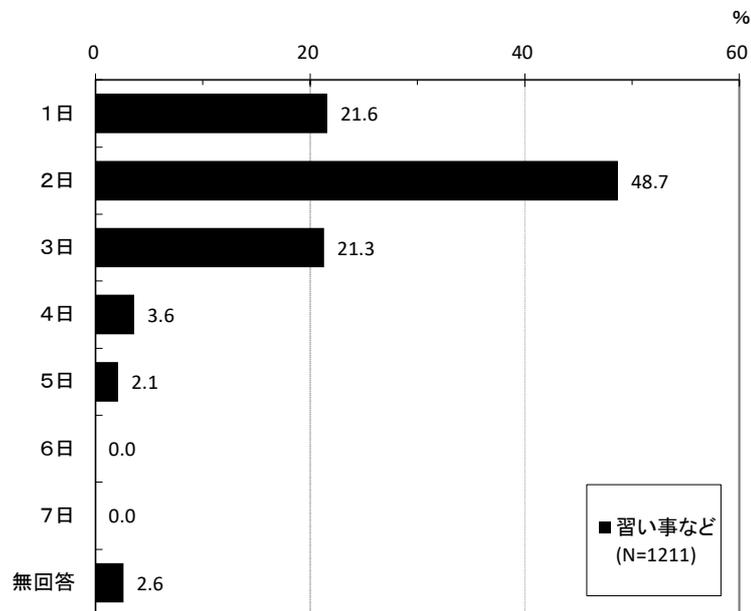
② 祖父母宅や友人・知人宅

祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数は、「週1日」が 34.5%で最も高く、次いで「週2日」27.6%、「週5日」18.0%となっている。



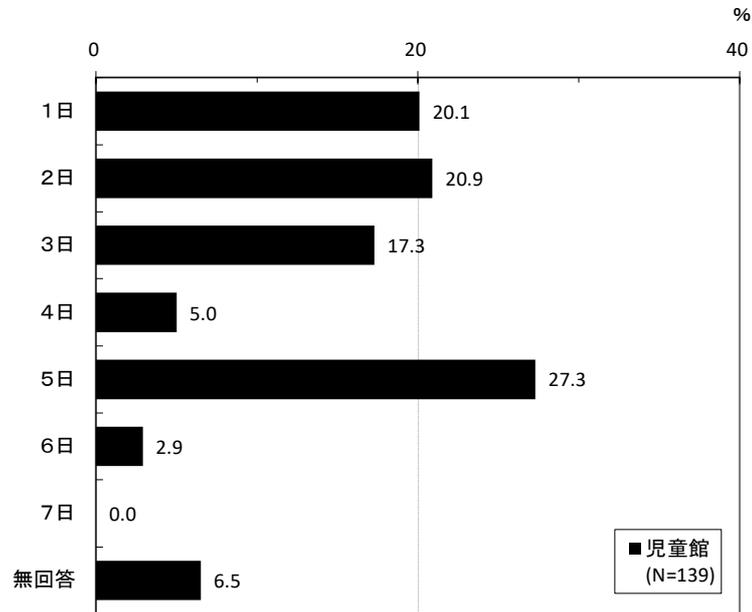
③ 習い事など

習い事などで過ごさせたい日数は、「週2日」が 48.7%で最も高く、次いで「週1日」21.6%、「週3日」21.3%となっている。



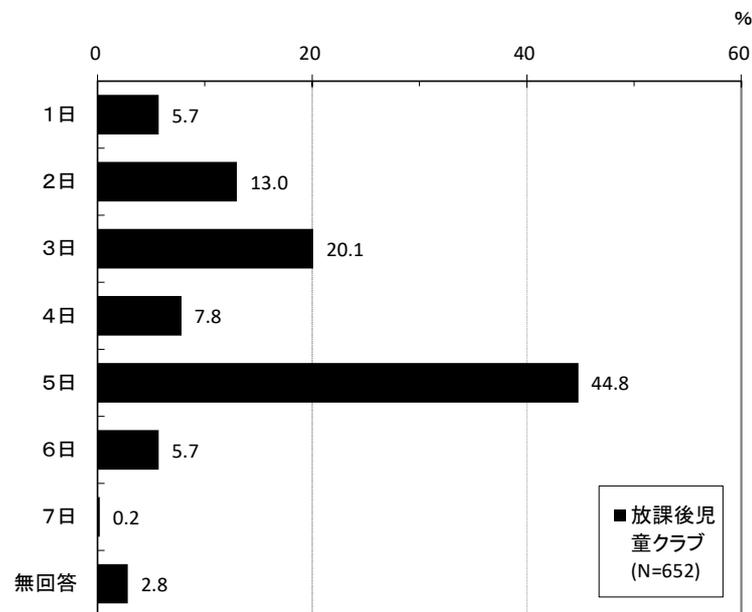
④ 児童館

児童館で過ごさせたい日数は、「週5日」が 27.3%で最も高く、次いで「週2日」20.9%、「週1日」20.1%となっている。



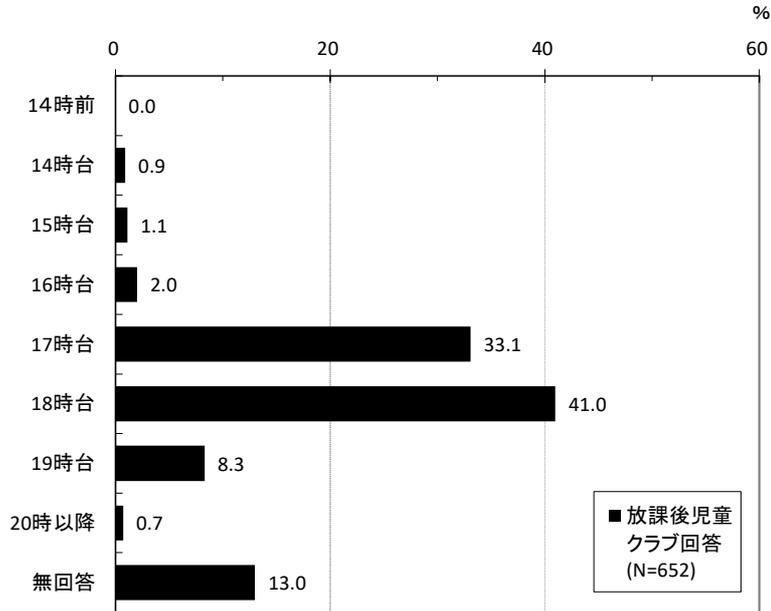
⑤ 放課後児童クラブ

放課後児童クラブで過ごさせたい日数は、「週5日」が 44.8%で最も高く、次いで「週3日」20.1%「週2日」13.0%となっている。



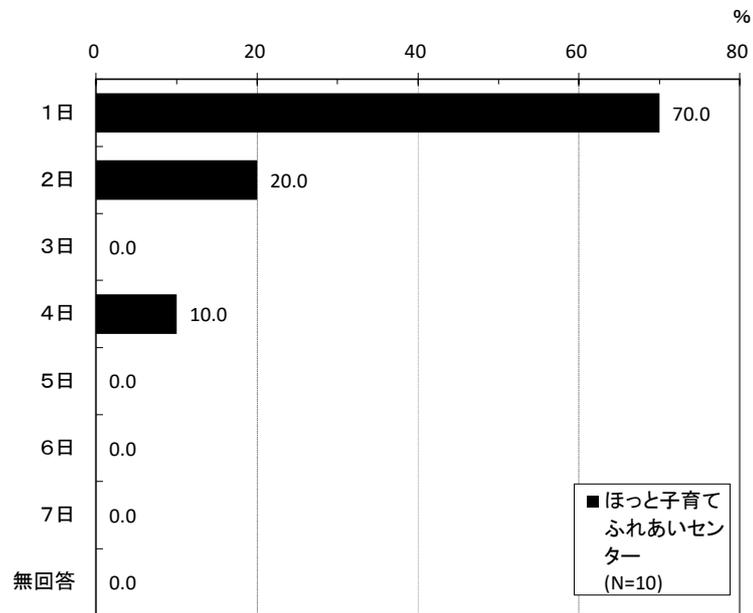
【希望利用時間】

放課後児童クラブで過ごさせたいと回答した人が希望する利用時間帯は、下校時から「18時台」が41.0%で最も高く、次いで「17時台」33.1%、「19時台」8.3%となっている。



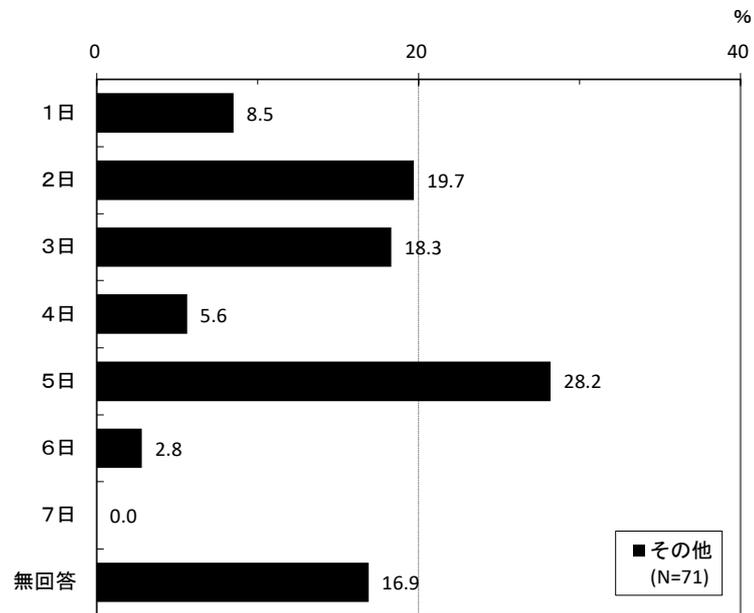
⑥ ほっと子育てふれあいセンター

ほっと子育てふれあいセンターで過ごさせたい日数は、「週1日」が70.0%で最も高い。



⑦ その他

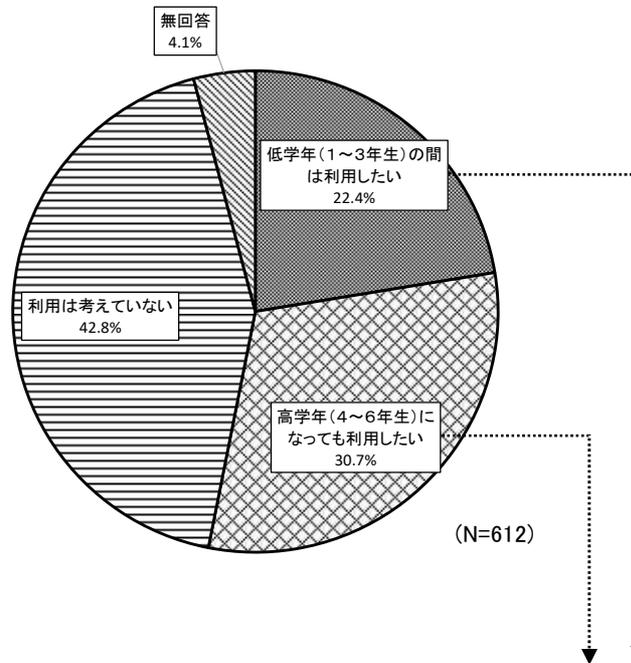
その他で過ごさせたい日数は、「週5日」が 28.2%で最も高く、次いで「週2日」19.7%、「週3日」18.3%となっている。



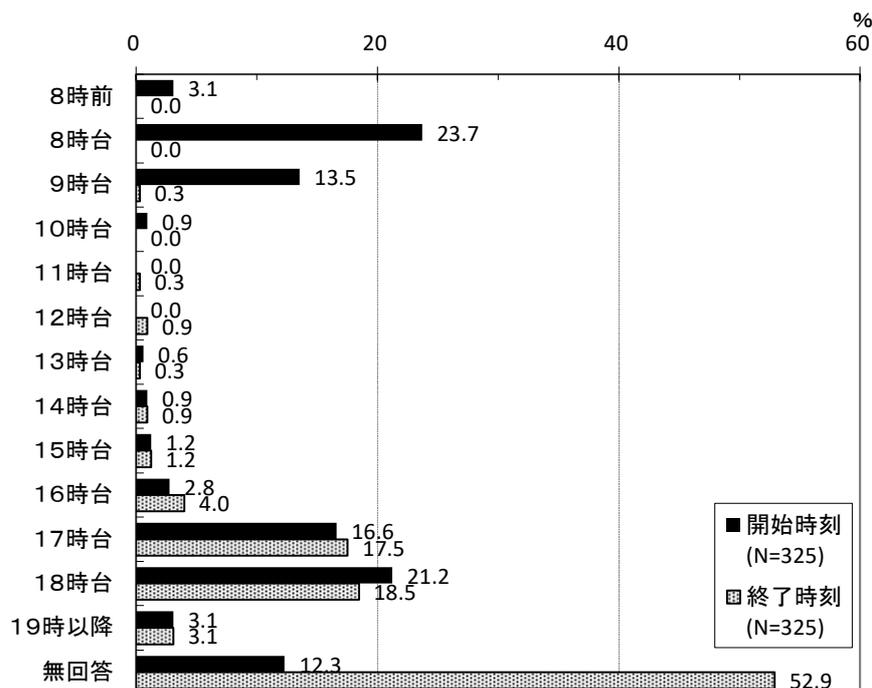
(48) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向(問 28)

① 土曜日

「(46)子どもが小学校低学年(1～3年生)の間に放課後の時間を過ごさせたい場所」または「(47)子どもが小学校高学年(4～6年生)になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所」で「放課後児童クラブ」と回答した人に、土曜日の利用希望を尋ねたところ、「利用は考えていない」が 42.8%で最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」22.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」30.7%となっている。

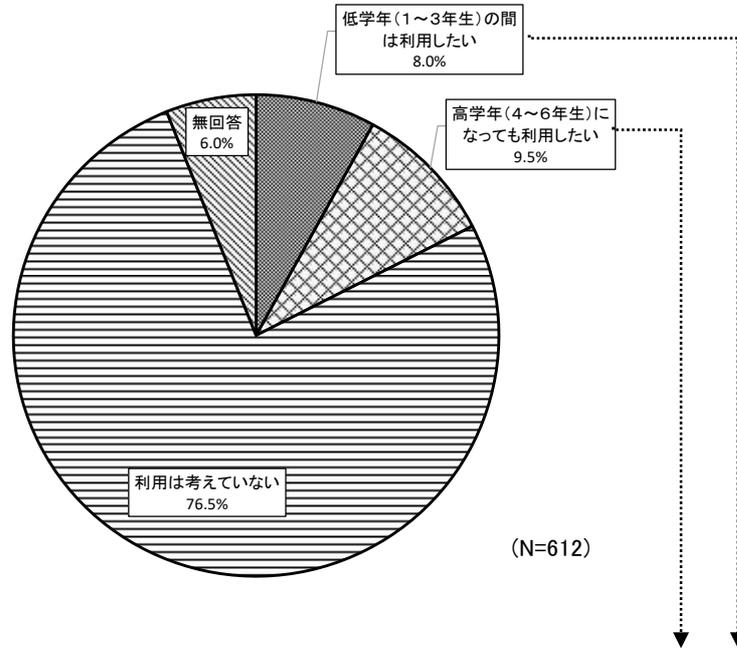


希望する利用開始時刻では、「8時台」が 23.7%で最も高く、次いで「18時台」21.2%となっている。希望する利用終了時刻では、「18時台」が 18.5%で最も高く、次いで「17時台」17.5%となっている。

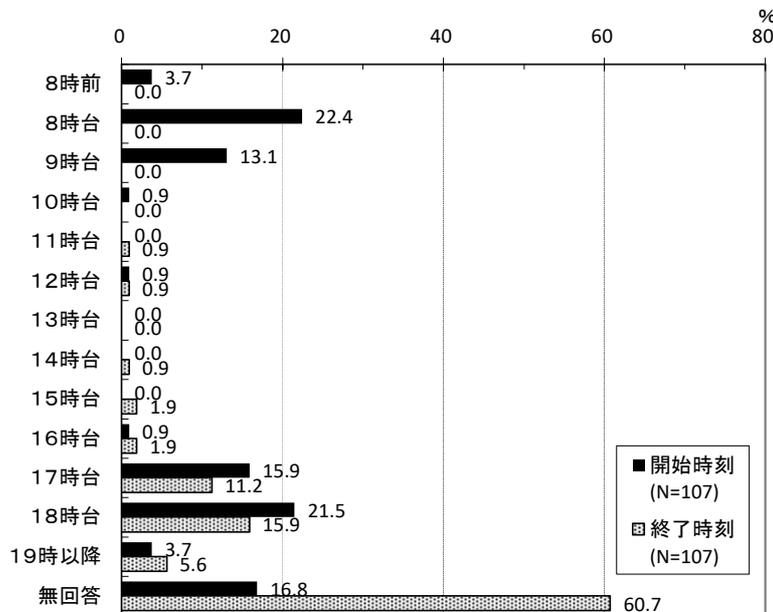


② 日曜日・祝日

「(46)子どもが小学校低学年(1～3年生)の間に放課後の時間を過ごさせたい場所」または「(47)子どもが小学校高学年(4～6年生)になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所」で「放課後児童クラブ」と回答した人に、日曜日・祝日の利用希望を尋ねたところ、「利用は考えていない」が 76.5%で最も高く、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」9.5%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」8.0%となっている。

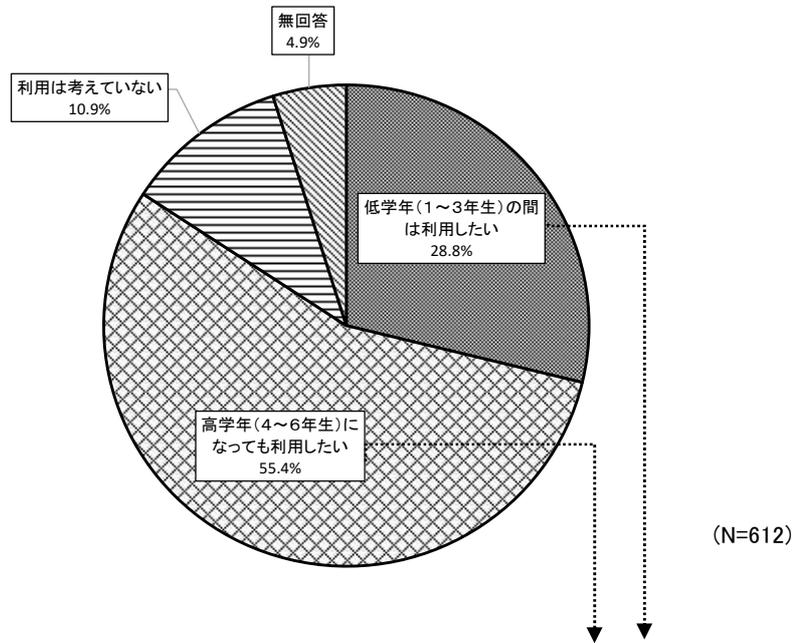


希望する利用開始時刻では、「8時台」が 22.4%で最も高く、次いで「18時台」21.5%となっている。希望する利用終了時刻では、「18時台」が 15.9%で最も高く、次いで「17時台」11.2%となっている。

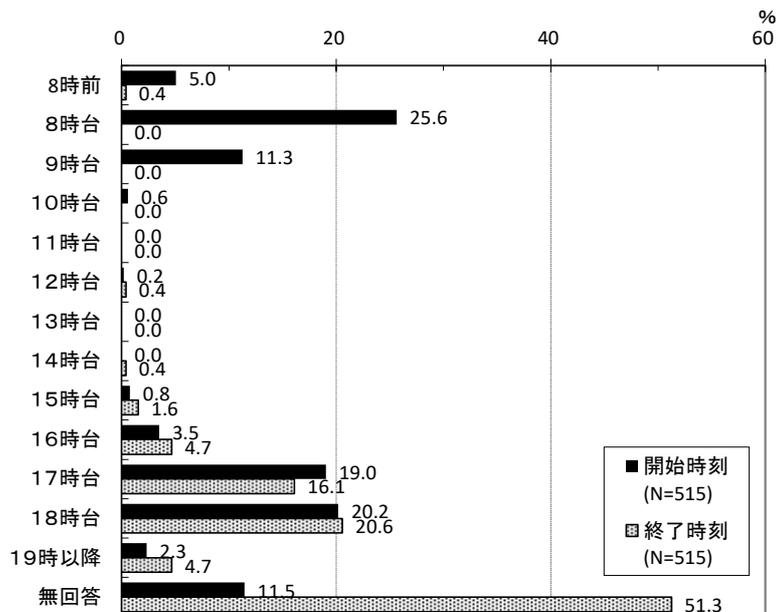


(49) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向(問 28)

「(46)子どもが小学校低学年(1～3年生)の間に放課後の時間を過ごさせたい場所」または「(47)子どもが小学校高学年(4～6年生)になった時に、放課後の時間を過ごさせたい場所」で「放課後児童クラブ」と回答した人に、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向を尋ねたところ、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 55.4%で最も高く、次いで「低学年の間は利用したい」28.8%、「利用は考えていない」10.9%となっている。



希望する利用開始時刻では、「8時台」が 25.6%で最も高く、次いで「18時台」20.2%となっている。希望する利用終了時刻では、「18時台」が 20.6%で最も高く、次いで「17時台」16.1%となっている。

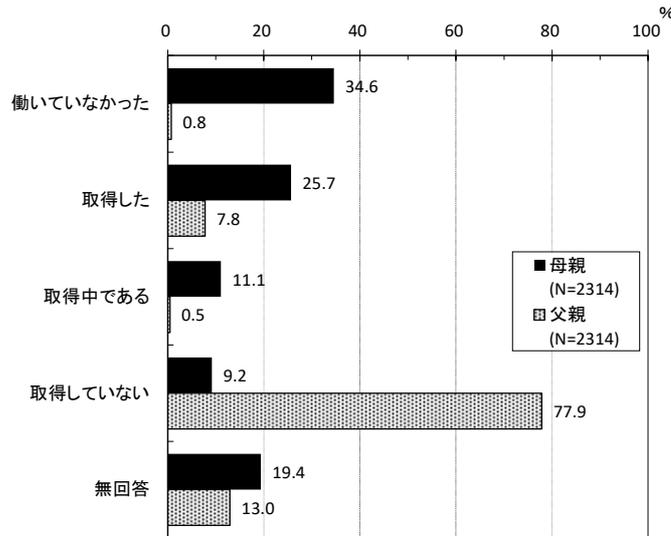


10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

(50) 育児休業の取得状況(問 29)

子どもが生まれた時の母親の就労状況は、「働いていなかった」が 34.6%で最も高く、次いで「(育児休業を)取得した」25.7%、「(育児休業を)取得中である」11.1%、「(育児休業を)取得していない」9.2%となっている。

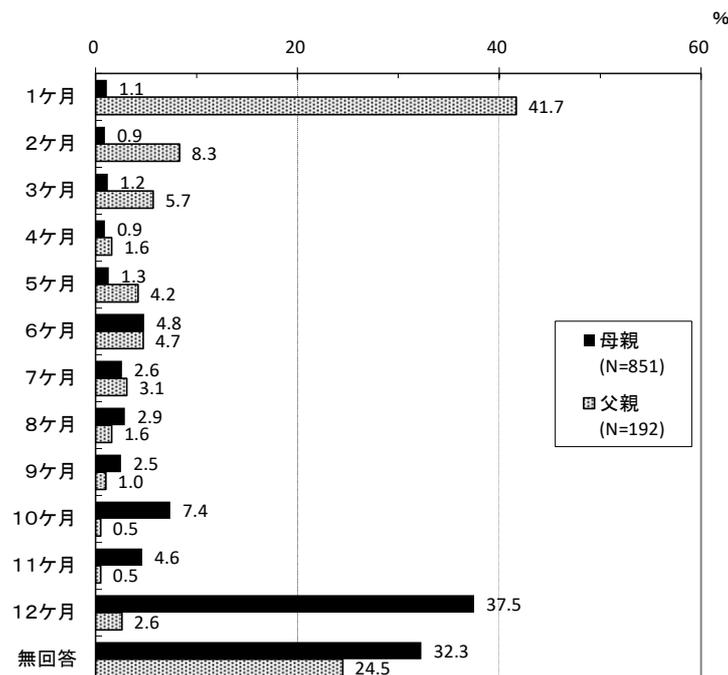
父親の就労状況は、「(育児休業を)取得していない」が 77.9%で、「(育児休業を)取得した」は 7.8%、「働いていなかった」は 0.8%である。



(51) 育児休業の取得期間(問 29)

育児休業の取得期間は、母親は「12ヶ月」が 37.5%で最も高く、次いで「10ヶ月」7.4%、「6ヶ月」4.8%となっている。

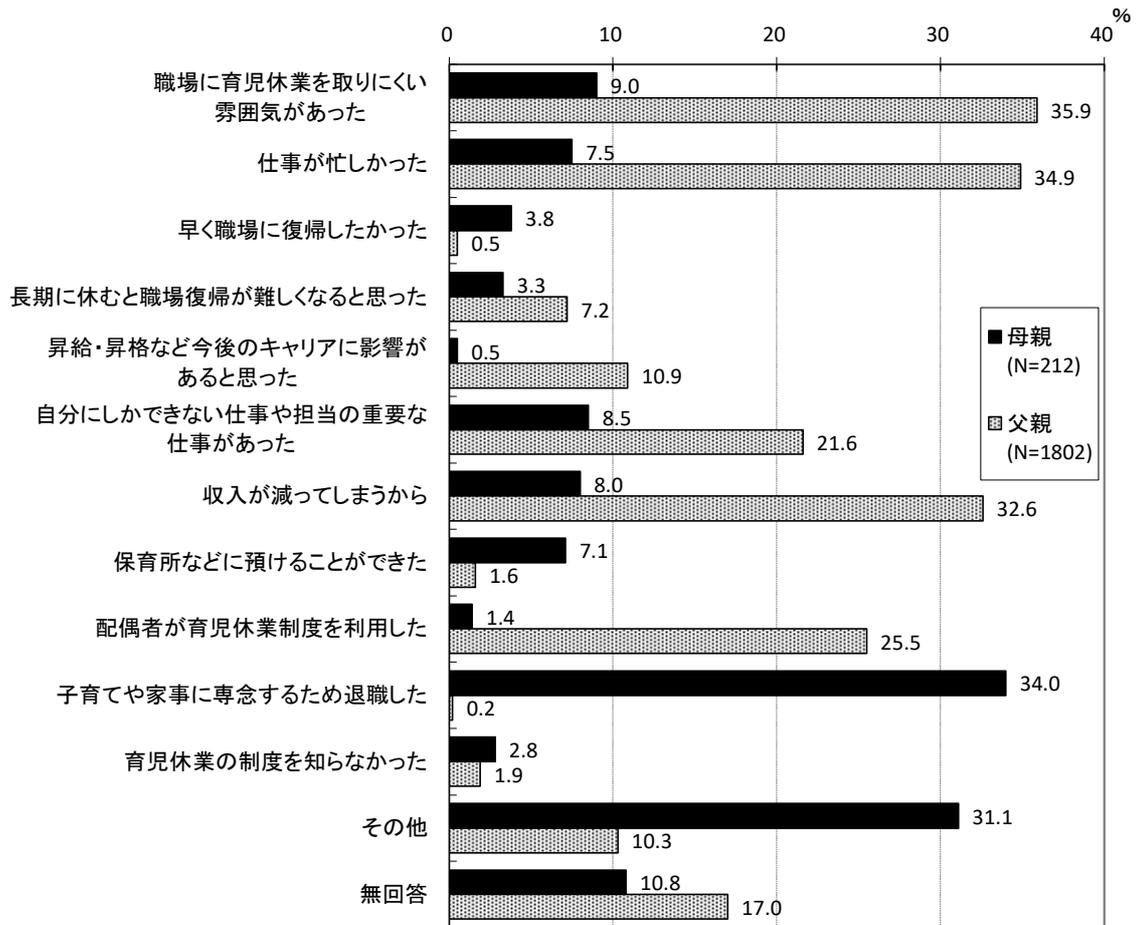
父親は「1ヶ月」が 41.7%で最も高く、次いで「2ヶ月」8.3%、「3ヶ月」5.7%となっている。



(52) 育児休業を取得していない理由(問 29)【複数回答】

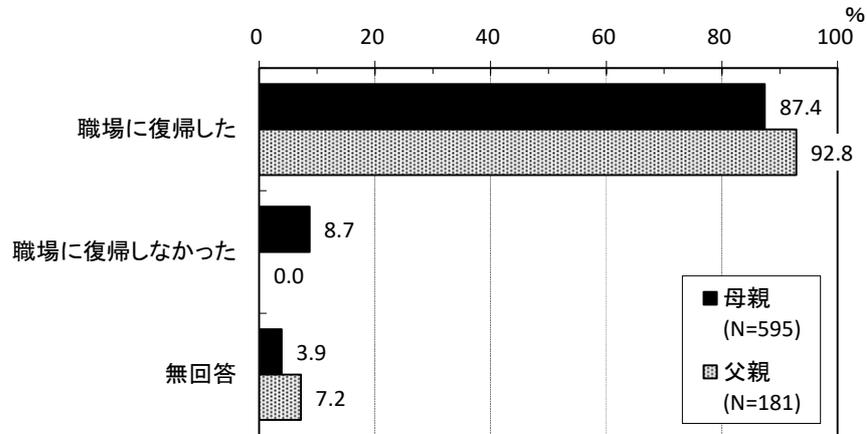
育児休業を取得していない理由は、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が 34.0%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」9.0%、「自分にしかできない仕事や担当の重要な仕事があった」8.5%などとなっている。

父親は、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 35.9%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」34.9%、「収入が減ってしまうから」32.6%、「配偶者が育児休業制度を利用した」25.5%となっている。「配偶者が育児休業制度を利用した」は、父親で 25.5%、母親で 1.4%となっており、育児休業制度の利用は父親と母親の間で格差がある状況となっている。



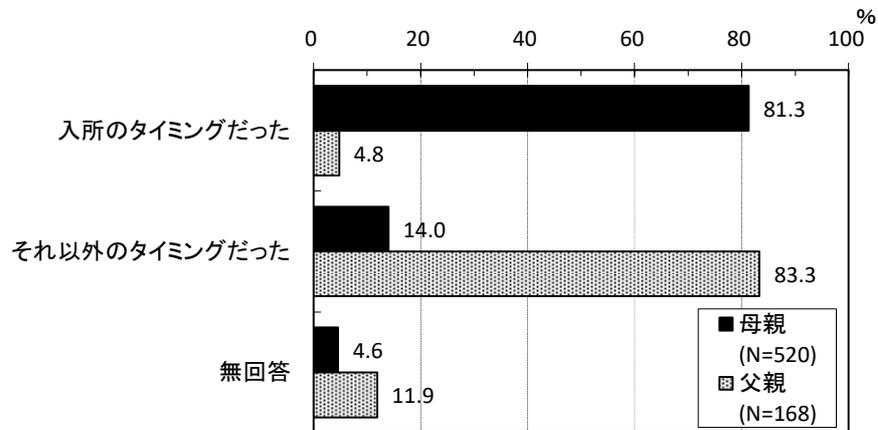
(53) 育児休業後の職場への復帰状況(問 30)

(50)で「(育児休業を)取得した」と回答した人の職場への復帰状況では、「(育児休業取得後)職場に復帰した」が母親で 87.4%、父親で 92.8%となっている。



(54) 育児休業後に職場への復帰したタイミング(問 30)

(53)で「(育児休業取得後)職場に復帰した」と回答した人に、職場への復帰タイミングを尋ねたところ、母親は「(保育所)入所のタイミングだった」が 81.3%、父親は「それ以外だった」が 83.3%となっている。



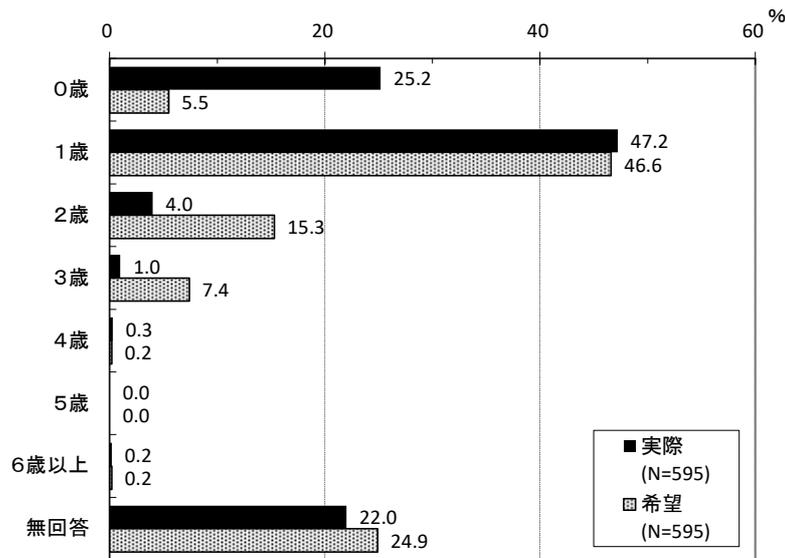
(55) 育児休業後に職場復帰した時期(子どもの年齢)(問 31)

(53)で「職場に復帰した」と回答した人に、育児休業後に職場復帰した時の子どもの年齢(実際)と、勤務先の育児休業制度の期間内で取得できる復帰したかった子どもの年齢(希望)を尋ねた。

① 母親の職場復帰時期(子どもの年齢)

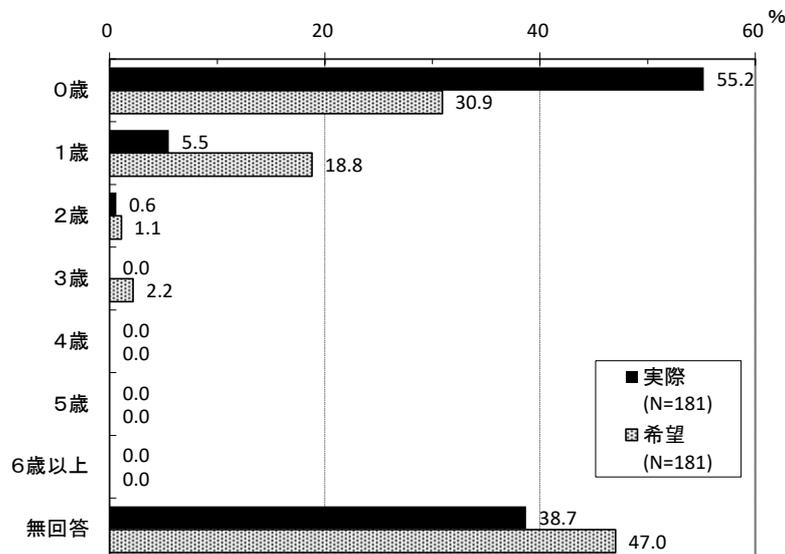
実際に職場復帰した子どもの年齢は「1歳」が 47.2%で最も高く、次いで「0歳」25.2%、「2歳」4.0%となっている。

復帰したかった子どもの年齢は「1歳」46.6%、「2歳」15.3%、「3歳」7.4%で、希望する子どもの年齢まで育児休業を取得できていない状況がみられる。



② 父親の職場復帰時期(子どもの年齢)

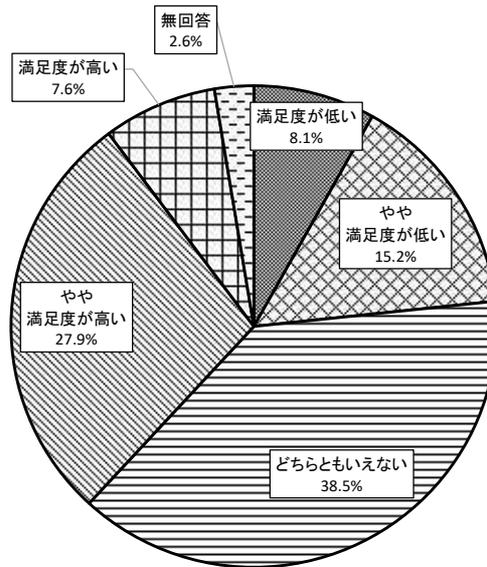
父親は無回答が多いものの、実際に職場復帰した子どもの年齢は「0歳」が 55.2%、「1歳」が 5.5%となっている。復帰したかった子どもの年齢は「0歳」30.9%、「1歳」18.8%で、母親同様、希望する子どもの年齢まで育児休業を取得できていない状況がみられる。



(56) 北九州市の子育ての環境や支援への満足度(問 32)

北九州市の子育ての環境や支援についての満足度を1～5のスケールで評価してもらい、1を「満足度が低い」、2を「やや満足度が低い」、3を「どちらともいえない」、4を「やや満足度が高い」、5を「満足度が高い」という評価として構成比をみた。

『どちらともいえない』が 38.5%で最も高く、「満足度が高い」と「やや満足度が高い」を合わせた『満足度が高い』割合が 35.5%、「満足度が低い」と「やや満足度が低い」を合わせた『満足度が低い』割合が 23.3%となっている。



(N=2314)